

第8期尾張旭市高齢者保健福祉計画 策定にかかるアンケート調査

【結果報告書】

令和2年3月

尾張旭市

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の実施概要.....	1
(1) 調査方法.....	1
(2) 回収結果.....	1
3 報告書の見方.....	2
II 一般(65歳以上アンケート)調査結果	3
1 回答者について.....	3
2 調査対象者の年齢や性別、生活状況などについて.....	3
3 からだを動かすことについて.....	8
4 食べることについて.....	11
5 毎日の生活について.....	14
6 地域での活動について.....	18
7 たすけあいについて.....	21
8 あなたの健康について.....	26
9 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	32
10 介護保険制度・高齢社会について.....	33
11 防災対策について.....	41
III 要支援・要介護認定者調査結果	45
1 回答者について.....	45
2 調査対象者の年齢や性別、生活状況などについて.....	45
3 生活拠点に関する意向について.....	54
4 居宅サービスの利用について.....	57
5 介護保険制度・高齢社会について.....	69
6 医療の状況、介護者について.....	75
7 日常、主に介護している方について.....	78
IV 介護サービス提供事業者調査結果	92
1 事業所について.....	92
2 事業所運営上の課題について.....	98
3 グループホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・特定施設入居者生活 介護事業者の方にお聞きします.....	104
4 災害対策について.....	108
5 サービスの質の向上について.....	109
6 関係機関との連携について.....	111

7	今後の介護サービスについて.....	119
V	介護支援専門員調査結果.....	126
1	調査対象者の年齢や性別、勤務形態などについて.....	126
2	ケアマネジメントについて.....	127
3	医療機関との連携について.....	140
4	高齢者虐待について.....	143
5	地域包括支援センターについて.....	145
6	介護保険及び高齢者福祉施策全般について.....	148

I 調査概要

1 調査の目的

令和2年度に高齢者保健福祉計画の見直しを行うために、また今後の介護保険制度等の運営の参考とするために、①一般高齢者（65歳以上）※一部事業対象者・要支援認定者を含む、②要支援・要介護認定者、③介護サービス提供事業者、④介護支援専門員を対象とした4種類のアンケート調査を実施しました。

2 調査の実施概要

(1) 調査方法

区分	一般（65歳以上）	要支援・要介護認定者	介護サービス提供事業者	介護支援専門員
調査客体	要介護と認定されていない 65歳以上の人から 無作為抽出 ※一部事業対象者・ 要支援認定者を含む	要支援・要介護の 認定を受けている 人から無作為抽出 (施設サービス 利用者を除く)	市内で介護保険 サービスを提供 している事業所 すべて	市内の居宅介護 支援事業所に 所属している 介護支援専門員 すべて
調査票の 配布・回収	郵送配布・郵送回収			
調査基準日	令和2年1月1日		令和2年2月1日	
調査期間	一般及び要支援・要介護認定者：令和2年1月22日～2月5日 介護サービス提供事業者及び介護支援専門員：令和2年2月3日～2月17日			

(2) 回収結果

区分	一般 (65歳以上)	要支援・ 要介護認定者	介護サービス 提供事業者	介護支援専門員
配布数(A)	1,000	1,500	120	70
回収件数(B)	728	993	71	53
回収率(B/A)	72.8%	66.2%	59.2%	75.7%
無効 回答 件数	入院中	5	47	
	転出	0	1	
	死亡	0	4	
	その他	0	54	
	不明・無回答	1	6	
	計	6	112	
有効回答件数(C)	722	881	71	53
有効回答率(C/A)	72.2%	58.7%	59.2%	75.7%

3 報告書の見方

- 図表中の「n」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（いくつでも○をつけるものなど）は「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- グラフ・表として示したもののうち、無回答が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外のクロス集計の表は、「無回答」を除いて最も高い割合の値を濃い灰色で網かけ、二番目に高い割合の値を薄い灰色で網かけしています。
- 性別、年齢別等で示しているグラフの「n」を合わせた数は、性別や年齢等の無回答を除いた数であるため、全体の「n」と一致しません。

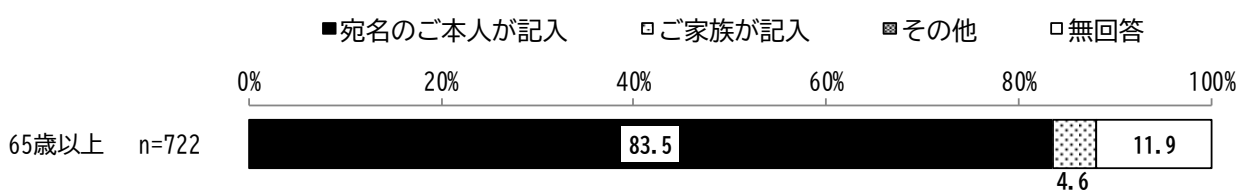
Ⅱ 一般(65歳以上アンケート)調査結果

※グラフ中では、「一般(65歳以上)」を「65歳以上」と表しています。

1 回答者について

問1 この調査票に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

「宛名のご本人が記入」が83.5%、「ご家族が記入」が4.6%となっています。



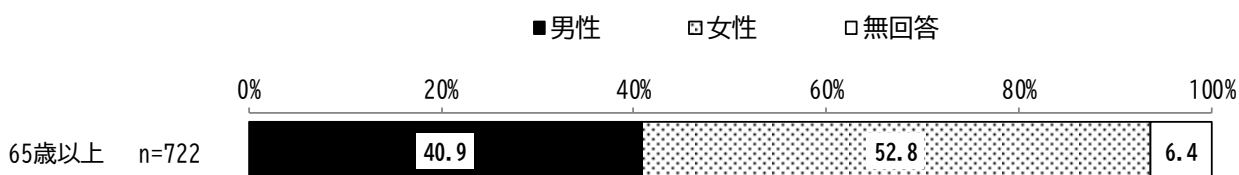
2 調査対象者の年齢や性別、生活状況などについて

問2 あなたの性別・年齢・お住まいの地区についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

①性別

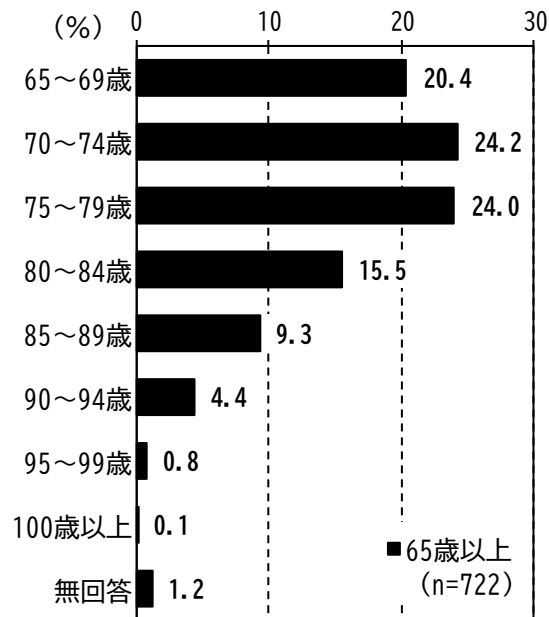
※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。

「男性」が40.9%、「女性」が52.8%となっています。



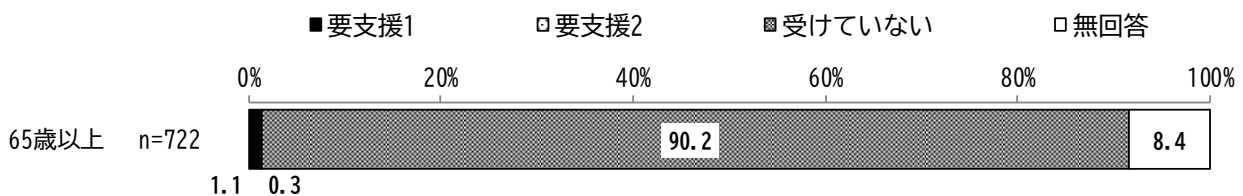
②年齢

「70～74歳」が24.2%と最も高く、次いで「75～79歳」が24.0%、「65～69歳」が20.4%となっています。



③要支援認定を受けていますか

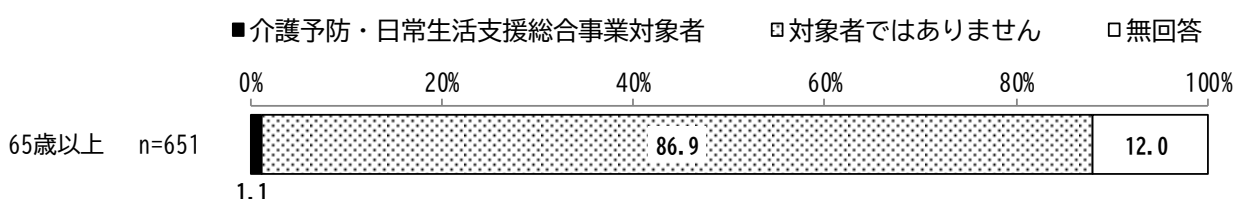
「受けていない」が90.2%となっています。



※③で「受けていない」と答えた方

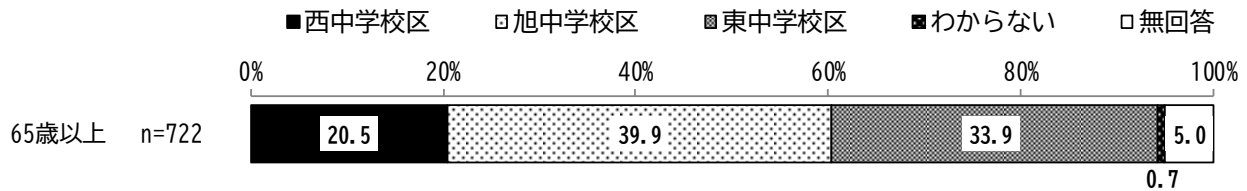
③-1 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者ですか

「対象者ではありません」が86.9%となっています。



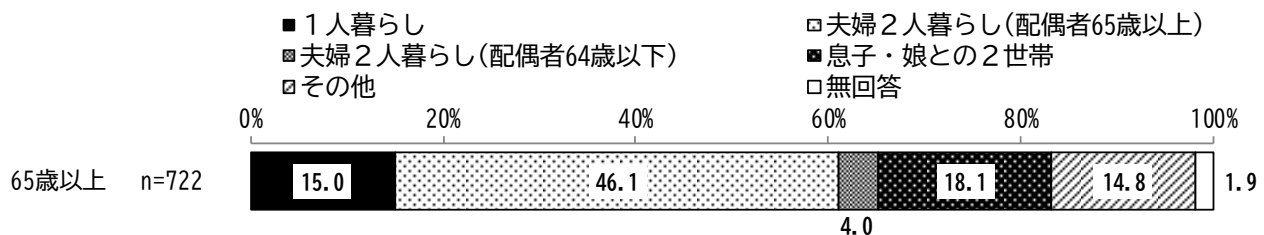
④お住まいの地区（中学校区）

「旭中学校区」が39.9%と最も高く、次いで「東中学校区」が33.9%、「西中学校区」が20.5%となっています。



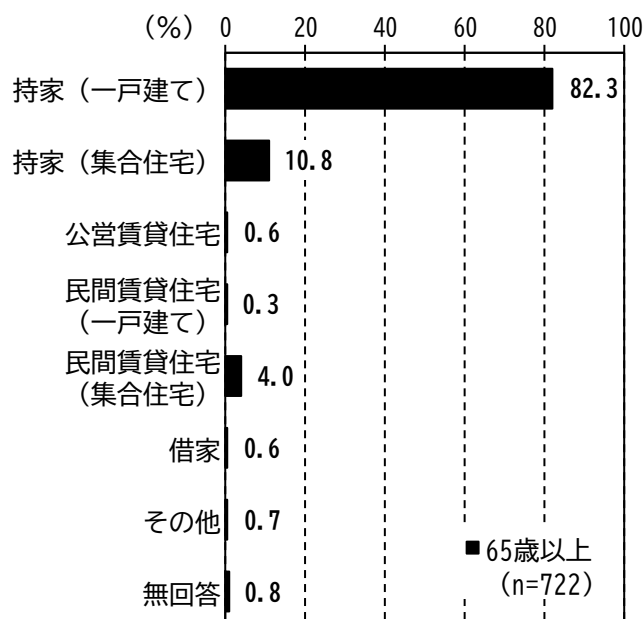
問3 あなたの家族構成を教えてください。（○は1つ）

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が46.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.1%、「1人暮らし」が15.0%となっています。



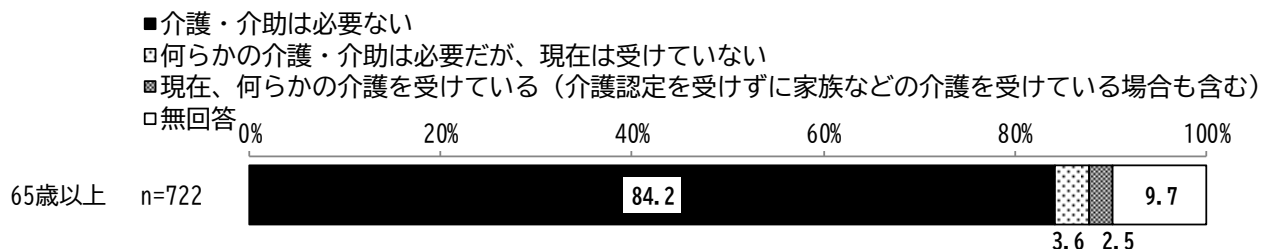
問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つ）

「持家（一戸建て）」が82.3%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が10.8%となっています。



問5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）

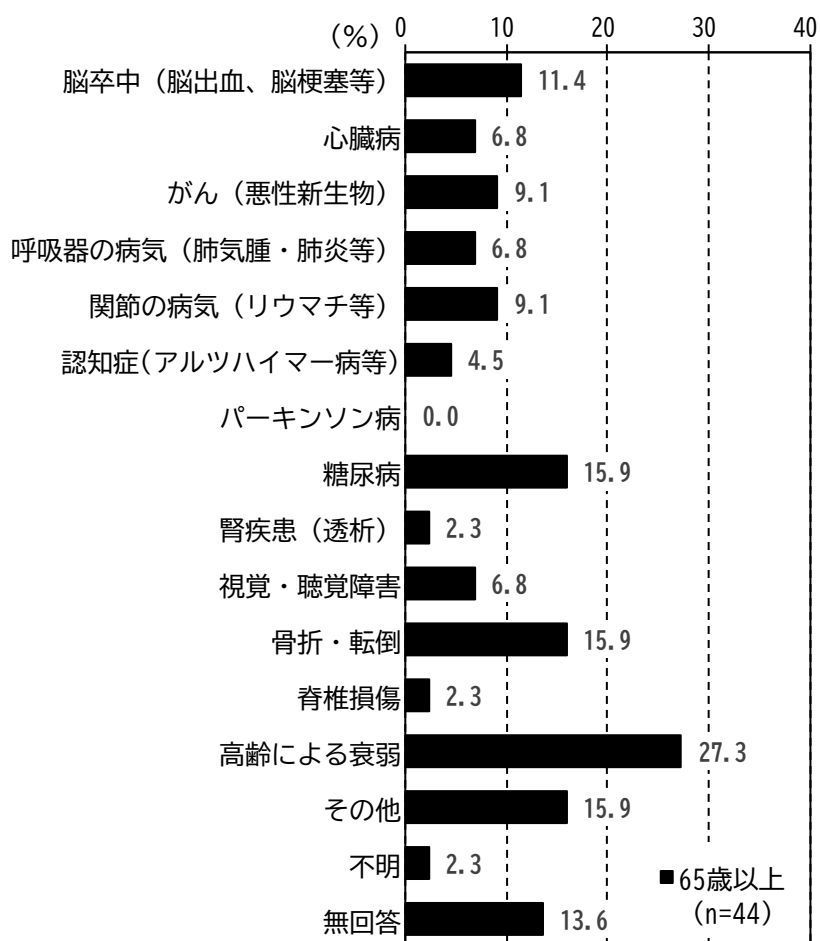
「介護・介助は必要ない」が84.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が3.6%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が2.5%となっています。



※問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と答えた方

問5-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（○はいくつでも）

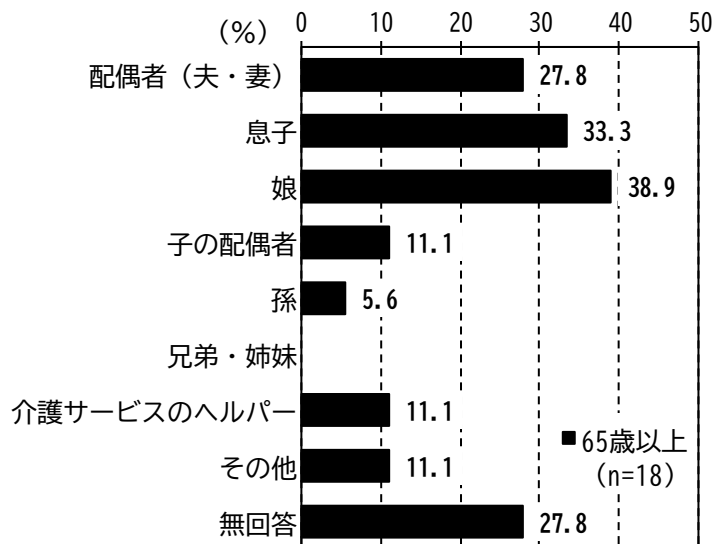
「高齢による衰弱」が27.3%と最も高く、次いで「糖尿病」「骨折・転倒」「その他」がいずれも15.9%、「脳卒中（脳出血、脳梗塞等）」が11.4%となっています。



※問5で「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」と答えた方

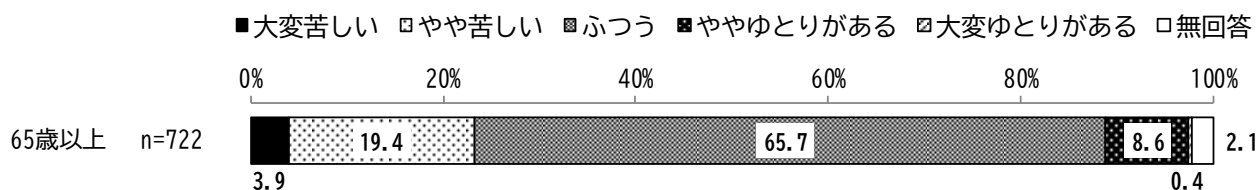
問5-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

「娘」が38.9%と最も高く、次いで「息子」が33.3%、「配偶者(夫・妻)」が27.8%となっています。



問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

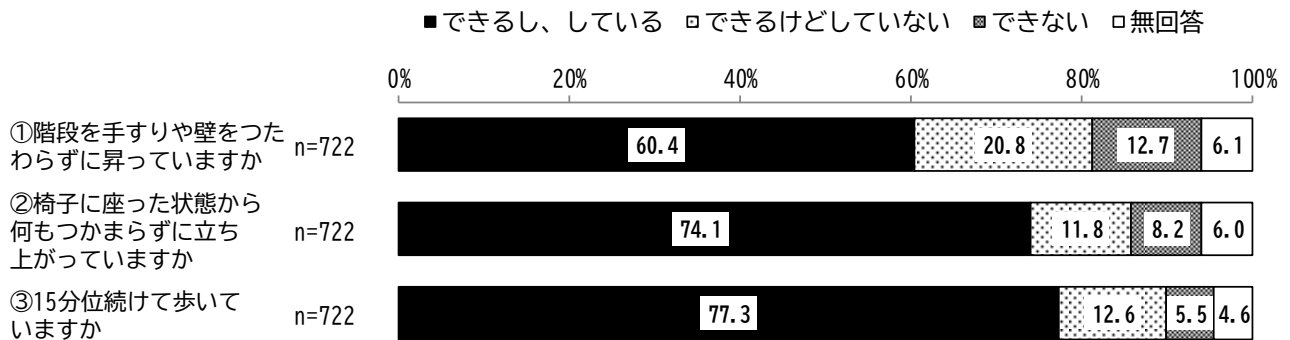
「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が23.3%、「ふつう」が65.7%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が9.0%となっています。



3 からだを動かすことについて

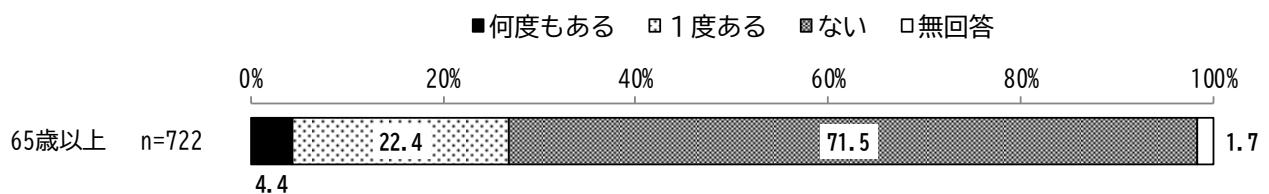
問7 運動能力や身体状況についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

「②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」「③15分位続けて歩いていますか」は、「できるし、している」が7割を超えています。



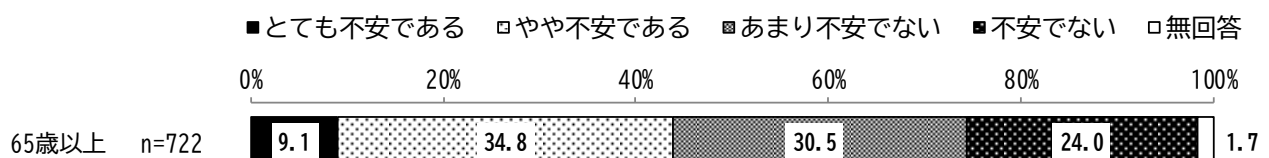
問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

「何度もある」が4.4%、「1度ある」が22.4%、「ない」が71.5%となっています。



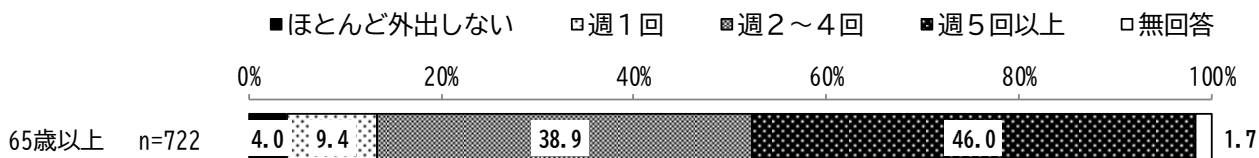
問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が43.9%、「不安でない」と「あまり不安でない」を合わせた『不安でない』が54.5%となっています。



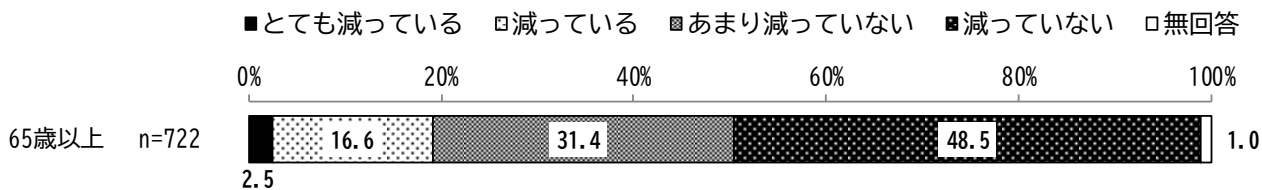
問10 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

「週5回以上」が46.0%と最も高く、次いで「週2～4回」が38.9%、「週1回」が9.4%となっています。



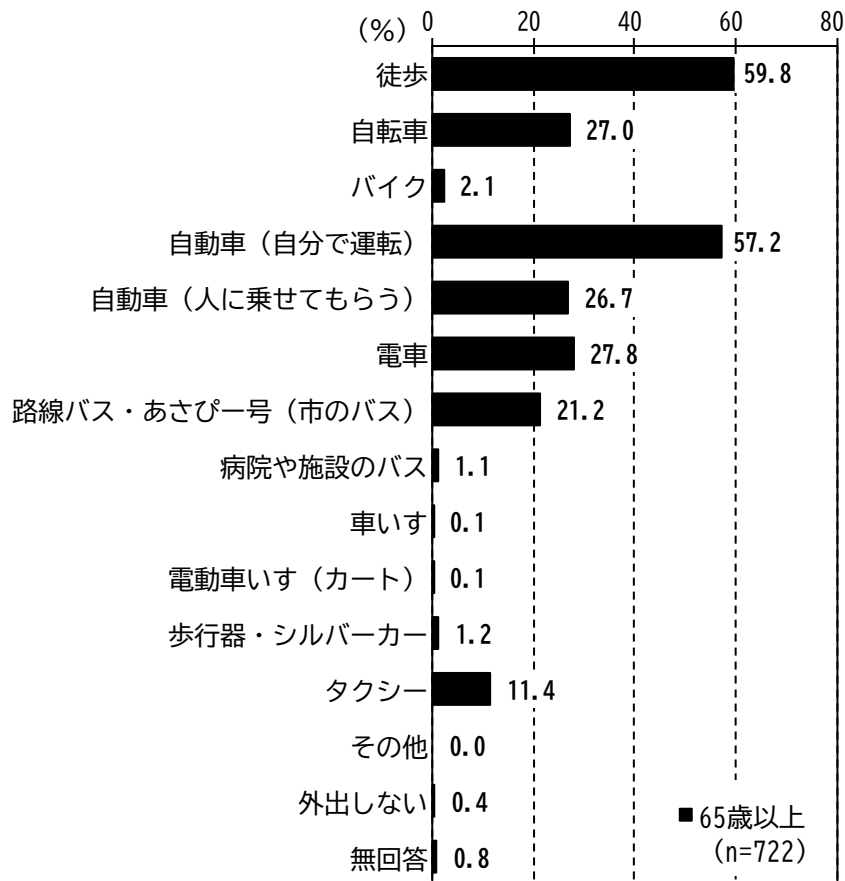
問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が19.1%、「減っていない」と「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』が79.9%となっています。



問12 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「徒歩」が59.8%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が57.2%、「電車」が27.8%となっています。

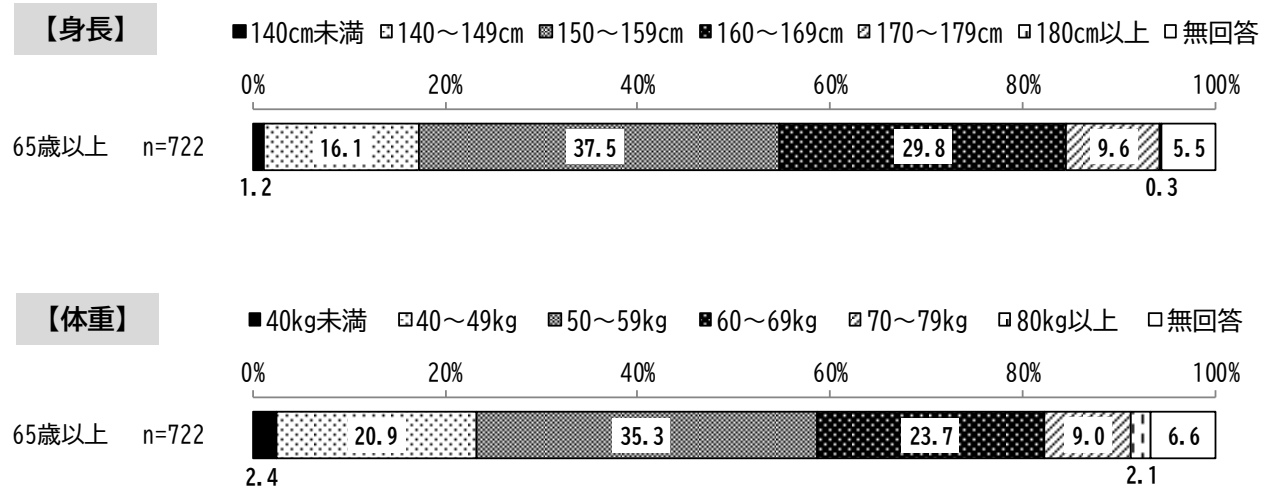


4 食べることについて

問 13 現在のあなたの身長と体重を教えてください。（数字を記入）

身長は「150～159cm」が37.5%と最も高く、次いで「160～169cm」が29.8%、「140～149cm」が16.1%となっています。

体重は「50～59kg」が35.3%と最も高く、次いで「60～69kg」が23.7%、「40～49kg」が20.9%となっています。



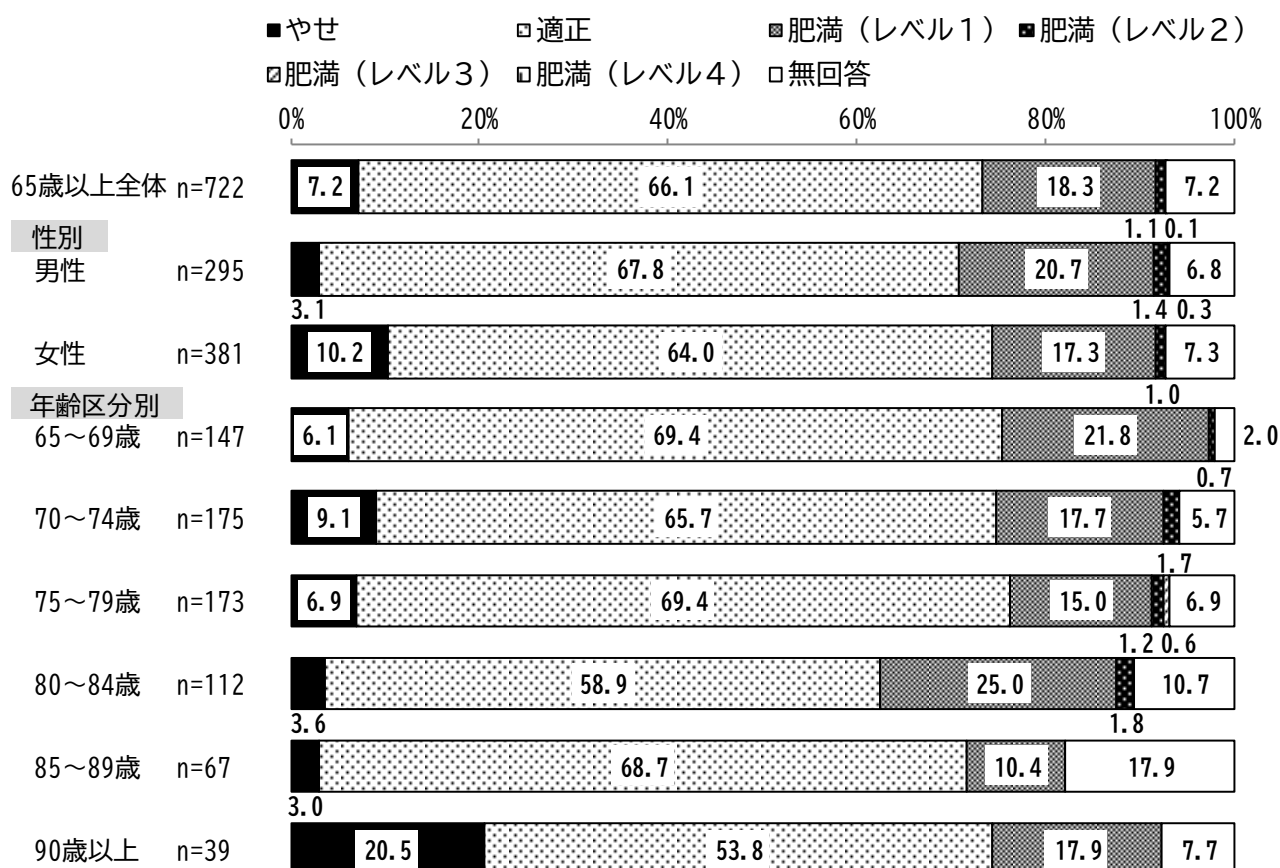
※ BMIの状況

「適正」が66.1%と最も高く、次いで「肥満（レベル1）」が18.3%、「やせ型」が7.2%となっています。

性別では、女性で「やせ」が10.2%と、男性と比べて7.1ポイント高くなっています。

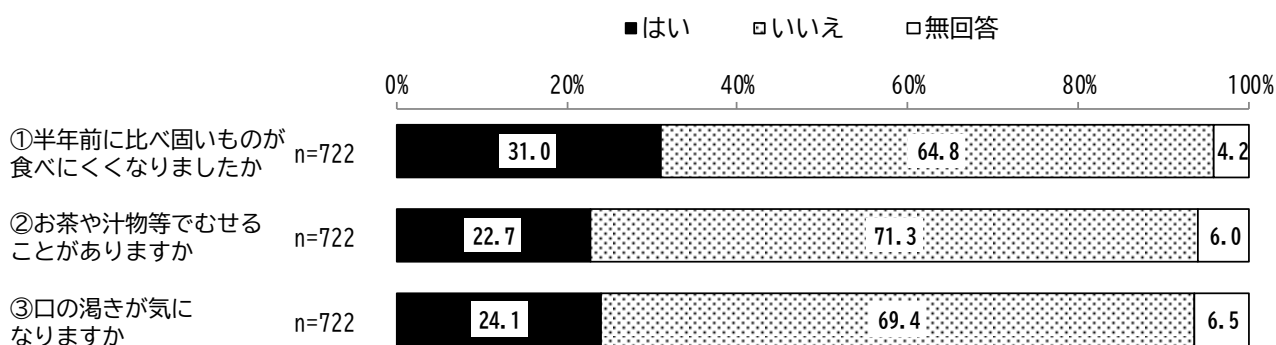
年齢区分別では、80～84歳と90歳以上で「適正」が6割を下回っています。

※BMI = 体重 kg ÷ (身長 m)²



問 14 歯や口の健康状態について、それぞれ「はい」か「いいえ」に○をつけてください。

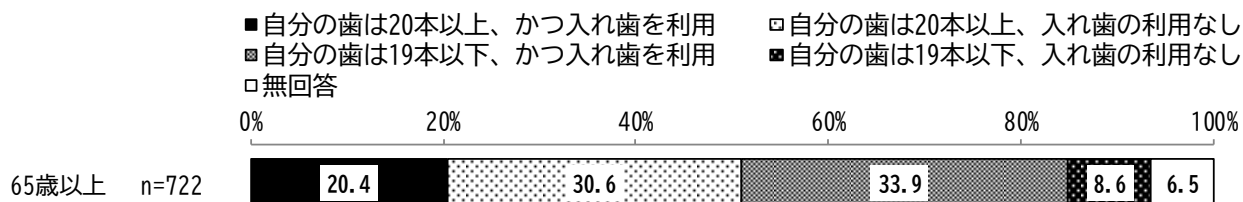
いずれも「いいえ」が6割を超えています。



問 15 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(〇は1つ)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 33.9%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 30.6%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 20.4%となっています。



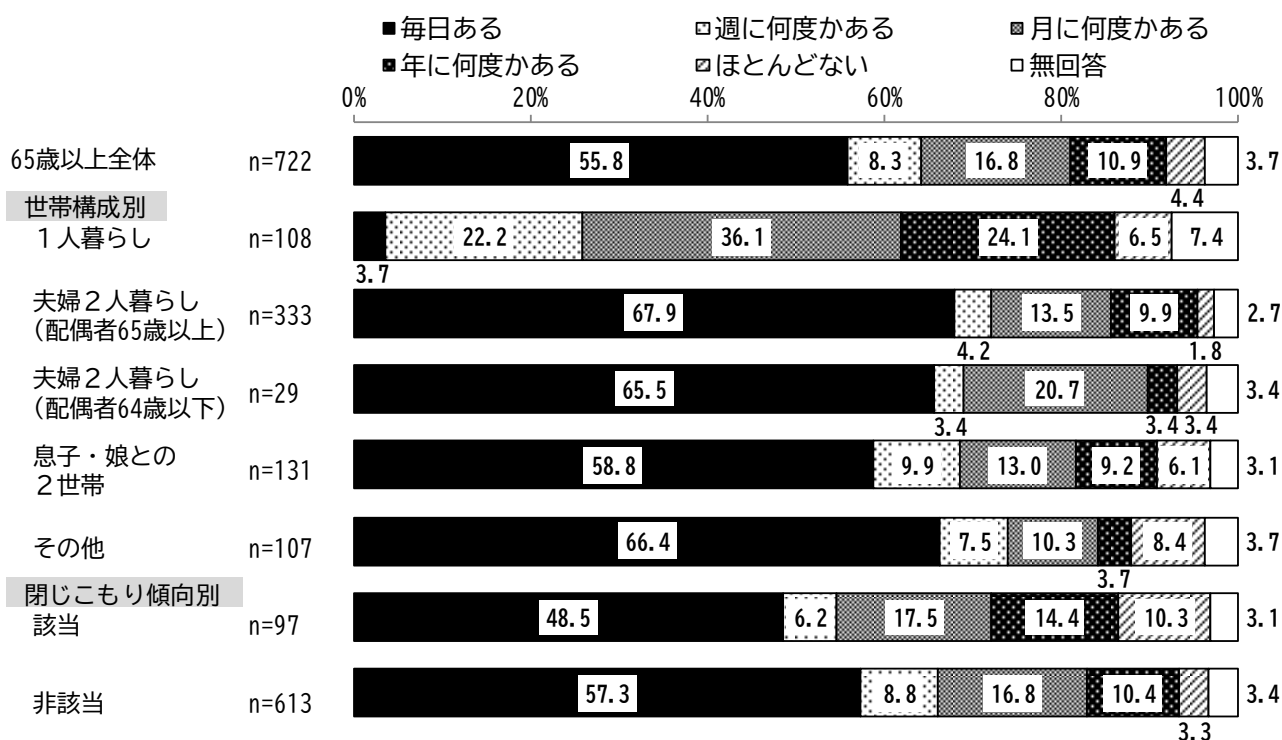
問 16 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(〇は1つ)

「毎日ある」が 55.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 16.8%、「年に何度かある」が 10.9%となっています。

世帯構成別では、1人暮らしで「月に何度かある」が 36.1%と最も高く、次いで「年に何度かある」が 24.1%となっています。

閉じこもり傾向別※では、非該当で「毎日ある」が 57.3%と、該当と比べて 8.8 ポイント高くなっています。

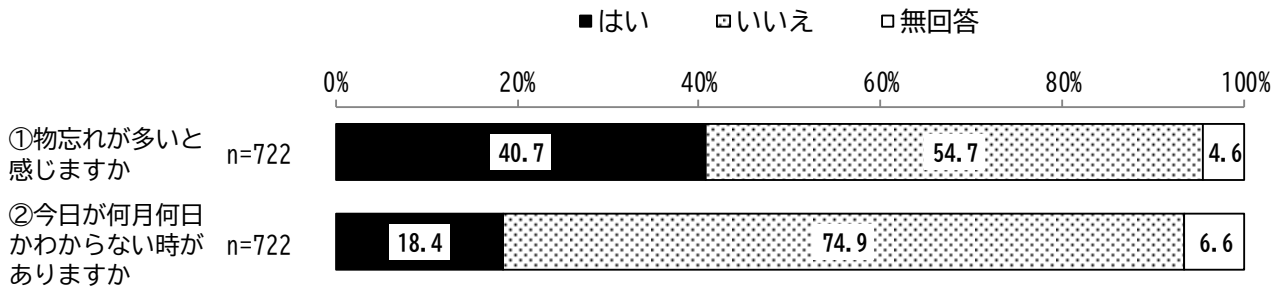
※閉じこもり傾向：問 10 外出状況で「ほとんど外出しない」と「週 1 回」を選んだ人の合計



5 毎日の生活について

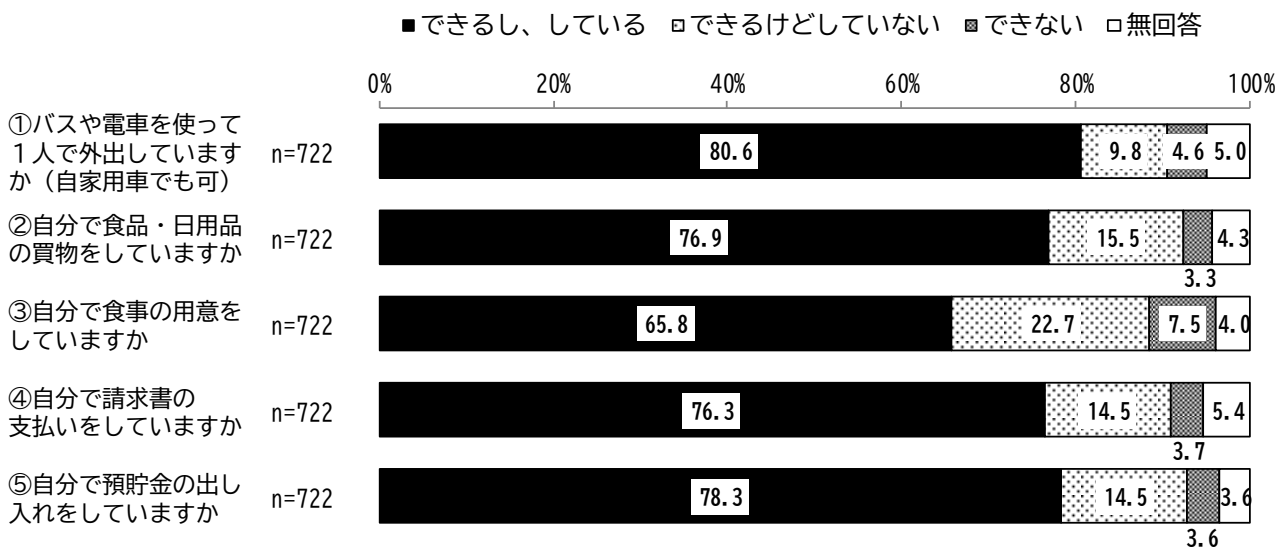
問 17 日常生活での物忘れについて、それぞれ「はい」か「いいえ」に○をつけてください。

「はい」と回答した割合は、「①物忘れが多いと感じますか」が40.7%、「②今日が何月何日かわからない時がありますか」が18.4%となっています。



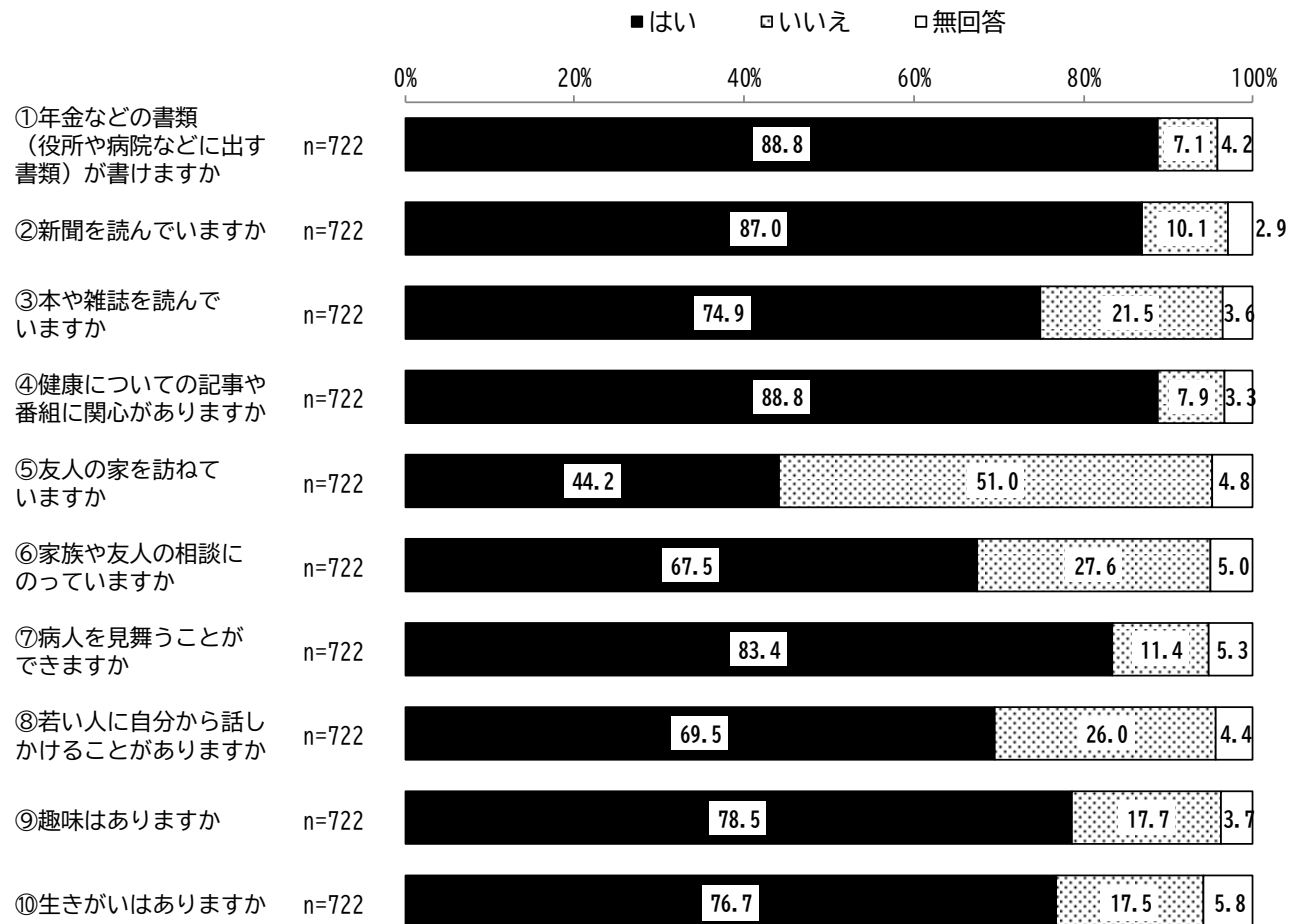
問 18 日常生活での活動や行動について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

「③自分で食事の用意をしていますか」を除いて、「できるし、している」が7割を超えています。



問 19 社会との関わりについて、それぞれ「はい」か「いいえ」に○をつけてください。

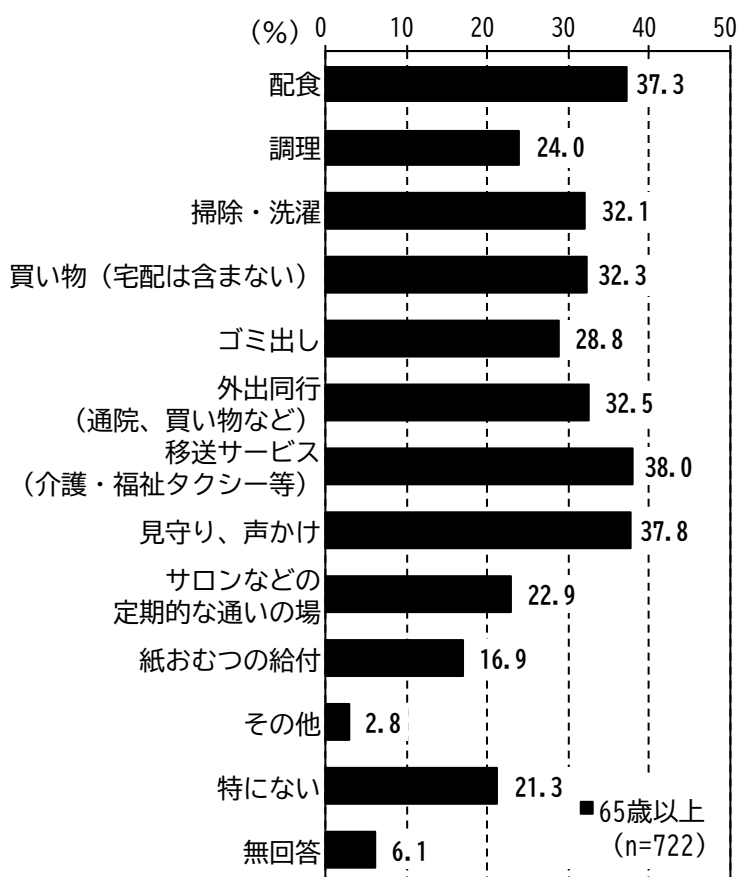
「①年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか」「②新聞を読んでいますか」「④健康についての記事や番組に関心がありますか」「⑦病人を見舞うことができますか」は、「はい」が8割を超えています。また、「⑤友人の家を訪ねていますか」では、「いいえ」が約5割となっています。



問 20 今後の高齢者の在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービスについてお答えください。（〇はいくつでも）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が38.0%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が37.8%、「配食」が37.3%となっています。

性別では、男性で「配食」が、女性で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ最も高くなっています。



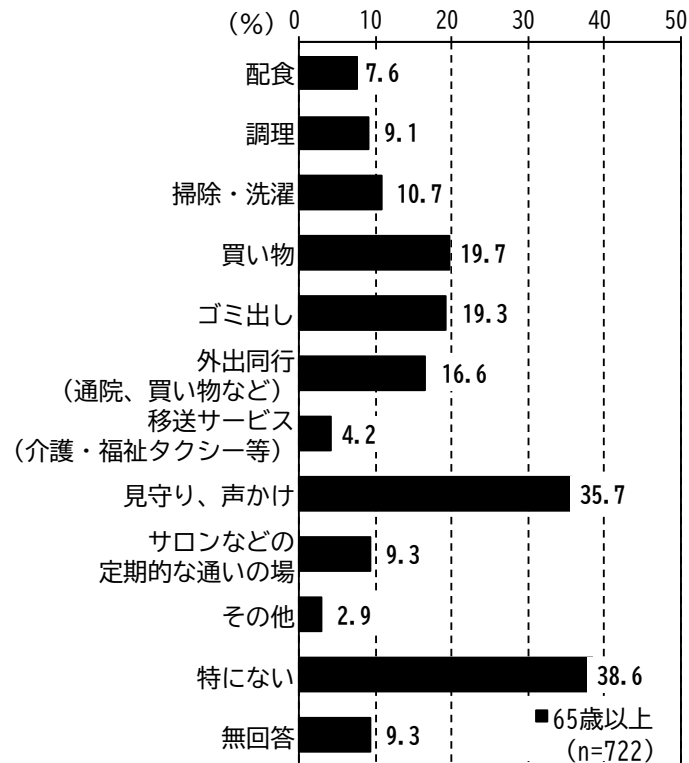
※クロス集計

(単位：%)

区分		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	紙おむつの給付	その他	特にない	無回答
性別	男性 n=295	40.0	25.4	31.5	28.5	26.4	24.7	33.6	35.6	16.9	14.2	2.7	24.1	6.1
	女性 n=381	36.2	22.8	33.6	35.2	31.2	40.2	42.0	40.9	27.3	19.2	3.1	18.1	5.2

問 21 問 20 で示した支援・サービスのなかで、あなた自身が支援する側としてできる・やってみたいと思うものをお答えください。(○はいくつでも)

「特にない」(38.6%)を除いて、「見守り、声かけ」が35.7%と最も高く、次いで「買い物」が19.7%、「ゴミ出し」が19.3%、「外出同行(通院、買い物など)」が16.6%となっています。



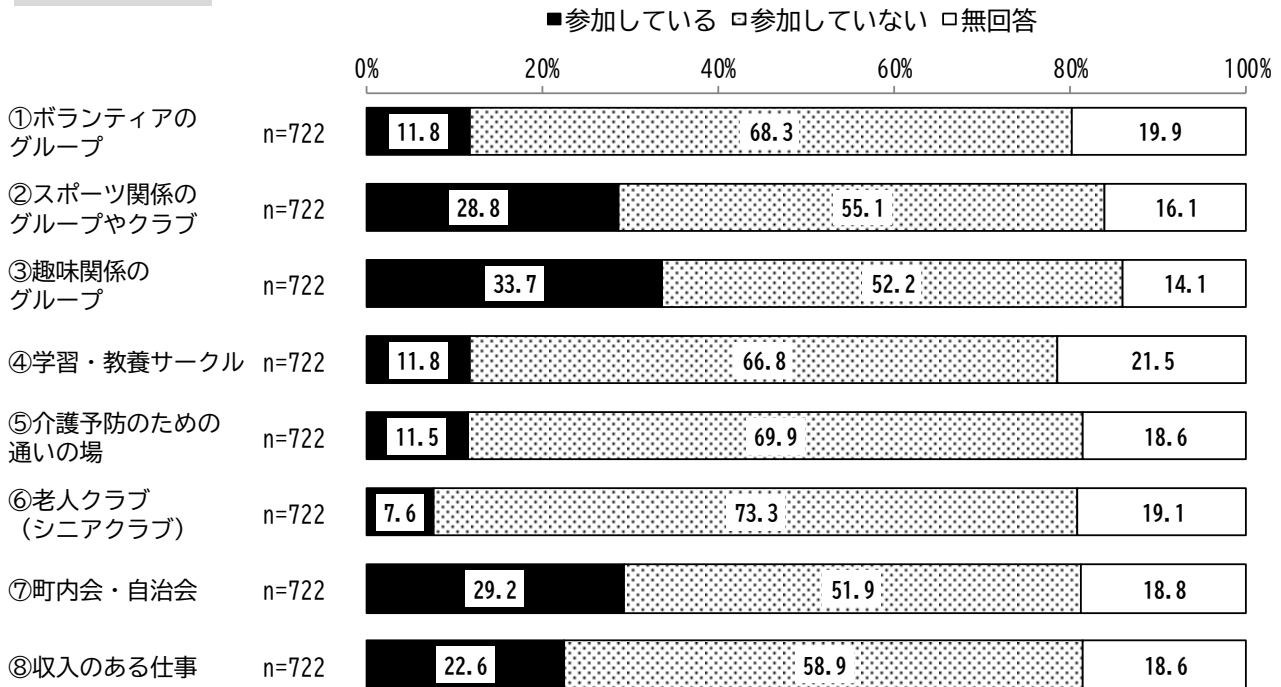
6 地域での活動について

問 22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(〇はそれぞれ1つ)

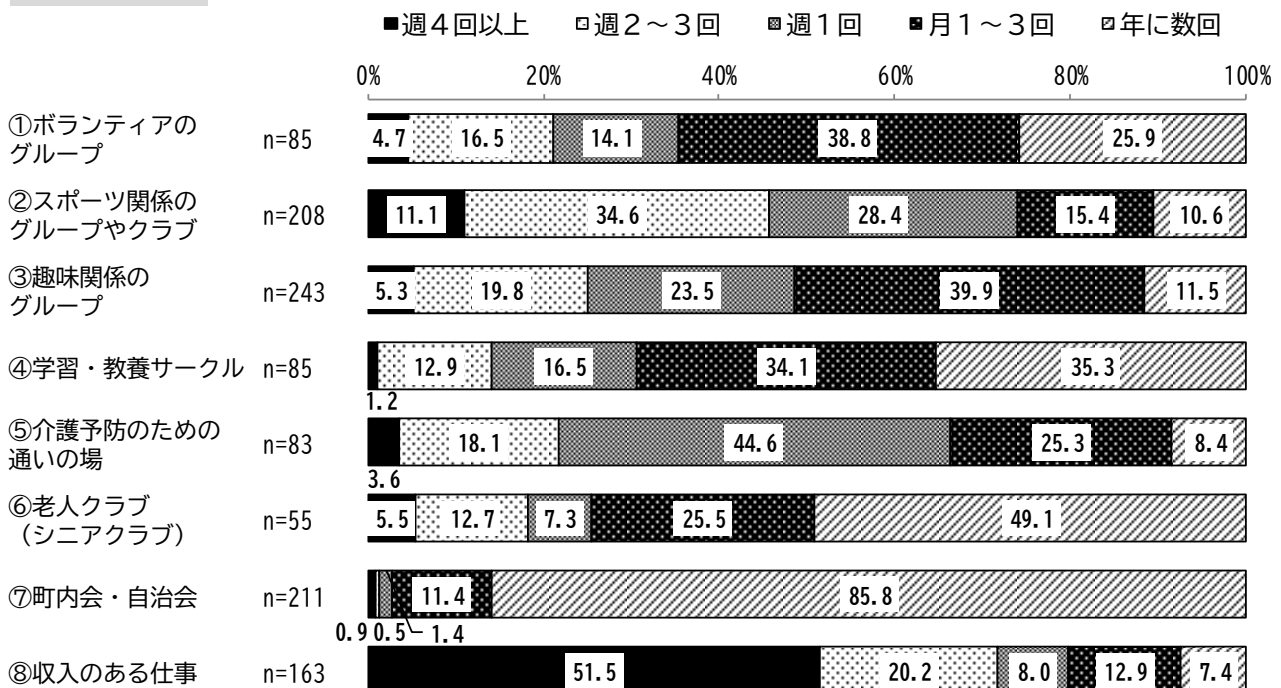
「②スポーツ関係のグループやクラブ」「③趣味関係のグループ」「⑦町内会・自治会」は、「参加している」が3割前後となっています。

参加している方の参加頻度は、「⑧収入のある仕事」で「週4回以上」が約5割となっています。

【参加状況】

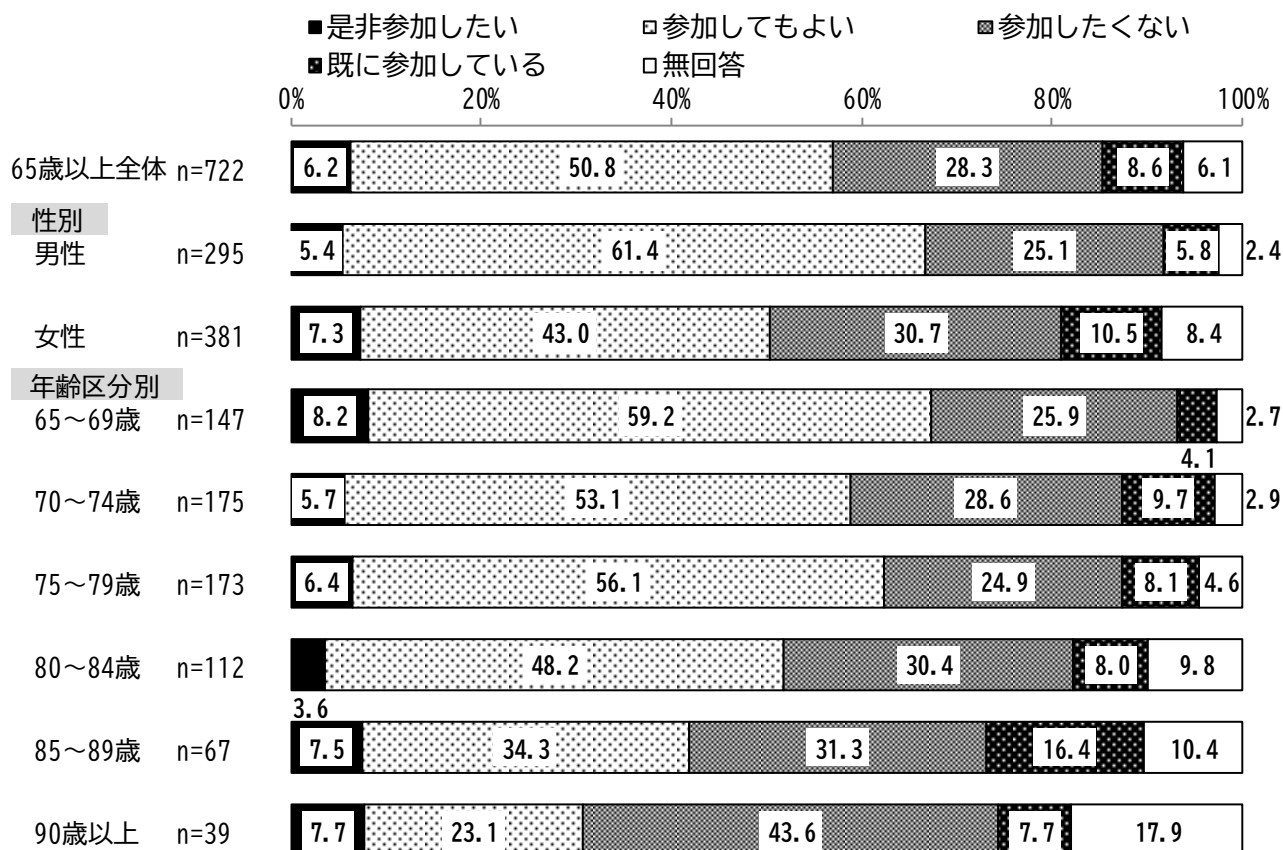


【参加頻度】



問 23 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

「是非参加したい」が6.2%、「参加してもよい」が50.8%、「参加したくない」が28.3%となっており、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向有』は57.0%となっています。性別では、男性で「参加してもよい」が61.4%と、女性と比べて18.4ポイント高くなっています。年齢区分別では、75～79歳以上で、年代が上がるにつれて『参加意向有』が低くなっています。

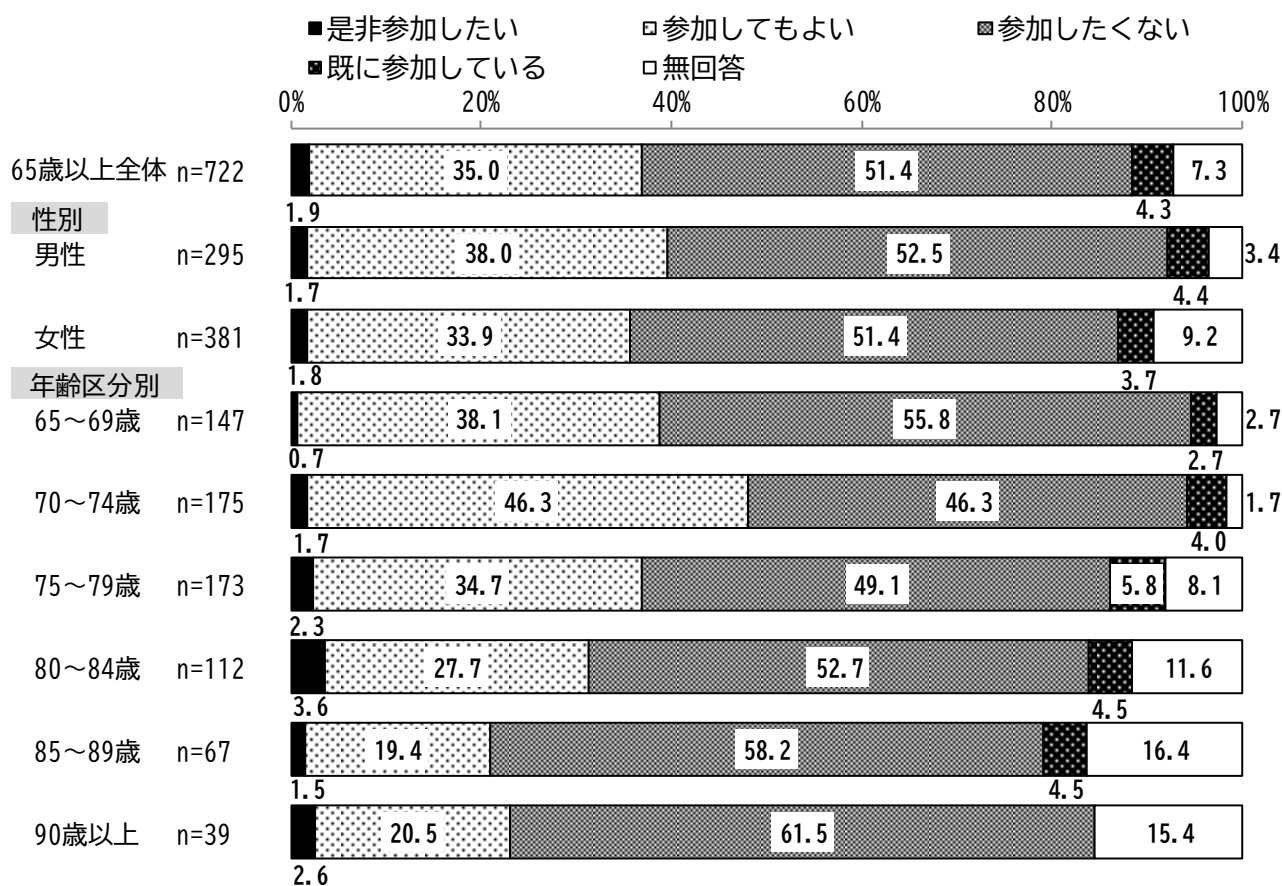


問 24 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

「是非参加したい」が1.9%、「参加してもよい」が35.0%、「参加したくない」が51.4%となっており、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向有』は36.9%となっています。

性別では、大きな差はありません。

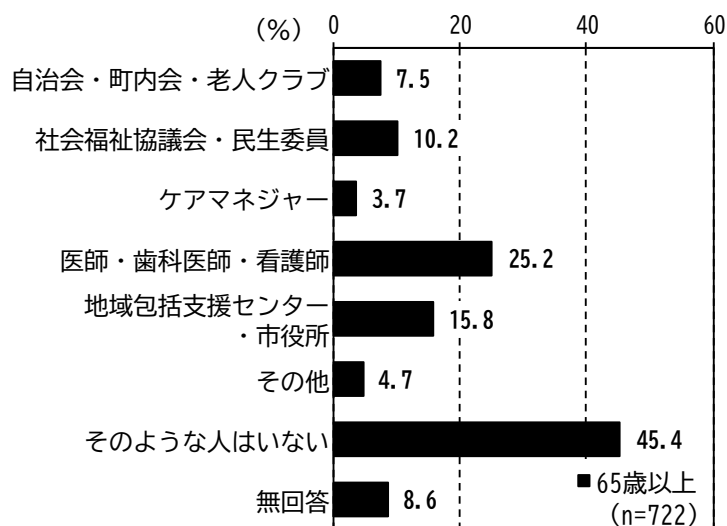
年齢区分別では、70～74歳以上で、年代が上がるにつれて「参加したくない」が高くなっています。



7 たすけあいについて

問 25 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

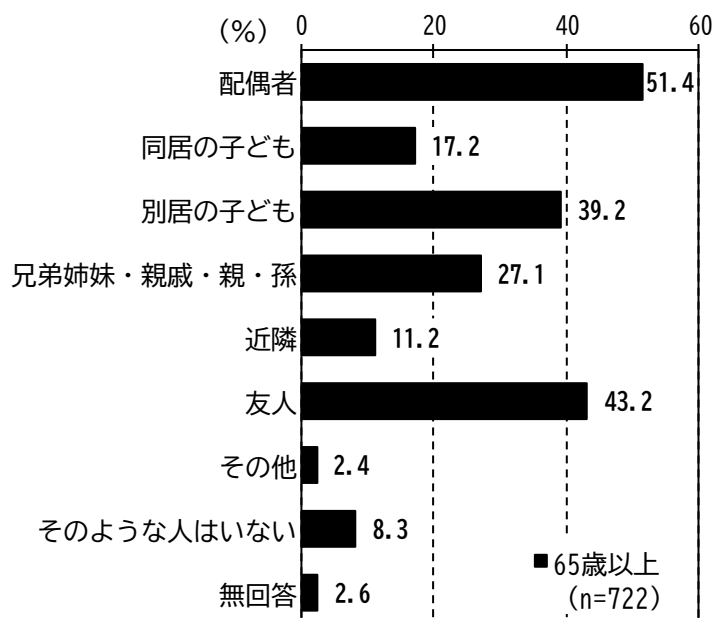
「そのような人はいない」(45.4%)を除いて、「医師・歯科医師・看護師」が25.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が15.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が10.2%となっています。



問 26 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（○はいくつでも）

「配偶者」が51.4%と最も高く、次いで「友人」が43.2%、「別居の子ども」が39.2%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が69.2%、女性で「友人」が54.1%と、それぞれ最も高くなっています。



※クロス集計

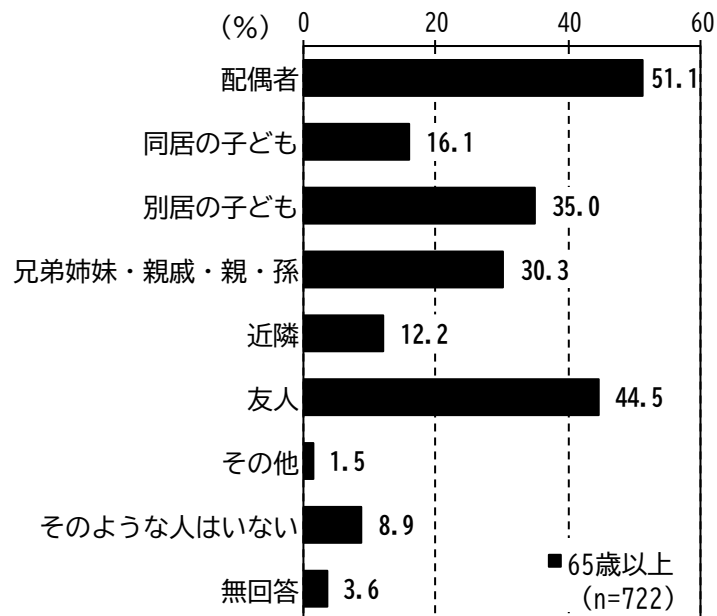
(単位：%)

区分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・孫 ・親戚・親戚	近隣	友人	その他	いその ないよ うな 人は	無回答
性別	男性 n=295	69.2	10.2	28.5	20.0	6.8	29.5	1.4	12.9	2.7
	女性 n=381	39.4	21.8	48.6	33.6	15.0	54.1	3.4	4.7	2.6

問 27 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。
 (〇はいくつでも)

「配偶者」が51.1%と最も高く、次いで「友人」が44.5%、「別居の子ども」が35.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.3%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が70.5%、女性で「友人」が54.6%と、それぞれ最も高くなっています。



※クロス集計

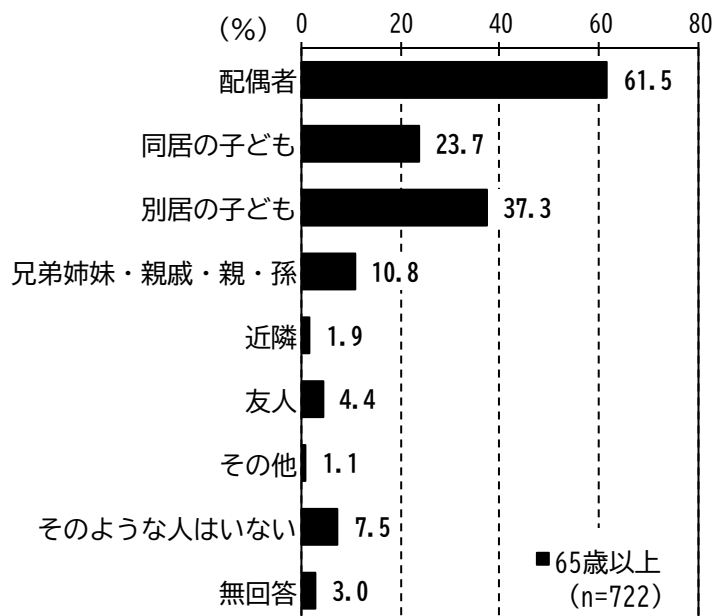
(単位：%)

区分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・親戚	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
性別	男性 n=295	70.5	13.6	32.2	26.8	7.5	31.2	1.0	12.9	2.4
	女性 n=381	39.1	18.1	38.3	33.9	16.5	54.6	2.1	5.5	3.9

問 28 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
(〇はいくつでも)

「配偶者」が61.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が37.3%、「同居の子ども」が23.7%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が80.7%と、女性と比べて32.9ポイント高くなっています。



※クロス集計

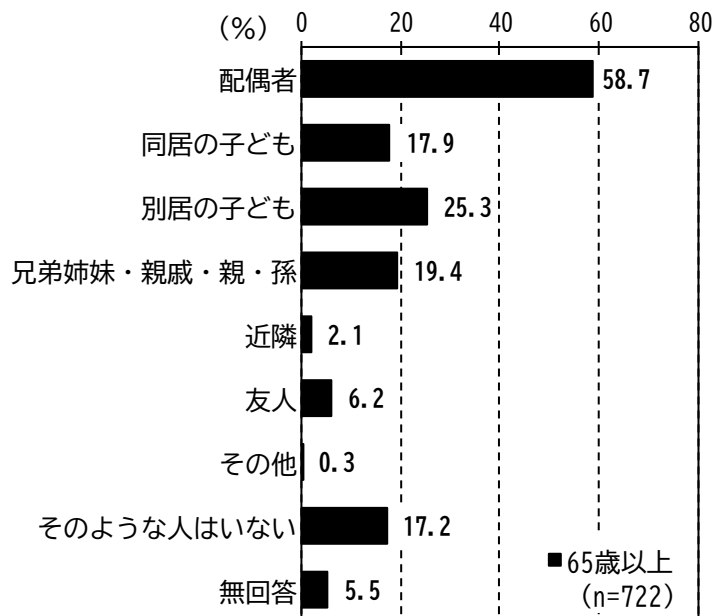
(単位：%)

区分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・孫 ・親戚	近隣	友人	その他	いその ないよ うな 人は	無回答
性別	男性 n=295	80.7	14.6	25.4	9.8	1.0	1.7	0.0	6.1	3.4
	女性 n=381	47.8	31.2	45.7	11.8	2.9	7.1	2.1	7.9	2.6

問 29 反対に、看病や世話をしつてあげる人はいますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が58.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」が25.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.4%、「同居の子ども」が17.9%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が71.9%と、女性と比べて21.5ポイント高くなっています。



※クロス集計

(単位：%)

区分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・親戚	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
性別	男性 n=295	71.9	13.6	20.0	15.3	1.7	3.1	0.0	13.9	4.7
	女性 n=381	50.4	22.3	31.8	23.6	2.6	9.2	0.3	17.6	5.8

8 あなたの健康について

問 30 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

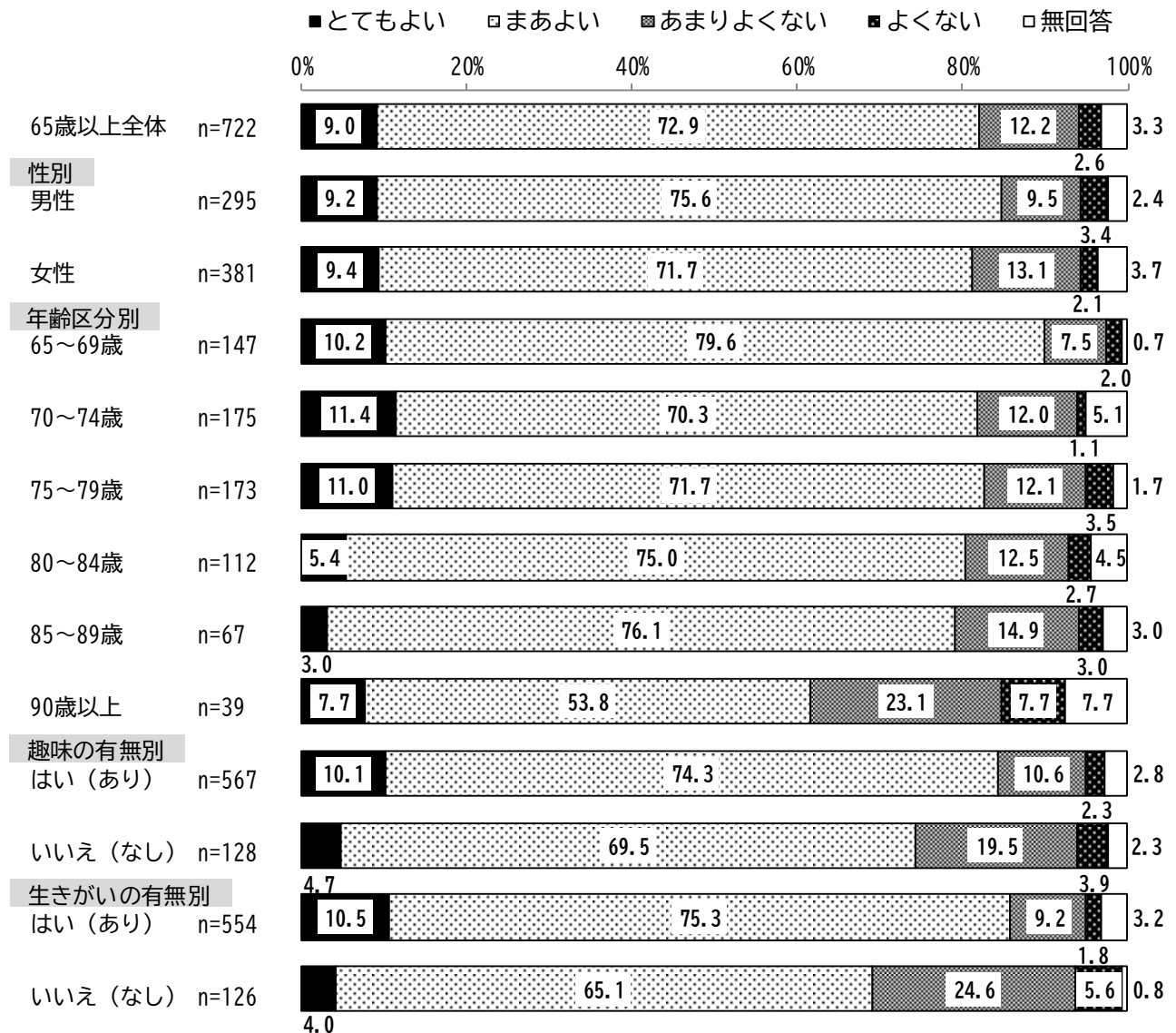
「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が81.9%、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『よくない』が14.8%となっています。

性別では、大きな差はありません。

年齢区分別では、75～79歳以上で、年代が上がるにつれ、『よい』が低くなっています。

趣味の有無別では、「はい（趣味あり）」で『よい』が84.4%と、「いいえ（趣味なし）」と比べて10.2ポイント高くなっています。

生きがいの有無別では、「はい（生きがいあり）」で『よい』が85.8%と、「いいえ（生きがいなし）」と比べて16.7ポイント高くなっています。

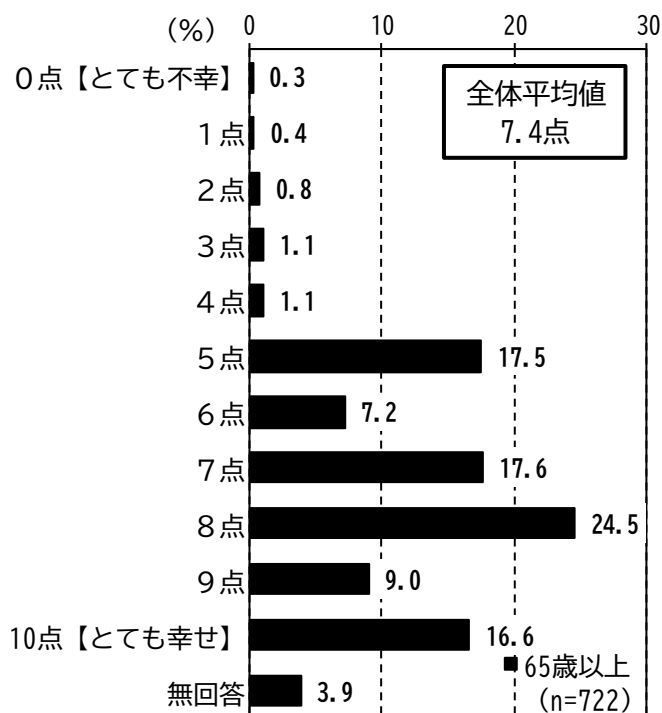


問 31 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○を1つつけてください。

「8点」が24.5%と最も高く、次いで「7点」が17.6%、「5点」が17.5%、「10点【とても幸せ】」が16.6%となっています。なお、全体の平均値は7.4点（「無回答」を除いた平均）となっています。

性別では、女性の平均値が7.6点と、全体の平均値を上回っています。

年齢区分別では、90歳以上を除いて、平均値が7.2点から7.4点の間となっています。



※クロス集計

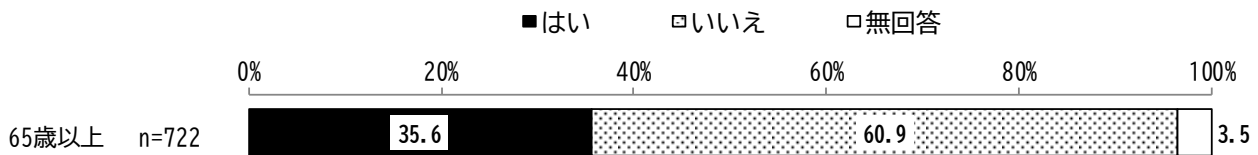
(単位：%)

区分		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均値 (点)
		【とても不幸】										【とても幸せ】		
性別	男性 n=295	0.3	0.7	0.7	1.4	1.0	19.3	8.1	21.0	22.7	9.8	11.5	3.4	7.1
	女性 n=381	0.3	0.0	1.0	0.8	1.0	15.2	7.1	16.0	25.2	8.4	20.7	4.2	7.6
年齢区分別	65～69歳 n=147	0.7	0.7	0.7	0.7	2.7	15.0	5.4	27.9	26.5	5.4	13.6	0.7	7.2
	70～74歳 n=175	0.0	0.0	1.1	1.1	0.6	16.0	10.9	17.1	25.7	9.7	13.7	4.0	7.3
	75～79歳 n=173	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	17.3	5.8	17.9	25.4	11.0	15.6	4.0	7.4
	80～84歳 n=112	0.0	0.0	0.9	2.7	0.9	18.8	8.0	11.6	21.4	9.8	20.5	5.4	7.4
	85～89歳 n=67	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	22.4	7.5	11.9	26.9	7.5	14.9	6.0	7.2
	90歳以上 n=39	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	20.5	2.6	5.1	7.7	12.8	41.0	7.7	8.1

※平均値は、問31の「無回答」を除いた値です。

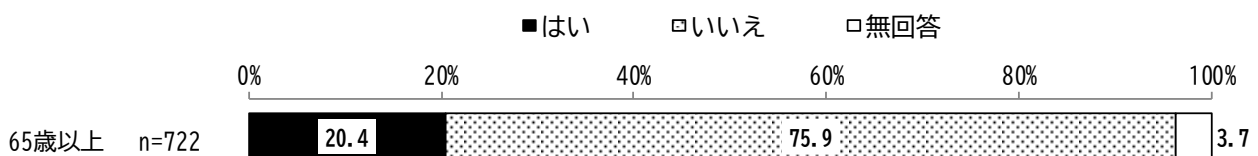
問 32 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

「はい」が35.6%、「いいえ」が60.9%となっています。



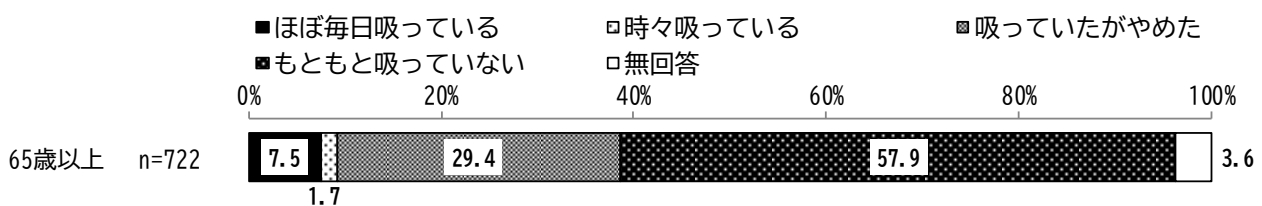
問 33 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

「はい」が20.4%、「いいえ」が75.9%となっています。



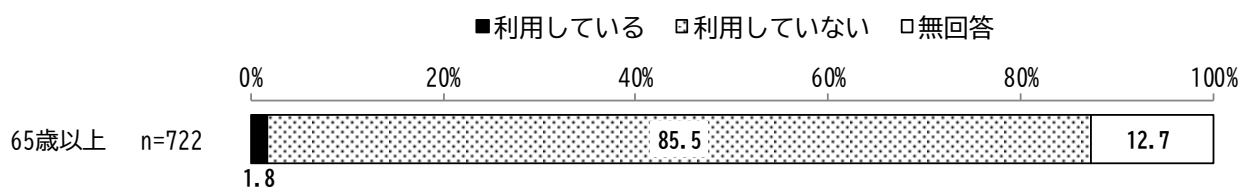
問 34 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』が9.2%、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた『吸っていない』が87.3%となっています。



問 35 現在、訪問診療（医師の訪問）を利用していますか。（○は1つ）

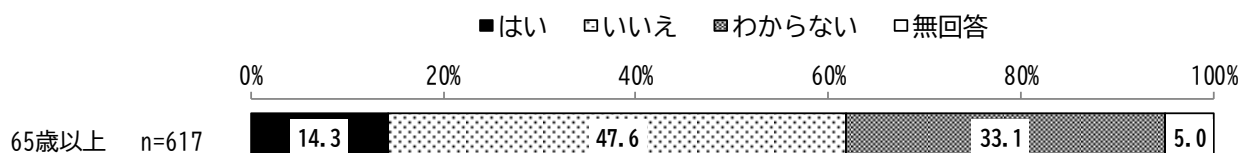
「利用している」が1.8%、「利用していない」が85.5%となっています。



※問 35 で「利用していない」と答えた方

問 35-1 訪問診療（医師の訪問）を利用したいと思いますか。（○は1つ）

「はい」が14.3%、「いいえ」が47.6%、「わからない」が33.1%となっています。

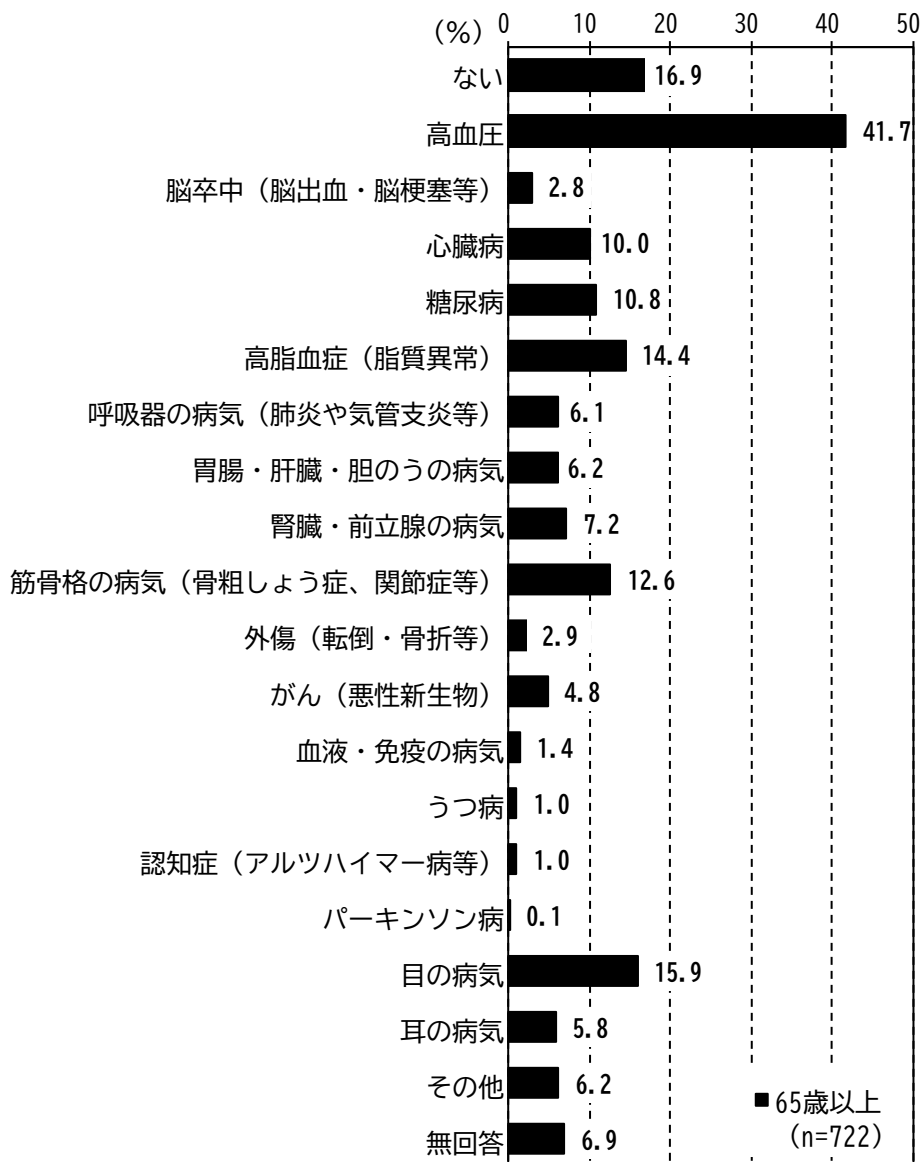


問 36 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「ない」(16.9%)を除いて、「高血圧」が41.7%と最も高く、次いで「目の病気」が15.9%、「高脂血症(脂質異常)」が14.4%となっています。

性別では、男女ともに「高血圧」が最も高くなっています。

年齢区分別では、90歳以上で「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」と「目の病気」が2割を超えています。



※クロス集計

(単位：%)

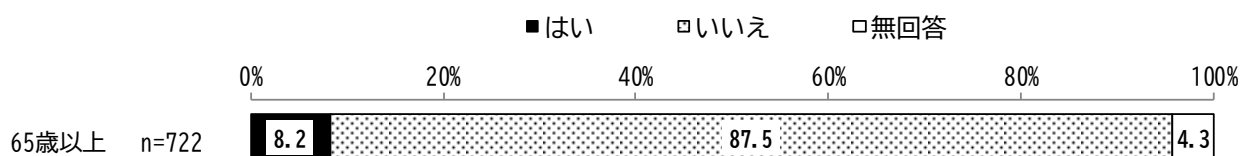
区分		ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	(呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胆のう・肝臓の病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(肩こり・腰痛等)
性別	男性 n=295	13.6	42.7	5.1	13.9	15.9	10.5	7.1	6.4	14.6	4.4
	女性 n=381	19.7	40.2	0.8	6.8	7.9	18.6	4.7	6.6	1.6	18.9
年齢区分別	65～69歳 n=147	24.5	31.3	4.1	9.5	10.9	20.4	4.1	7.5	3.4	8.2
	70～74歳 n=175	15.4	41.1	3.4	11.4	12.0	18.3	5.7	5.1	6.9	7.4
	75～79歳 n=173	15.6	45.1	1.2	9.2	11.6	9.8	4.6	4.6	7.5	16.2
	80～84歳 n=112	12.5	42.9	1.8	8.9	12.5	9.8	11.6	8.0	12.5	12.5
	85～89歳 n=67	13.4	43.3	1.5	10.4	6.0	13.4	3.0	7.5	7.5	19.4
	90歳以上 n=39	17.9	59.0	5.1	12.8	5.1	10.3	10.3	7.7	7.7	28.2

区分		外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
性別	男性 n=295	1.4	6.1	0.7	0.7	1.0	0.3	15.6	7.5	6.1	5.4
	女性 n=381	4.2	3.4	1.3	1.3	0.8	0.0	16.5	5.0	6.8	8.1
年齢区分別	65～69歳 n=147	2.0	4.1	2.0	1.4	0.7	0.7	12.9	4.1	6.8	6.8
	70～74歳 n=175	1.1	4.0	0.6	1.1	0.6	0.0	13.7	6.3	6.3	10.3
	75～79歳 n=173	2.3	6.9	1.7	1.7	1.2	0.0	19.7	6.4	6.9	5.2
	80～84歳 n=112	2.7	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1	3.6	5.4	8.0
	85～89歳 n=67	7.5	4.5	3.0	0.0	3.0	0.0	14.9	6.0	6.0	3.0
	90歳以上 n=39	10.3	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0	25.6	15.4	5.1	5.1

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

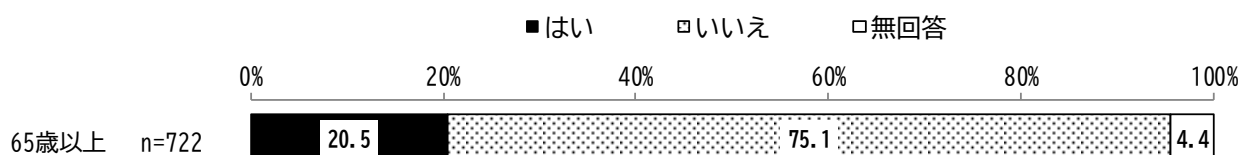
問 37 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。(○は1つ)

「はい」が8.2%、「いいえ」が87.5%となっています。



問 38 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」が20.5%、「いいえ」が75.1%となっています。



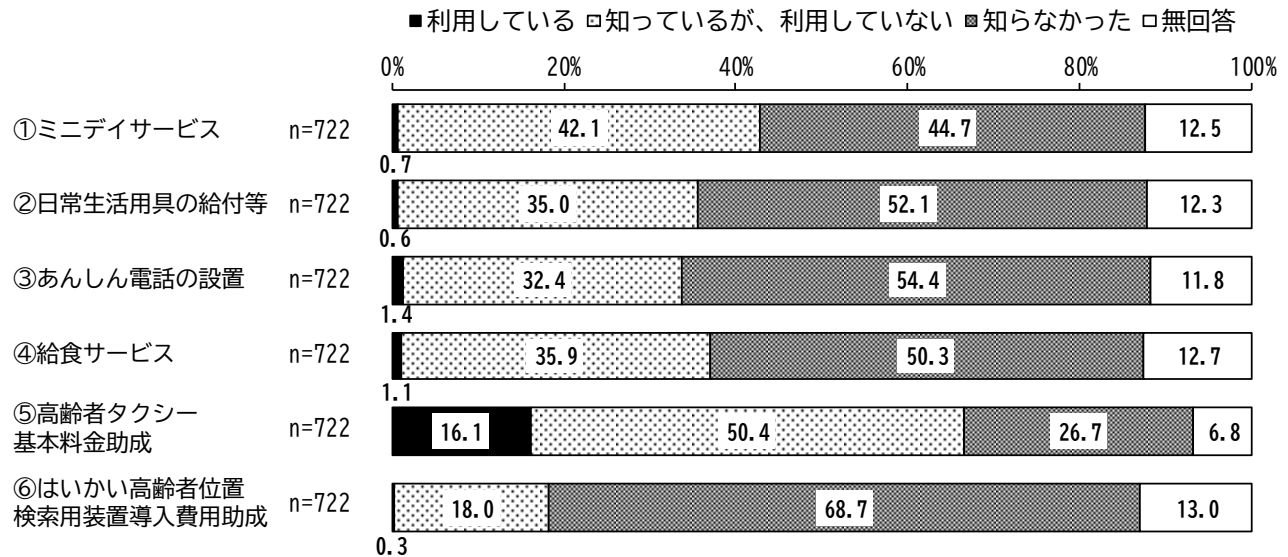
10 介護保険制度・高齢社会について

問 39 本市で実施している福祉サービス（介護保険以外）についてお答えください。それぞれあてはまるものに○をつけてください。（○は1つずつ）

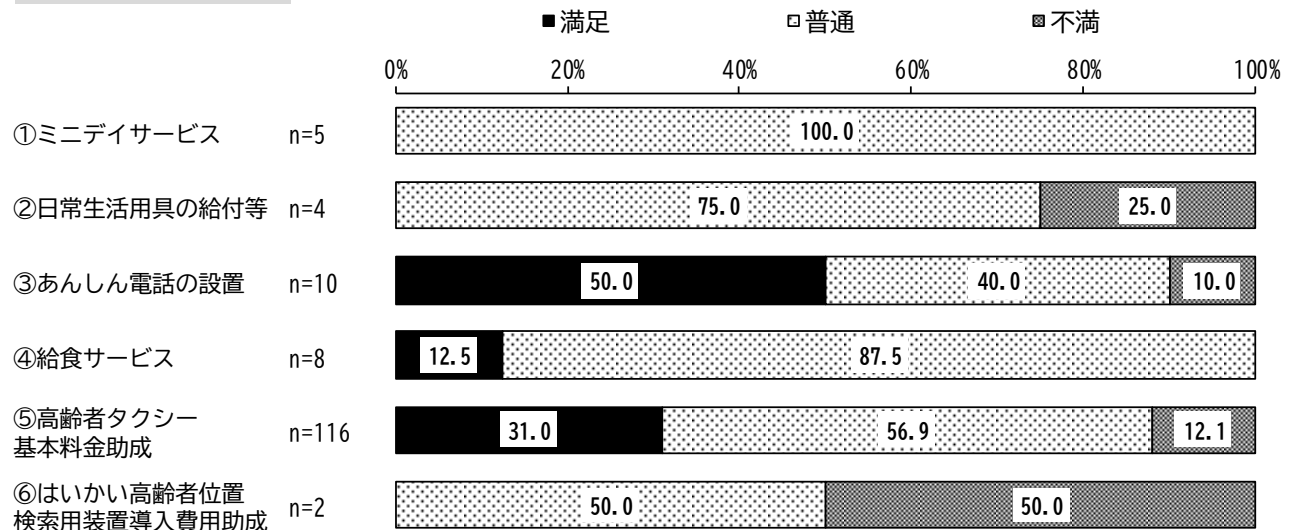
「⑤高齢者タクシー基本料金助成」は、「利用している」が16.1%となっています。また、「⑥はいはい高齢者位置検索用装置導入費用助成」は、「知らなかった」が68.7%となっています。

利用者の満足度は、「⑤高齢者タクシー基本料金助成」で「満足」が31.0%となっています。

【利用状況】



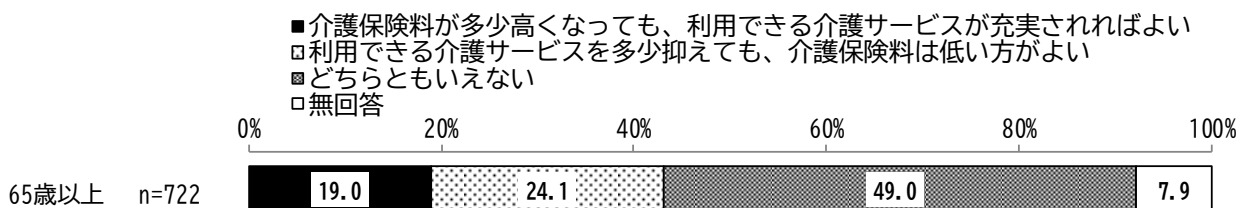
【利用者の満足度】



※「⑤高齢者タクシー基本料金助成」以外の項目は、回答者が少ないため参考程度とします。

問 40 介護保険料の額は、介護サービスの利用量によって決まります。このため、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、介護保険料と介護サービスの関係について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。（○は1つ）

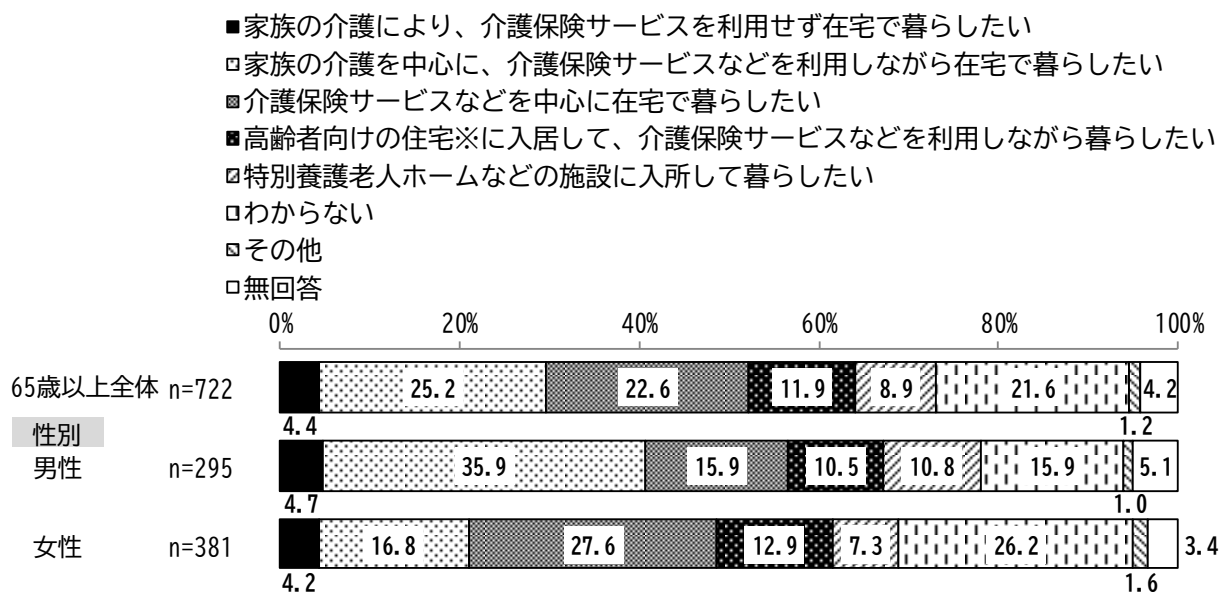
「介護保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実できればよい」が19.0%、「利用できる介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」が24.1%、「どちらともいえない」が49.0%となっています。



問 41 今後、あなたが介護が必要な状態（介護認定対象者）になったとき、どのような介護を期待しますか。（○は1つ）

「家族の介護により、介護保険サービスを利用せず在宅で暮らしたい」と「家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい」と「介護保険サービスなどを中心に在宅で暮らしたい」を合わせた『在宅生活希望』が52.2%となっています。

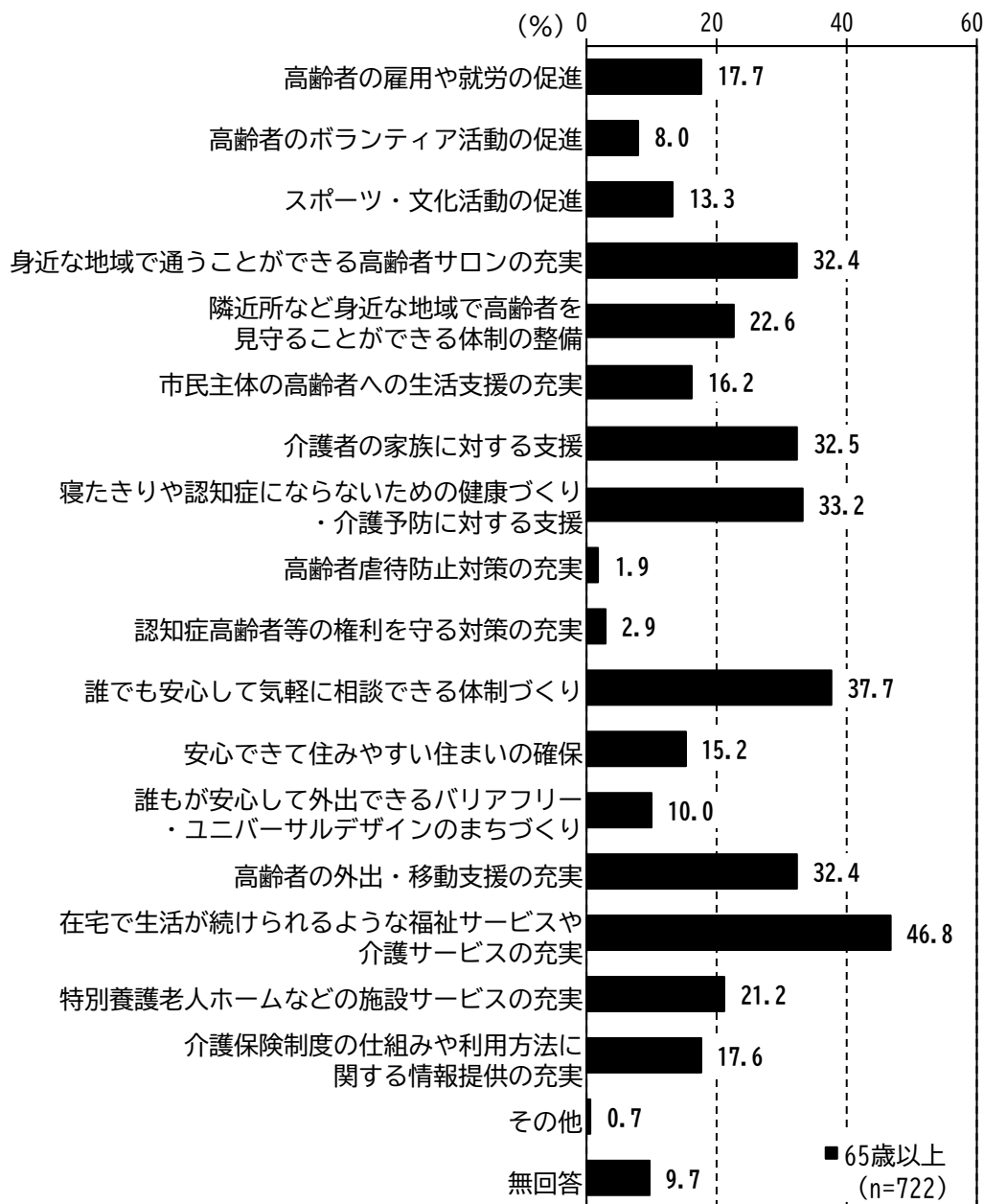
性別では、男性で「家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい」が35.9%と、女性に比べて19.1ポイント高くなっています。



※サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど

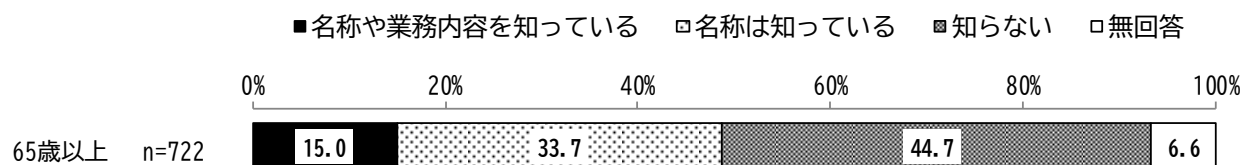
問 42 高齢社会に向けて、本市は何に重点をおくべきだと思いますか。（〇は5つまで）

「在宅で生活が続けられるような福祉サービスや介護サービスの充実」が46.8%と最も高く、次いで「誰でも安心して気軽に相談できる体制づくり」が37.7%、「寝たきりや認知症にならないための健康づくり・介護予防に対する支援」が33.2%となっています。



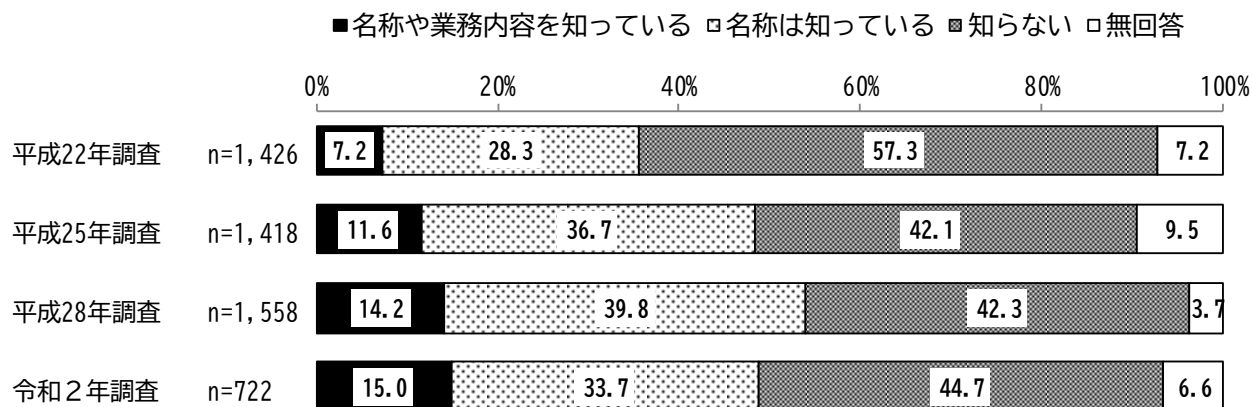
問 43 「尾張旭市地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

「名称や業務内容を知っている」が15.0%、「名称は知っている」が33.7%、「知らない」が44.7%となっています。



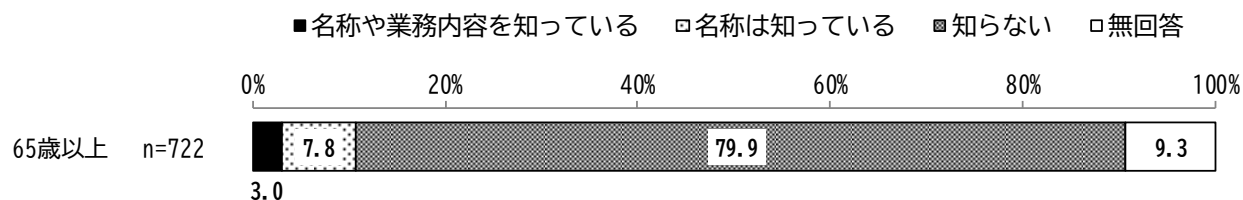
※経年比較

経年でみると、平成22年から令和2年にかけて「名称や業務内容を知っている」が高くなっています。



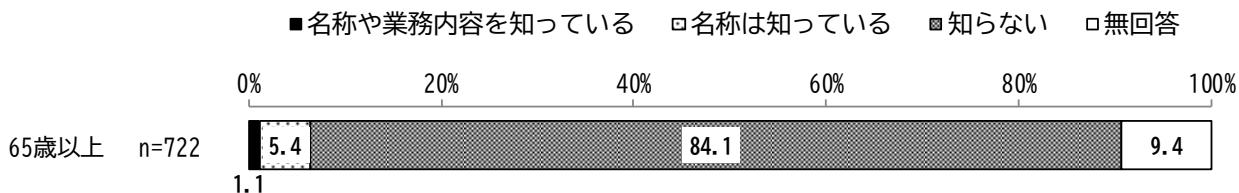
問 44 「尾張東部権利擁護支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

「名称や業務内容を知っている」が3.0%、「名称は知っている」が7.8%、「知らない」が79.9%となっています。



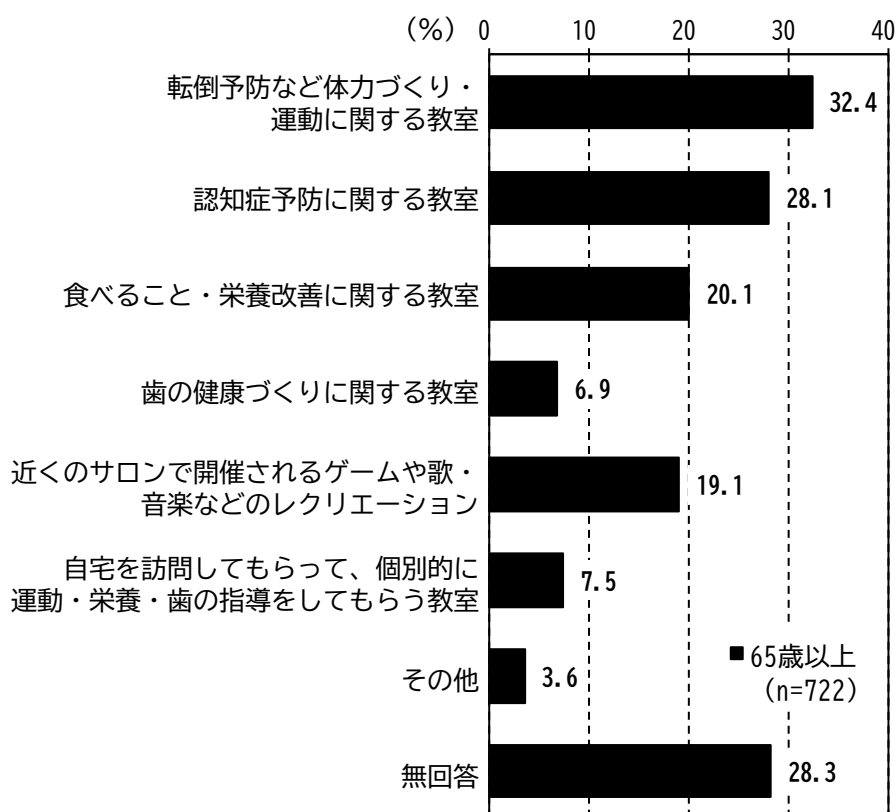
問 45 「瀬戸旭もーやっこネットワーク」を知っていますか。(〇は1つ)

「名称や業務内容を知っている」が1.1%、「名称は知っている」が5.4%、「知らない」が84.1%となっています。



問 46 介護予防事業について、興味があるもの、参加したいと思うものをお答えください。(〇は3つまで)

「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」が32.4%と最も高く、次いで「認知症予防に関する教室」が28.1%、「食べること・栄養改善に関する教室」が20.1%となっています。



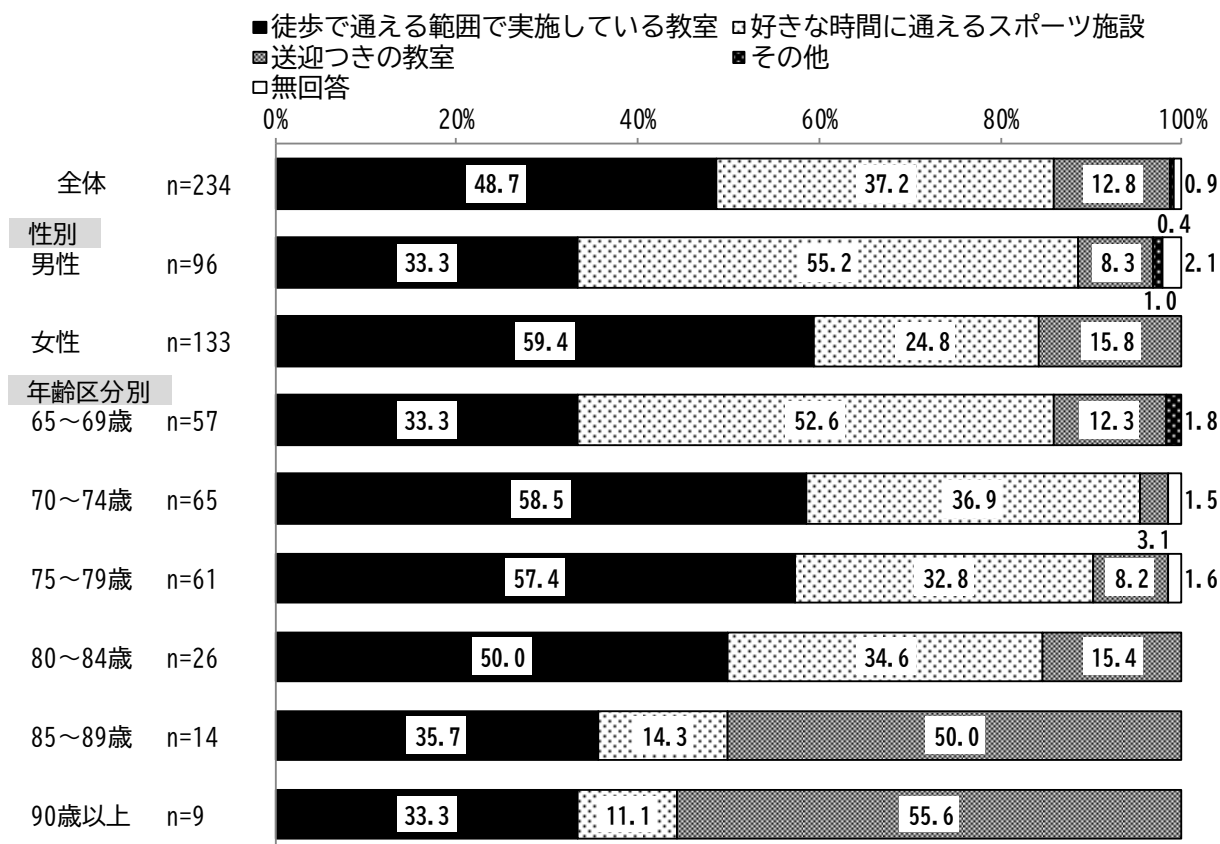
※問 46 で「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」と答えた方

問 46-1 どのような教室であればより参加しやすいと思いますか。(〇は1つ)

「徒歩で通える範囲で実施している教室」が48.7%と最も高く、次いで「好きな時間に通えるスポーツ施設」が37.2%、「送迎つきの教室」が12.8%となっています。

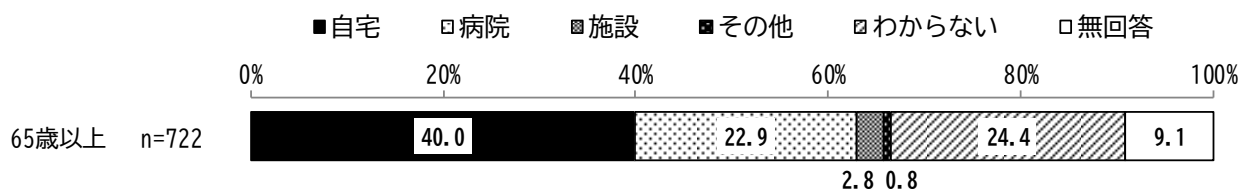
性別では、男性で「好きな時間に通えるスポーツ施設」が55.2%と、女性と比べて30.4ポイント高くなっています。一方で、女性は「徒歩で通える範囲で実施している教室」が59.4%と、男性と比べて26.1ポイント高くなっています。

年齢区分別では、65～69歳で「好きな時間に通えるスポーツ施設」が、70～84歳で「徒歩で通える範囲で実施している教室」が、85歳以上で「送迎つきの教室」がそれぞれ最も高くなっています。



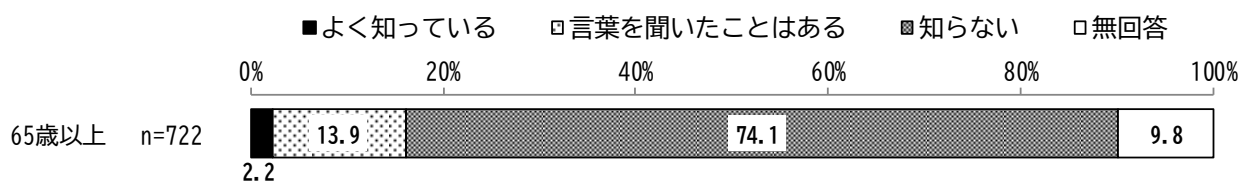
問 47 あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいと思いますか。
 (○は1つ)

「自宅」が40.0%と最も高く、次いで「わからない」が24.4%、「病院」が22.9%となっています。



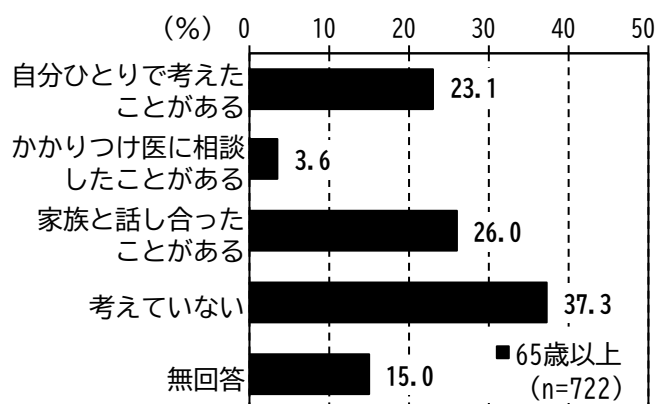
問 48 「人生会議」または「ACP」について、知っていますか。(○は1つ)

「よく知っている」が2.2%、「言葉を聞いたことはある」が13.9%、「知らない」が74.1%となっています。



問 49 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、
 以下にあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

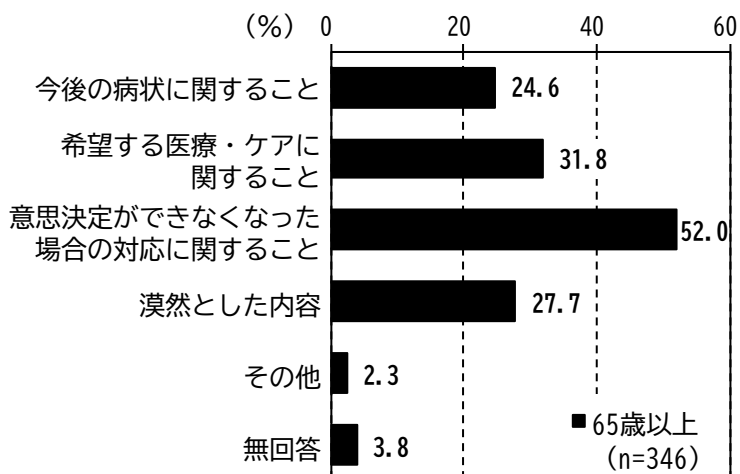
「考えていない」が37.3%と最も高く、次いで「家族と話し合ったことがある」が26.0%、「自分ひとりで考えたことがある」が23.1%となっています。



※問 49 で「自分ひとりで考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」と答えた方

問 49-1 どのような内容を考えましたか、または話しましたか。(〇はいくつでも)

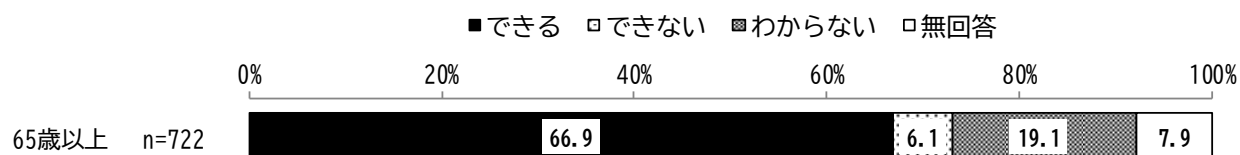
「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が52.0%と最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」が31.8%、「漠然とした内容」が27.7%、「今後の病状に関すること」が24.6%となっています。



11 防災対策について

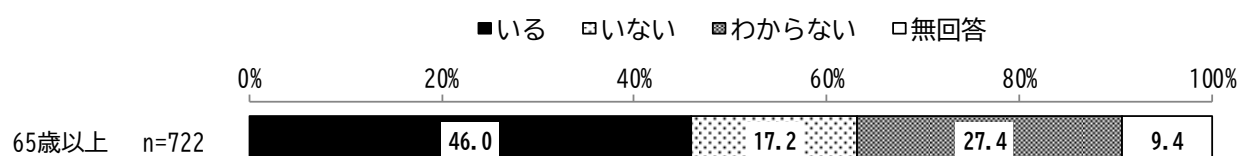
問 50 あなたは、災害発生時に、自力で避難することができますか。（○は1つ）

「できる」が66.9%、「できない」が6.1%、「わからない」が19.1%となっています。



問 51 避難を支援してくれる人がいますか。（○は1つ）

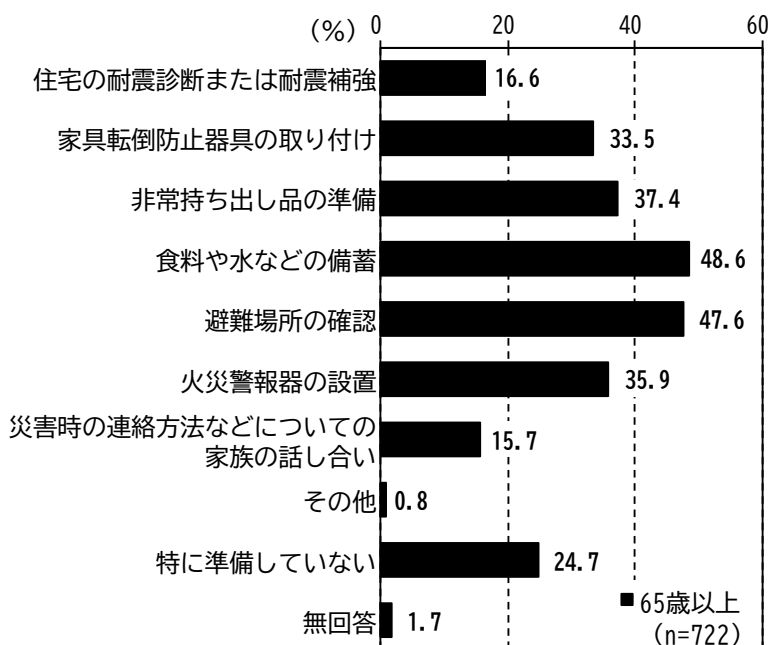
「いる」が46.0%、「いない」が17.2%、「わからない」が27.4%となっています。



問 52 ご家庭では地震などに対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

「食料や水などの備蓄」が48.6%と最も高く、次いで「避難場所の確認」が47.6%、「非常持ち出し品の準備」が37.4%となっています。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「家具転倒防止器具の取り付け」「非常持ち出し品の準備」「火災警報器の設置」が約4割となっています。



※クロス集計

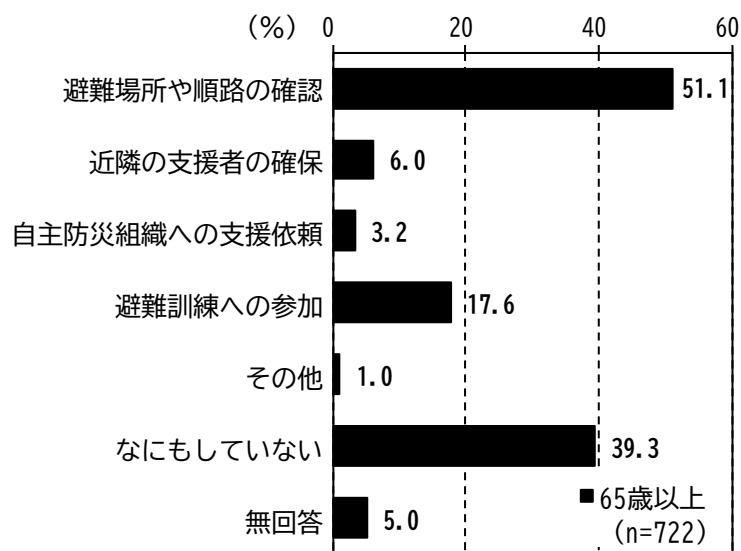
(単位：%)

区分		住宅の耐震診断または耐震補強	家具転倒防止器具の取り付け	非常持ち出し品の準備	食料や水などの備蓄	避難場所の確認	火災警報器の設置	災害時の連絡方法などについて家族の話し合い	その他	特に準備していない	無回答
世帯構成別	1人暮らし (n=108)	12.0	25.9	35.2	50.0	42.6	34.3	10.2	0.0	33.3	0.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=333)	19.5	41.1	41.7	52.3	52.6	41.7	16.5	0.9	21.3	1.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=29)	10.3	27.6	31.0	41.4	48.3	27.6	20.7	0.0	27.6	6.9
	息子・娘との2世帯 (n=131)	16.0	32.1	33.6	43.5	45.0	30.5	17.6	0.8	23.7	2.3
	その他 (n=107)	14.0	20.6	34.6	44.9	43.9	28.0	14.0	1.9	27.1	2.8

問 53 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

「なにもしていない」(39.3%)を除いて、「避難場所や順路の確認」が51.1%と最も高く、次いで「避難訓練への参加」が17.6%となっています。

世帯構成別では、息子・娘との2世帯を除いて「避難場所や順路の確認」が最も高くなっています。また、1人暮らしと息子・娘との2世帯とその他で「なにもしていない」が4割を超えています。



※クロス集計

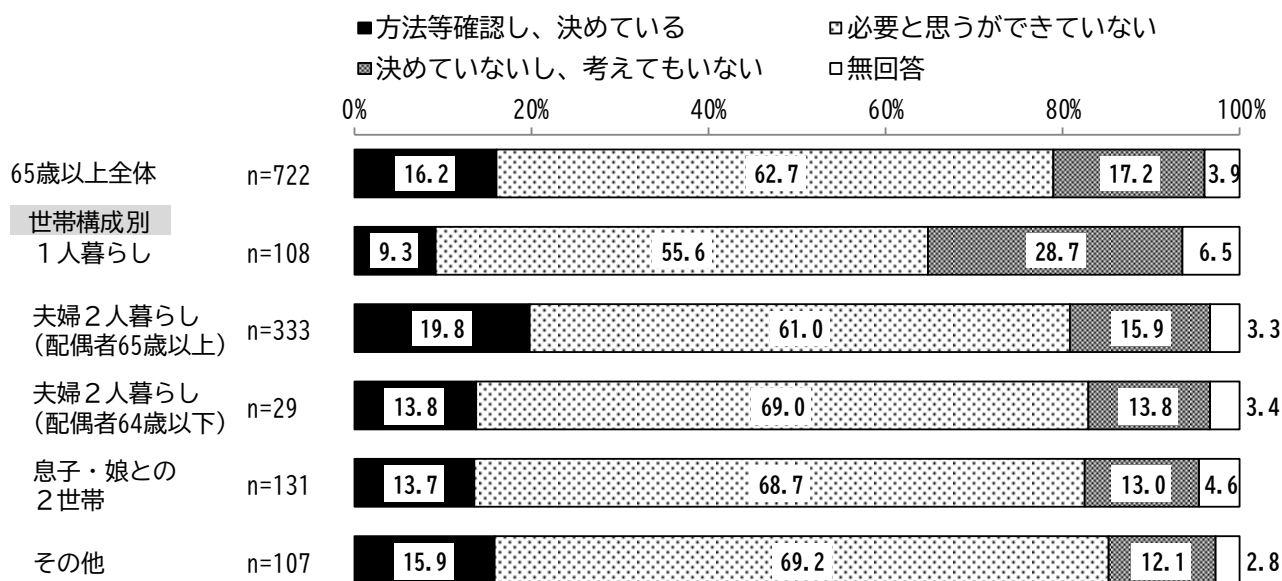
(単位: %)

世帯構成別	世帯数 (n)	順避難の場所確認や	近隣の支援者の確保	自主防災組織への支援依頼	避難訓練への参加	その他	なにもしていない	無回答
		1人暮らし	n=108	47.2	6.5	4.6	12.0	0.0
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	n=333	57.4	6.6	3.0	19.2	0.6	33.9	3.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	n=29	58.6	3.4	0.0	27.6	0.0	34.5	6.9
息子・娘との2世帯	n=131	45.0	6.1	4.6	13.7	0.8	45.8	7.6
その他	n=107	42.1	4.7	1.9	18.7	3.7	40.2	7.5

問 54 ご家族と避難方法や安否確認の方法についての話し合いや決めごとをしていますか。
(○は1つ)

「方法等確認し、決めている」が16.2%、「必要と思うができていない」が62.7%、「決めていないし、考えてもいない」が17.2%となっています。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「方法等確認し、決めている」が約2割となっています。



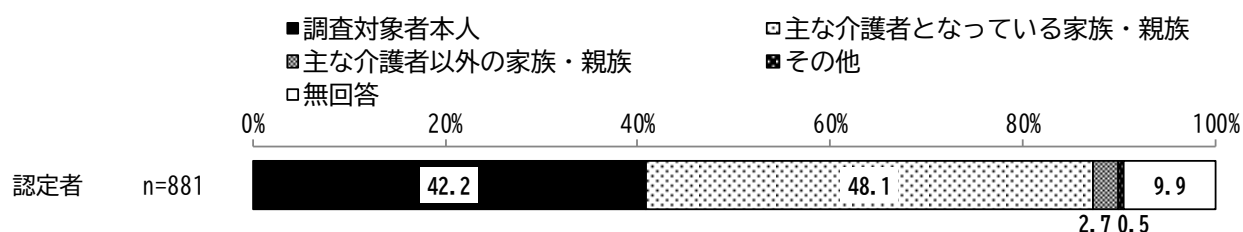
Ⅲ 要支援・要介護認定者調査結果

※グラフ中では、「要支援・要介護認定者」を「認定者」と表しています。「認定者（介護者）」と表記のあるものは、調査対象である要支援・要介護認定者を介護している方の回答となります。

1 回答者について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

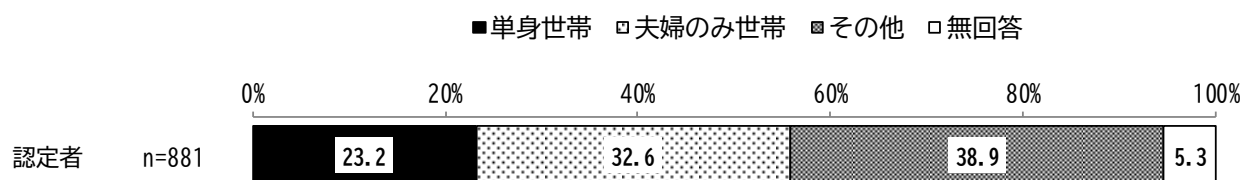
「主な介護者となっている家族・親族」が48.1%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が42.2%となっています。



2 調査対象者の年齢や性別、生活状況などについて

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

「単身世帯」が23.2%、「夫婦のみ世帯」が32.6%、「その他」が38.9%となっています。

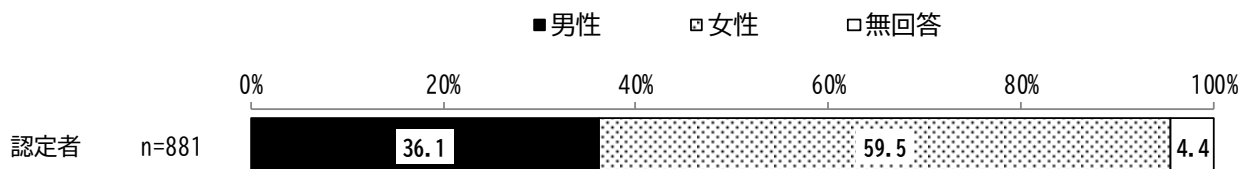


問3 ご本人の性別・年齢・日中の状況、お住まいの地区についてお答えください。

①ご本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

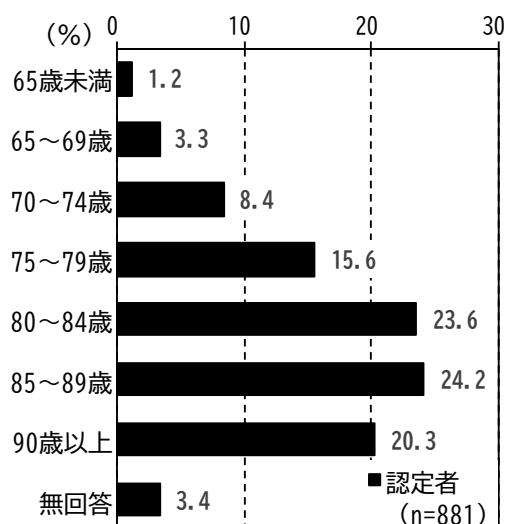
※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。

「男性」が36.1%、「女性」が59.5%となっています。



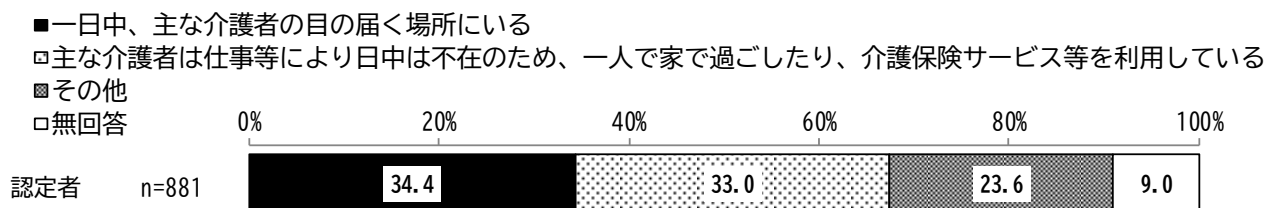
②ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

「85～89歳」が24.2%と最も高く、次いで「80～84歳」が23.6%、「90歳以上」が20.3%となっています。



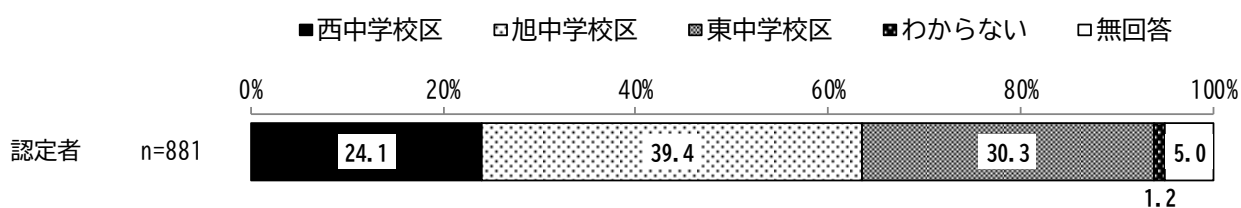
③ご本人の日中の状況 (○は1つ)

「一日中、主な介護者の目の届く場所にいる」が34.4%、「主な介護者は仕事等により日中は不在のため、一人で家で過ごしたり、介護保険サービス等を利用している」が33.0%、「その他」が23.6%となっています。



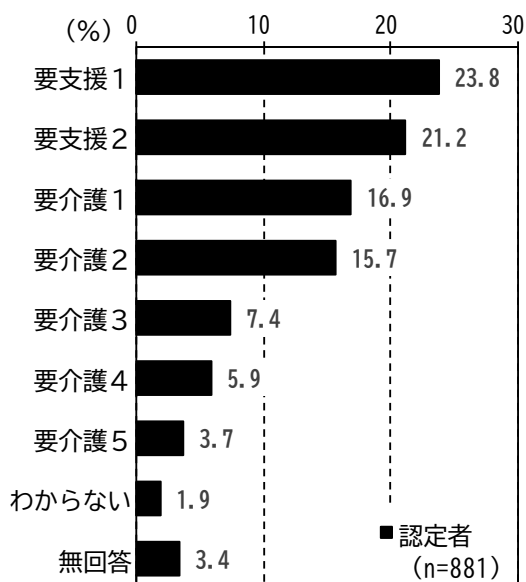
④【お住まいの地区（中学校区）】（○は1つ）

「西中学校区」が24.1%、「旭中学校区」が39.4%、「東中学校区」が30.3%となっています。



問4 ご本人の要介護度について、ご回答ください。（○は1つ）

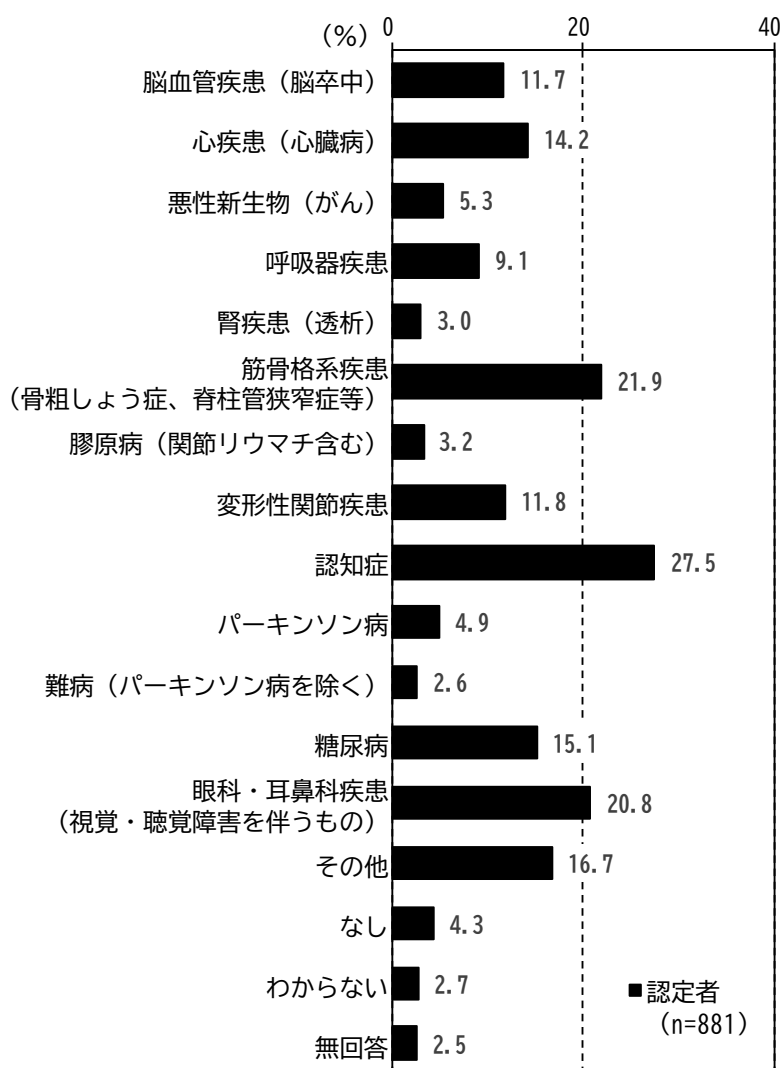
「要支援1」が23.8%と最も高く、次いで「要支援2」が21.2%、「要介護1」が16.9%、「要介護2」が15.7%となっています。



問5 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
 (あてはまるものすべてに○)

「認知症」が27.5%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.9%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.8%となっています。

要介護度別では、要支援1で「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が、要支援2で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が、要介護1～5で「認知症」が、それぞれ最も高くなっています。なお、要介護1では「認知症」が56.4%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



※クロス集計

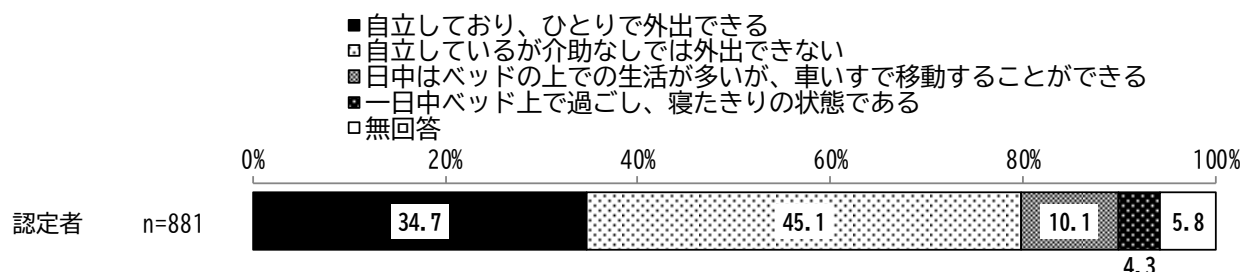
(単位：%)

区分		(脳血管疾患 (脳卒中))	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	脊(骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	筋骨格系疾患 (含む)	膠原病 (関節リウマチ)	変形性関節疾患	認知症
要介護度別	要支援1 n=210	6.2	13.8	6.2	9.5	0.5	21.4	1.9	14.3	11.9	
	要支援2 n=187	12.8	17.6	5.3	11.2	2.1	35.8	3.7	15.0	5.9	
	要介護1 n=149	12.8	13.4	4.7	4.7	3.4	12.1	3.4	12.1	56.4	
	要介護2 n=138	15.2	14.5	6.5	11.6	4.3	18.8	4.3	8.7	39.1	
	要介護3 n=65	18.5	12.3	6.2	4.6	9.2	15.4	6.2	10.8	36.9	
	要介護4 n=52	13.5	17.3	5.8	9.6	1.9	23.1	3.8	7.7	48.1	
	要介護5 n=33	15.2	6.1	0.0	6.1	3.0	12.1	0.0	6.1	39.4	
	わからない n=17	0.0	5.9	0.0	17.6	11.8	17.6	0.0	5.9	11.8	

区分		パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	を伴うもの (眼科・耳鼻科疾患)	その他	なし	わからない	無回答
要介護度別	要支援1 n=210	7.1	2.4	14.8	26.7	17.1	6.2	2.9	2.4
	要支援2 n=187	4.8	3.2	10.7	24.1	17.1	2.7	2.7	0.5
	要介護1 n=149	0.7	0.7	15.4	19.5	17.4	4.0	0.7	1.3
	要介護2 n=138	4.3	2.2	16.7	15.9	15.2	2.2	2.9	2.9
	要介護3 n=65	9.2	3.1	16.9	10.8	20.0	1.5	4.6	1.5
	要介護4 n=52	7.7	0.0	19.2	21.2	15.4	3.8	1.9	0.0
	要介護5 n=33	3.0	18.2	12.1	12.1	24.2	0.0	3.0	0.0
	わからない n=17	0.0	0.0	29.4	29.4	0.0	29.4	17.6	0.0

問6 あなたの生活状況は以下のどの状態に近いですか。(○は1つ)

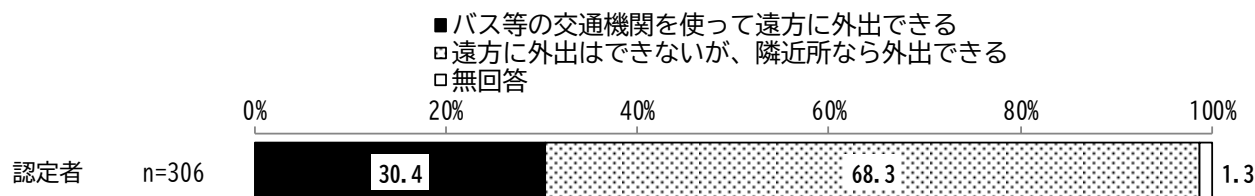
「自立しているが介助なしでは外出できない」が45.1%と最も高く、次いで「自立しており、ひとりで外出できる」が34.7%、「日中はベッドの上での生活が多いが、車いすで移動することができる」が10.1%となっています。



※問6で「自立しており、ひとりで外出できる」と答えた方

問6-1 あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。(○は1つ)

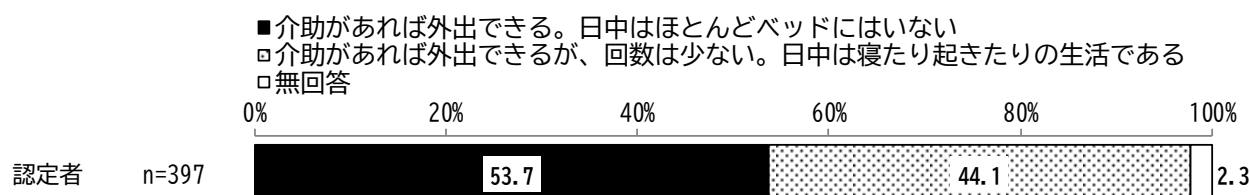
「バス等の交通機関を使って遠方に外出できる」が30.4%、「遠方に外出はできないが、隣近所なら外出できる」が68.3%となっています。



※問6で「自立しているが介助なしでは外出できない」と答えた方

問6-2 あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。(○は1つ)

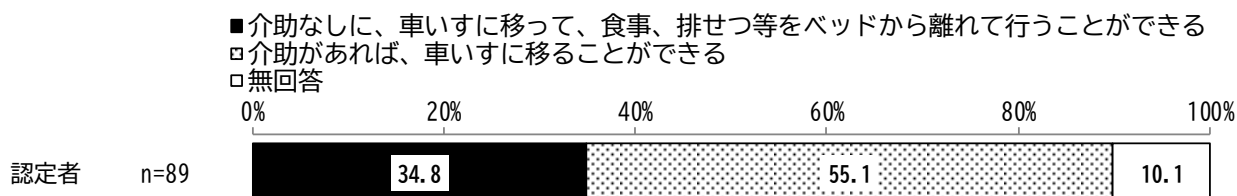
「介助があれば外出できる。日中はほとんどベッドにはいない」が53.7%、「介助があれば外出できるが、回数は少ない。日中は寝たり起きたりの生活である」が44.1%となっています。



※問6で「日中はベッドの上での生活が多いが、車いすで移動することができる」と答えた方

問6-3 あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。(○は1つ)

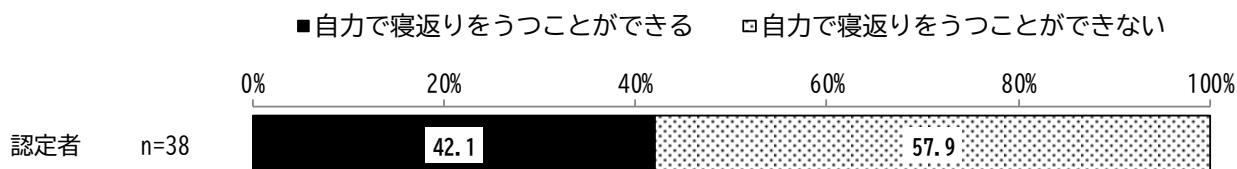
「介助なしに、車いすに移って、食事、排せつ等をベッドから離れて行うことができる」が34.8%、「介助があれば、車いすに移ることができる」が55.1%となっています。



※問6で「一日中ベッド上で過ごし、寝たきりの状態である」と答えた方

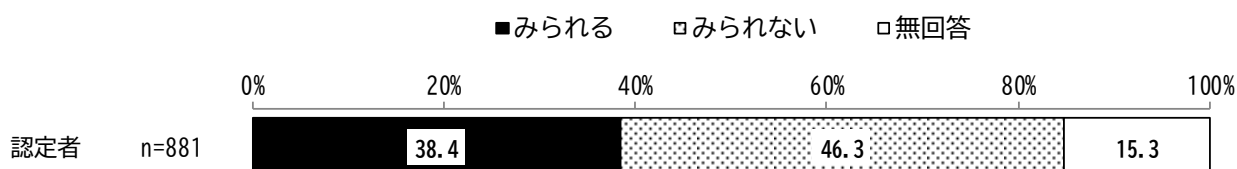
問6-4 あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。(○は1つ)

「自力で寝返りをうつことができる」が42.1%、「自力で寝返りをうつことができない」が57.9%となっています。



問7 認知症の症状（記憶が抜け落ちてしまう、日時や場所がわからない、今までできたことができなくなる等）がみられますか。(○は1つ)

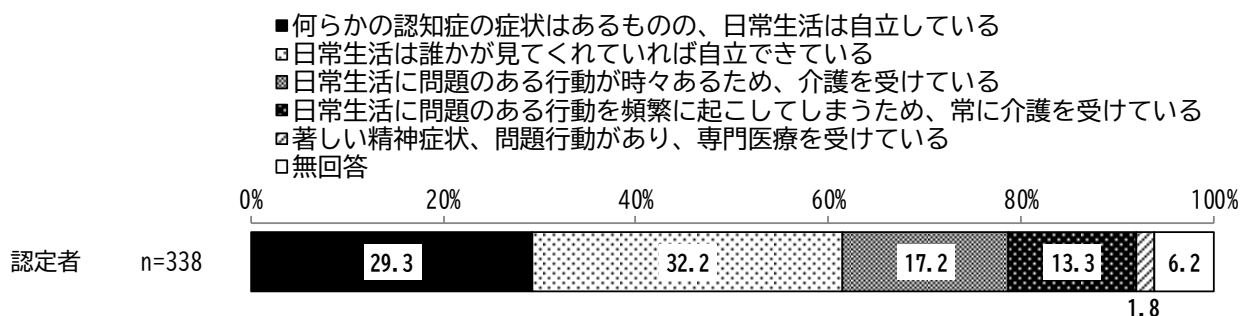
「みられる」が38.4%、「みられない」が46.3%となっています。



※問7で「みられる」と答えた方

問7-1 それは以下のどの状態に近いですか。(○は1つ)

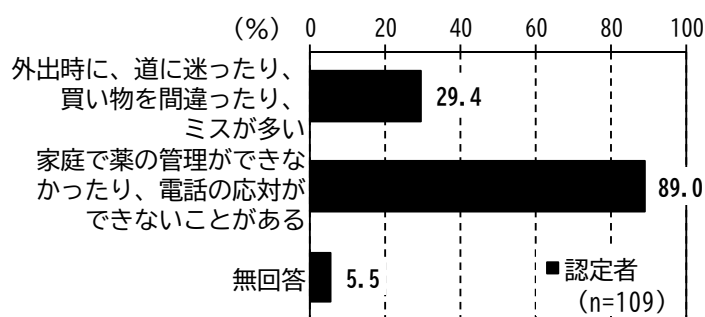
「日常生活は誰かが見てくれていると自立できている」が32.2%と最も高く、次いで「何らかの認知症の症状はあるものの、日常生活は自立している」が29.3%となっています。



※問7-1で「日常生活は誰かが見てくれていると自立できている」と答えた方

問7-2 以下の状況のあてはまるものに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

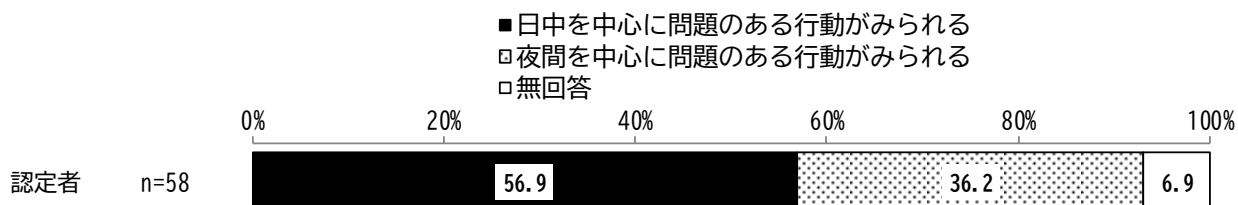
「外出時に、道に迷ったり、買い物を間違ったり、ミスが多い」が29.4%、「家庭で薬の管理ができなかったり、電話の応対ができないことがある」が89.0%となっています。



※問7-1で「日常生活に問題のある行動が時々あるため、介護を受けている」と答えた方

問7-3 あなたのより詳細な状況はどちらに近いですか。(○は1つ)

「日中を中心に問題のある行動がみられる」が56.9%、「夜間を中心に問題のある行動がみられる」が36.2%となっています。



3 生活拠点に関する意向について

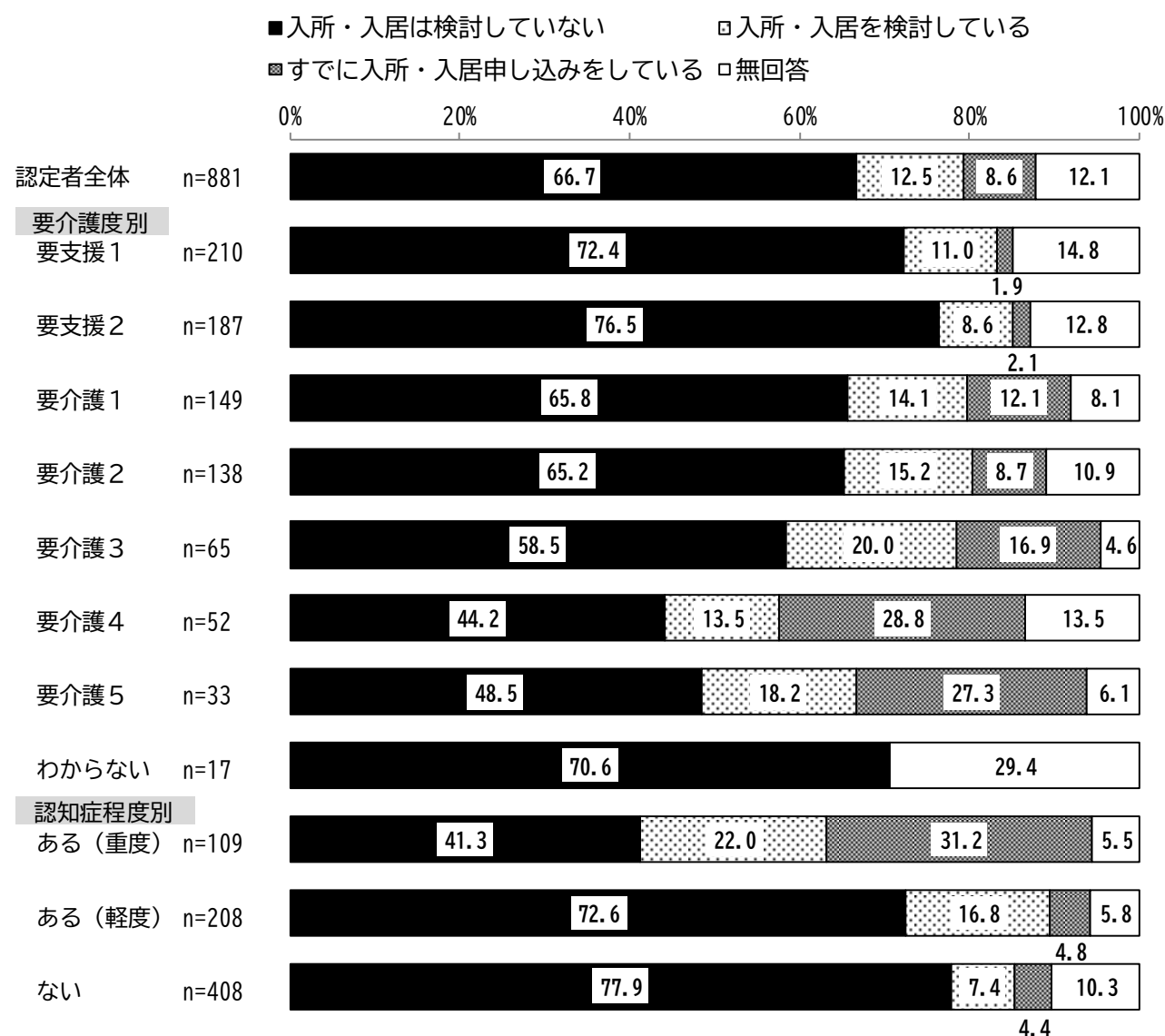
問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(〇は1つ)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、介護付有料老人ホームなどの特定施設（住宅型有料老人ホームを除く）、グループホーム、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

「入所・入居は検討していない」が66.7%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が12.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.6%となっています。

要介護度別では、要介護4・5で「すでに入所・入居申し込みをしている」が3割弱となっています。

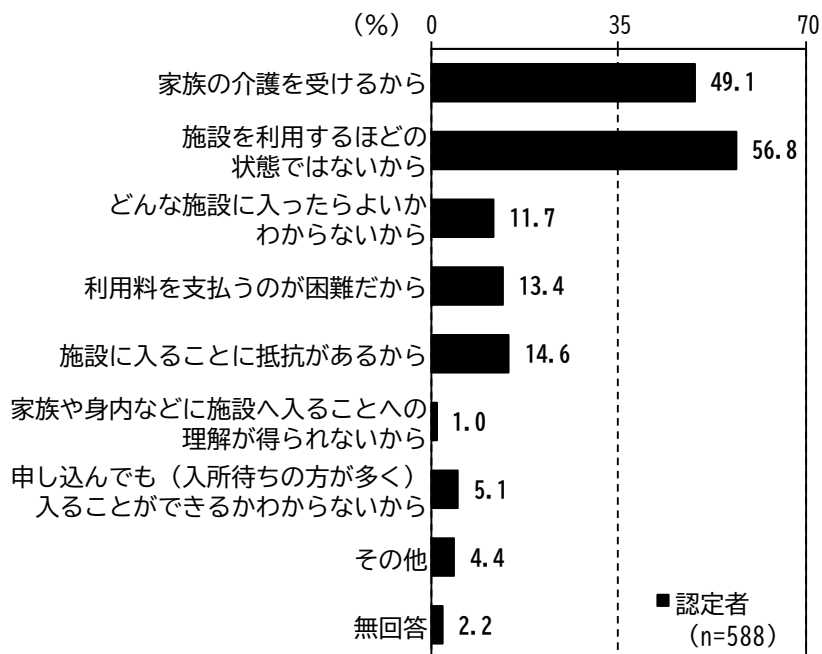
認知症の有無別では、認知症が「ある（重度）」方の41.3%が「入所・入居は検討していない」となっています。



※問8で「入所・入居は検討していない」と答えた方

問8－1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

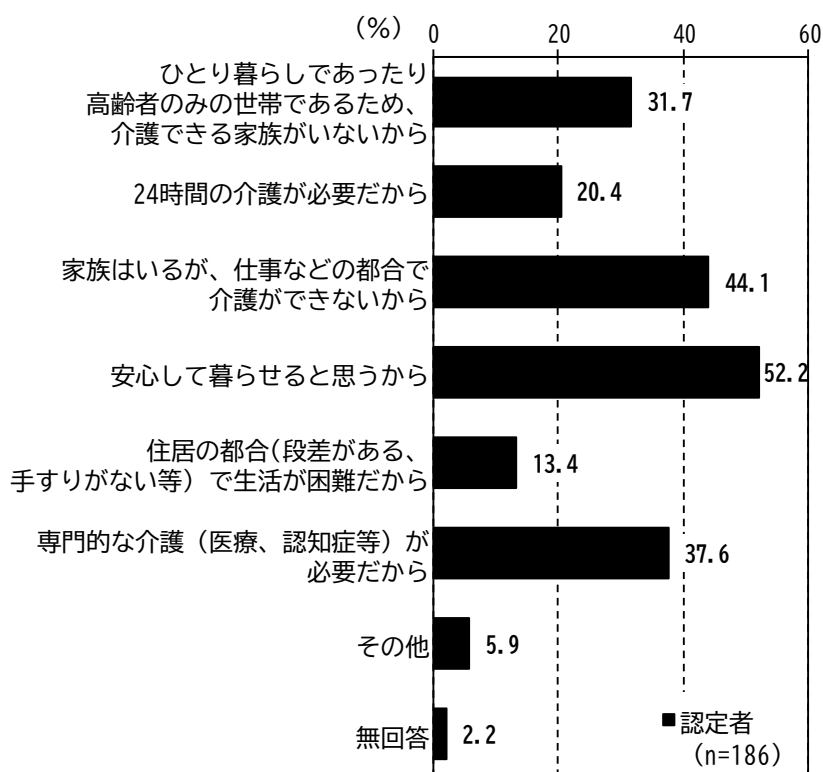
「施設を利用するほどの状態ではないから」が56.8%と最も高く、次いで「家族の介護を受けるから」が49.1%となっています。



※問8で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた方

問8-2 入所を申し込んでいる(考えている)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「安心して暮らせると思うから」が52.2%と最も高く、次いで「家族はいるが、仕事などの都合で介護ができないから」が44.1%、「専門的な介護(医療、認知症等)が必要だから」が37.6%、「ひとり暮らしであったり高齢者のみの世帯であるため、介護できる家族がないから」が31.7%となっています。

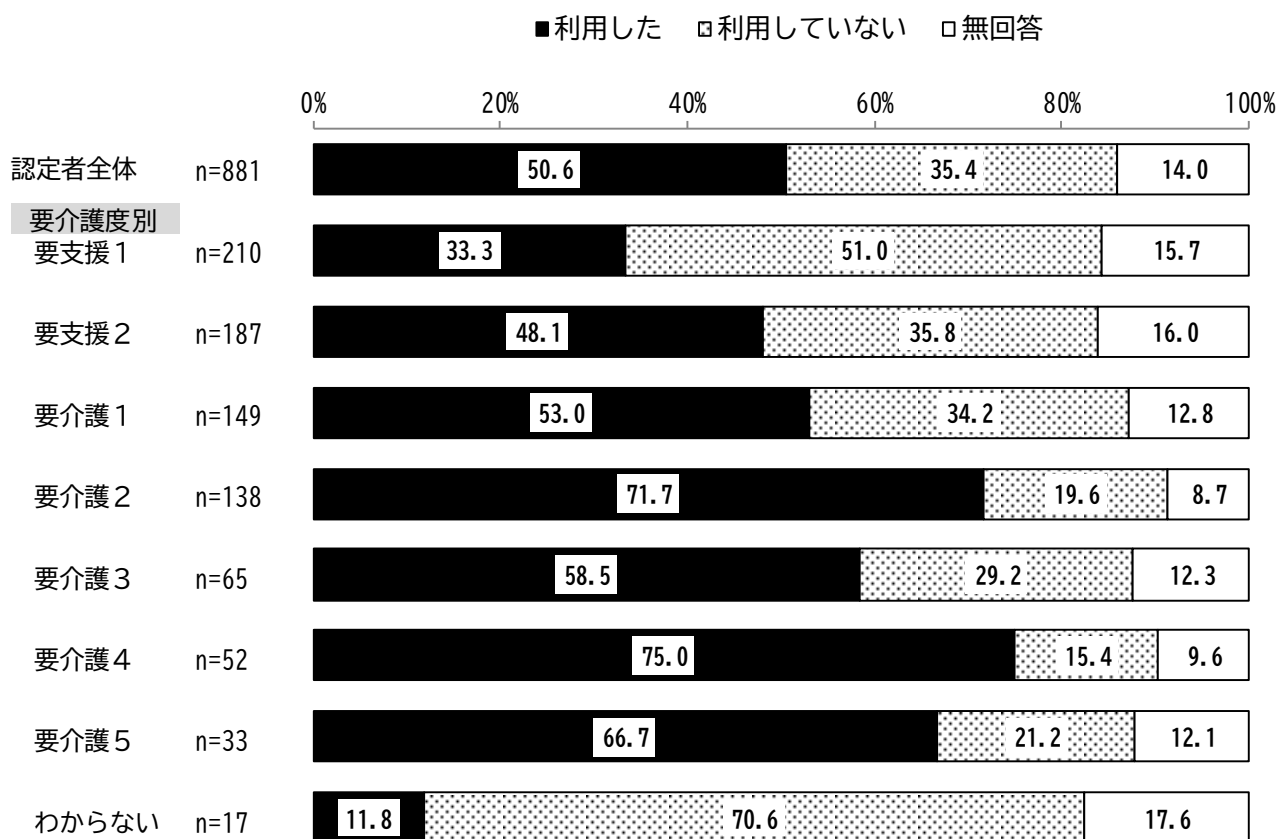


4 居宅サービスの利用について

問9 令和元年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つ）

「利用した」が50.6%、「利用していない」が35.4%となっています。

要介護度別では、要介護2と要介護4で「利用した」が7割を超えています。



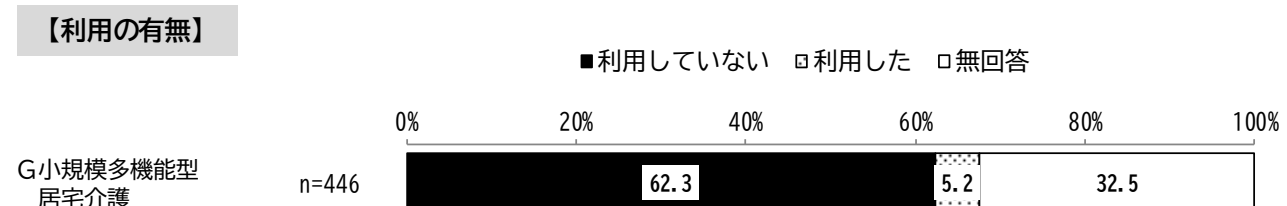
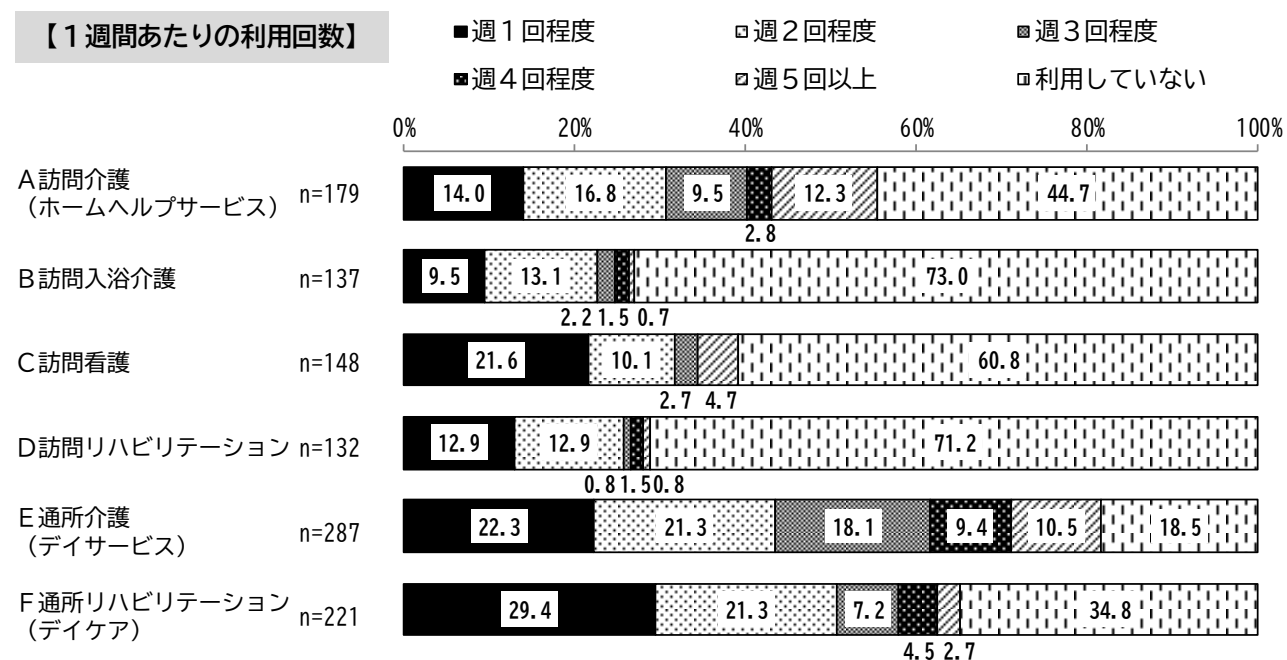
※問9で「利用した」と答えた方

問9-1 以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（○はそれぞれ1つ）

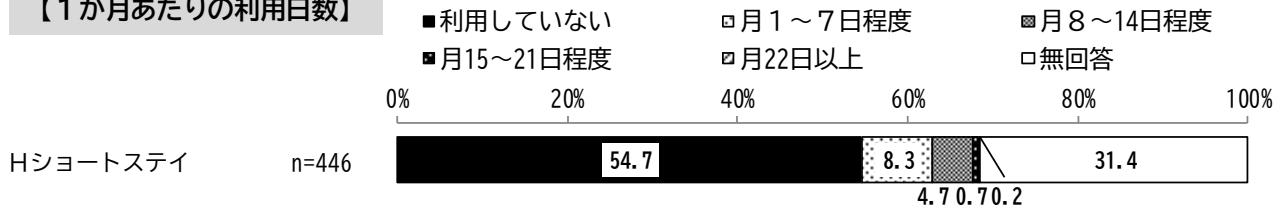
「週1回程度」から「週5回以上」までを合わせた『週1回以上利用している』が、通所介護（デイサービス）で81.6%、通所リハビリテーション（デイケア）で65.1%、訪問介護（ホームヘルプサービス）で55.4%と高くなっています。

訪問介護（ホームヘルプサービス）と通所介護（デイサービス）では「週5回以上」が1割を超えています。

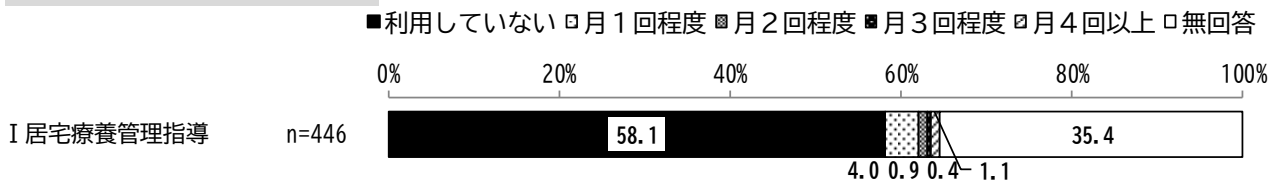
小規模多機能型居宅介護、ショートステイ、居宅療養管理指導の利用状況をみると、「利用していない」が5割を超えています。



【1か月あたりの利用日数】

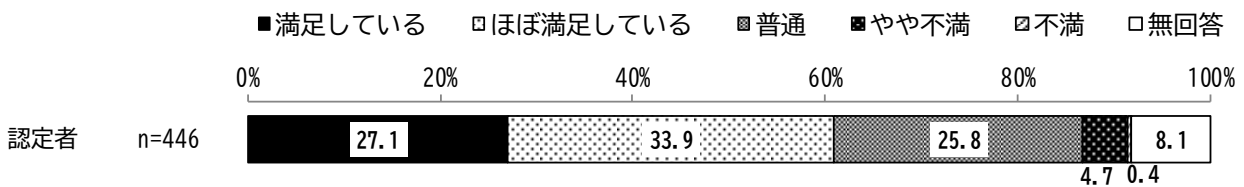


【1か月あたりの利用回数】



問9-2 現在利用している「介護サービス」について満足していますか。(○は1つ)

「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足』が61.0%、「普通」が25.8%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』が5.1%となっています。



※問9-2で「やや不満」「不満」と答えた方

問9-3 不満の理由は何ですか。(自由記述)

【利用日数・時間等が希望と合わない】(6件)

- ・ いっぱいで他の曜日に変えられない。
- ・ 時間が少ない。
- ・ 時間が短すぎる。
- ・ ショートステイの場合、希望した日時に合わない時がある。また、希望するシステムに合わない時がある。
- ・ もう少し回数を増やしたい。
- ・ 要支援1では週1回のリハビリしか認められないこと。せめて2回は欲しいと思う。寝たきりにならないために。

【情報提供が不十分】(4件)

- ・ サービス内容が家族に見えない。内容の細かいことが伝わってこない。
- ・ 受けられる介護サービス全体と仕組み、費用、言葉の意味、受けた方がよいサービス等、6年経ってもよく分からないことが多い!
- ・ 介護でどこまで受けられるか内容がわからず、また、今市より介護パンツをもってこられるがオムツへの変更についてなどわからないことがいっぱいです。
- ・ デイサービスの内容が画一的で、記録内容からどのように職員や他の利用者に関わっているのか会話の内容等もう少し個別性のある関わりの記録が欲しい。

【サービスの内容について】(4件)

- ・ 身体に不自由がないため、できるだけ外出の機会を作って欲しい(介護付有料老人ホームに入所中)。
- ・ 体をあまり動かさない。
- ・ 自由時間が多すぎる。
- ・ 精神的ストレス緩和等のサービスが欠落しているように感じる。

【サービスの質について】(3件)

- ・ 食事内容が適当。
- ・ 介護がよくできていない。
- ・ 事業者の大改革によりサービスが顕著に低下した。

【リハビリについて】(3件)

- ・ もう少しリハビリがしたい。
- ・ リハビリを筋力アップ目的で利用しているが全く効果なし。認知症もあるので他の施設に変えると不安があるので変えられない。
- ・ リハビリをもっととり入れてやってほしい。少しでも機能回復のメニューを組んでほしい。

【ヘルパー・職員等について】（2件）

- ・ヘルパーの質（人による）。買い物（メモをして行っても）忘れる。別の物を買って来たり、やたらいらぬもの、すでにあるものを大量に買って来て余って捨てるはめになる。電気をつけっぱなしで帰る（出入口の戸などを開けっ放しのまま帰る）。ああ言えばこう言う。その他いろいろ。
- ・迎えの運転手が無愛想。デイの人も事務的な感じがする。

【送迎について】（2件）

- ・朝の迎え時間が不安定。
- ・施設の送迎時、時間がかかり、体に負担がかかる（関節等の痛みが出る）。

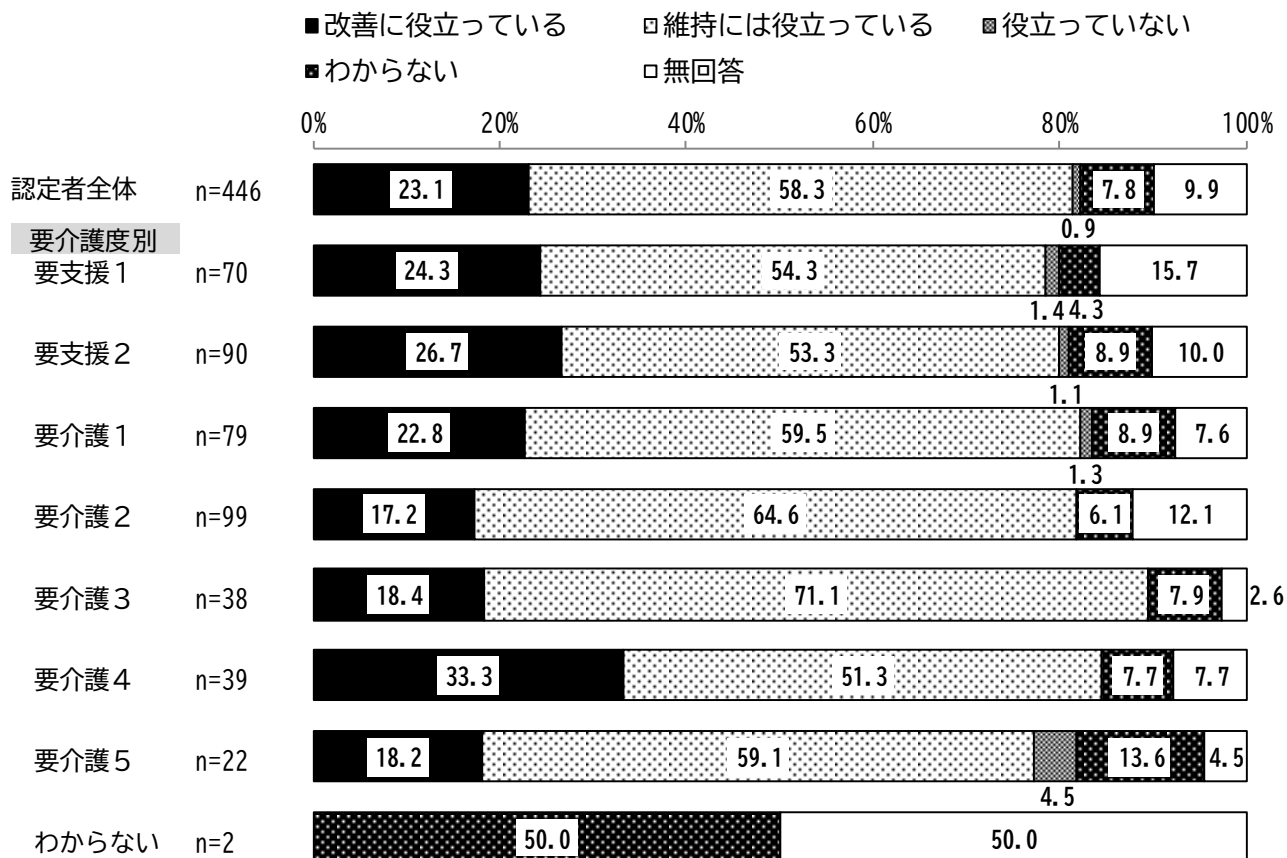
【その他】（8件）

- ・人が帰る時間まちまち。
- ・家内の症状では近くのところを探したが、受け入れがだめでした。
- ・今より腰が痛くならないよう維持していきたい。
- ・介護から支援に変わって大変苦労しています。
- ・体力、身体能力の低下が著しい。日々の生活が非常に不自由。
- ・風呂を使いたいなら、デイサービスを受けなければならないこと。
- ・本人が行きたくないと断ってしまったため、12月に数回利用しただけで現在は利用していない。
- ・本人は楽しいらしいが送迎時間等で昼食を食べられない→夕方、ドカ食いして血糖値が上がる。家族としてはこういった理由で生活パターンが崩れるから行ってほしくはない。

問9-4 介護サービスを利用していることによって、心身の状態の改善・維持に役立っていると思いますか。(〇は1つ)

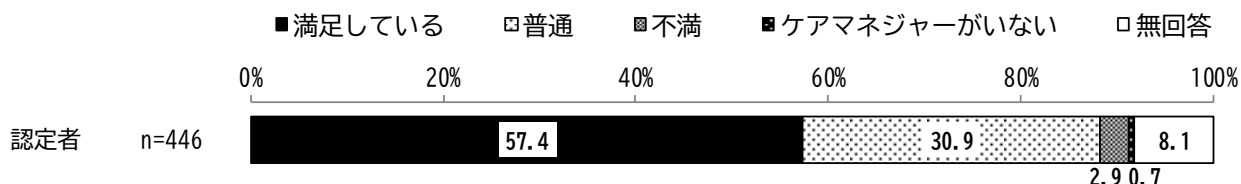
「維持には役立っている」が58.3%と最も高く、次いで「改善に役立っている」が23.1%となっています。

要介護度別では、要介護4で「改善に役立っている」が、他の要介護度と比べて高くなっています。



問9-5 介護支援専門員（ケアマネジャー）の対応についてどのように思われますか。
（○は1つ）

「満足している」が57.4%、「普通」が30.9%、「不満」が2.9%となっています。



※問9-5で「不満」と答えた方

不満の理由（自由記述）

【情報提供が不十分】（3件）

- ・あまり報告がない。
- ・情報提供してくれない。家族自身で全て情報を収集しないとイケない。
- ・事業の改革等の質問に対応できない。

【その他】（11件）

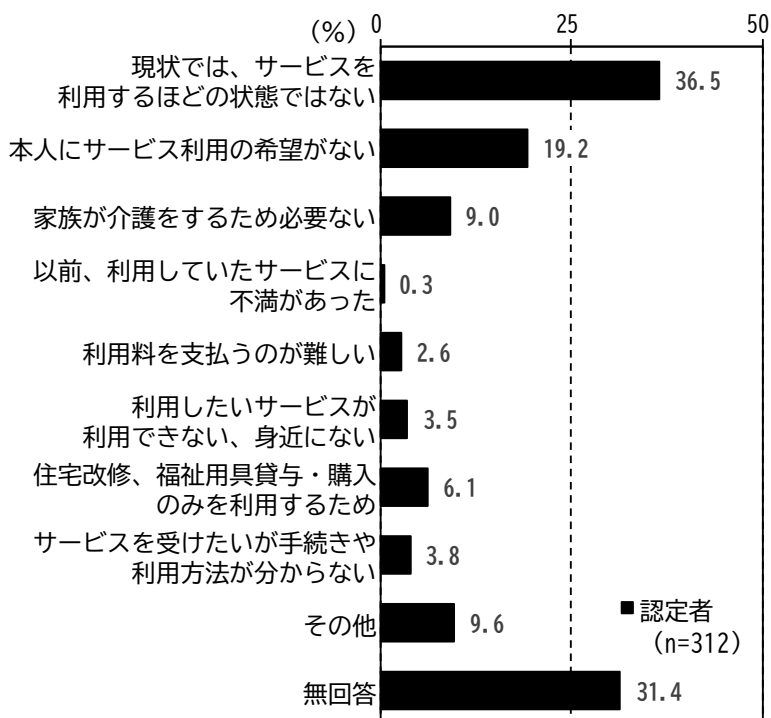
- ・ケアマネの役割の範囲が不明。月に一度来宅し少しお話するだけが仕事なのか？後の書類はコンピューターが自動で出してくれるものばかり。月3万円くらいも費用が掛かるのは馬鹿気ている！！
- ・最近、突然担当が変わったから。
- ・在宅の時は対面で相談したが、グループホームに入所してからは会ったことがない。
- ・障害てんかん及びその周辺の精神症状への対応は難しいのでは？
- ・「やります」と言ってその後ほったらかし。
- ・対話なし。
- ・男性のため、女性の方がいいです。
- ・長居される。
- ・間違いが多いため。
- ・親切ではない。
- ・プライバシー保護の自覚。訪問先の道路で大声で喋る。内容は介護のことについて。

※問9で「利用していない」と答えた方

問9-6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が36.5%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が19.2%、「その他」が9.6%となっています。

要介護度別では、要支援1、2で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が、要介護1から4で「本人にサービス利用の希望がない」が、それぞれ最も高くなっています。



※クロス集計

(単位：%)

区分	n	の現状	を利用	た家族	ない以前	が利用	い、が	を具貸	住宅改	方いが	サー	その他	無回答
		状態を	するに	めが必	満たが	利用し	が利用	利用す	修、購	法が手	ービス		
要支援1	107	48.6	13.1	5.6	0.9	3.7	1.9	5.6	2.8	3.7	32.7		
要支援2	67	43.3	20.9	14.9	0.0	4.5	3.0	6.0	4.5	4.5	25.4		
要介護1	51	25.5	29.4	3.9	0.0	0.0	2.0	0.0	3.9	19.6	29.4		
要介護2	27	14.8	22.2	14.8	0.0	0.0	11.1	14.8	3.7	11.1	37.0		
要介護3	19	0.0	26.3	10.5	0.0	5.3	5.3	15.8	5.3	10.5	47.4		
要介護4	8	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	12.5		
要介護5	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	42.9		
わからない	12	66.7	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	33.3		

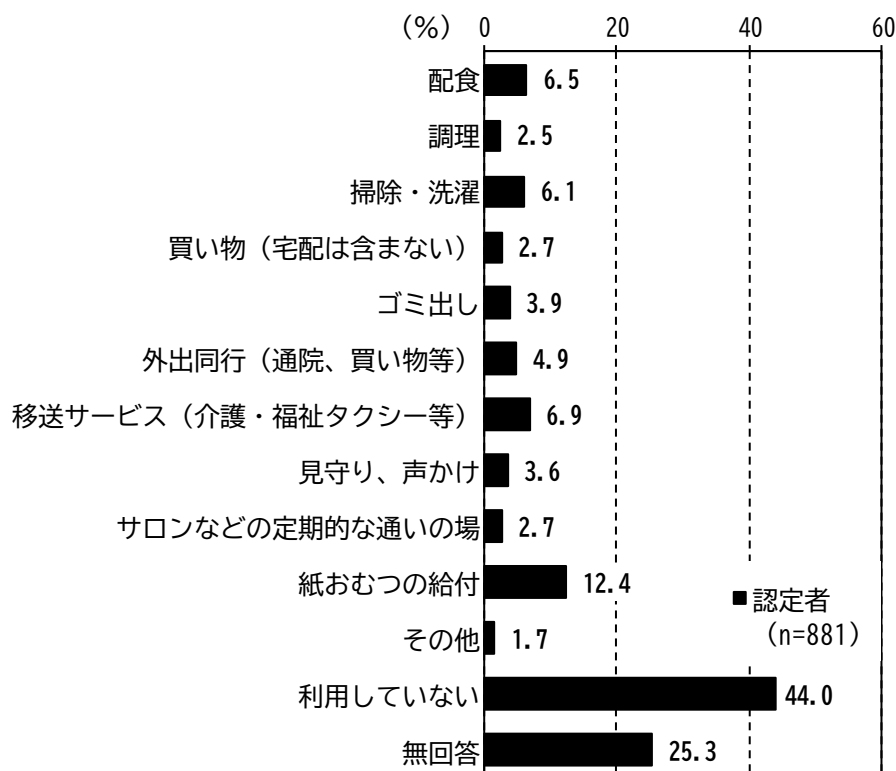
問10 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

「利用していない」が44.0%と最も高くなっています。なお、利用している支援・サービスでは「紙おむつの給付」が12.4%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が6.9%となっています。

性別では、大きな差はありません。

要介護度別では、要介護3から5で「紙おむつの給付」、要介護4、5で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっています。



※クロス集計

(単位：%)

区分		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物等)	福祉サービス (介護・福祉タクシー等)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンの場 などの定期的な	紙おむつの給付	その他	利用していない	無回答
性別	男性 n=318	5.0	2.8	4.4	3.1	3.1	4.7	7.9	2.8	1.3	10.7	2.5	48.4	25.2	
	女性 n=524	7.4	2.1	7.1	2.3	4.4	5.0	6.5	4.2	3.6	13.4	1.1	42.7	23.9	
要介護度別	要支援1 n=210	5.7	2.9	6.7	3.8	5.2	6.2	3.8	4.8	2.4	1.0	2.4	42.4	34.8	
	要支援2 n=187	4.8	3.7	8.0	4.8	5.3	8.0	6.4	2.1	2.7	3.2	1.6	48.7	26.2	
	要介護1 n=149	9.4	2.7	4.7	1.3	2.0	1.3	5.4	4.0	5.4	3.4	2.0	55.7	17.4	
	要介護2 n=138	8.0	1.4	8.0	2.2	5.8	2.2	5.1	3.6	1.4	7.2	1.4	49.3	24.6	
	要介護3 n=65	6.2	3.1	4.6	1.5	1.5	9.2	6.2	7.7	6.2	44.6	0.0	36.9	10.8	
	要介護4 n=52	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2	0.0	0.0	61.5	0.0	17.3	17.3	
	要介護5 n=33	6.1	3.0	6.1	0.0	3.0	3.0	33.3	3.0	0.0	63.6	3.0	18.2	12.1	
	わからない n=17	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3	52.9	

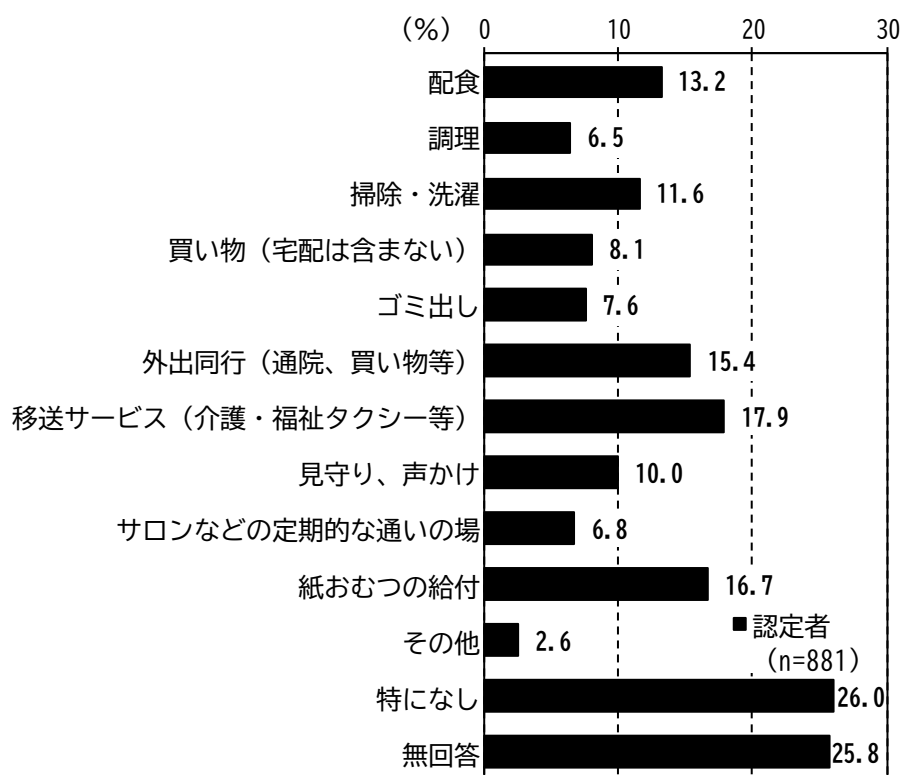
問 11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
（あてはまるものすべてに○）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

「特になし」（26.0％）を除き、必要と感じる支援・サービスでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.9％、「紙おむつの給付」が16.7％、「外出同行（通院、買い物等）」が15.4％、「配食」が13.2％と高くなっています。

性別では、男女ともに「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「紙おむつの給付」「外出代行（通院、買い物等）」が高くなっています。

要介護度別では、要介護3以上で「紙おむつの給付」が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっています。



※クロス集計

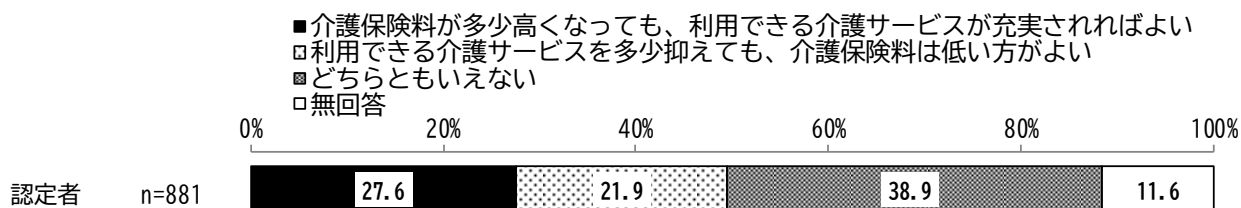
(単位：%)

区分		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物等)	福祉サービス (介護・移送サービス等)	見守り、声かけ	サロンの場 などの定期的な	紙おむつの給付	その他	特になし	無回答
性別	男性 n=318	11.9	6.3	10.4	7.9	6.9	14.2	19.2	8.2	4.7	17.9	2.5	30.5	25.8
	女性 n=524	13.4	6.7	12.4	8.6	8.6	16.4	17.7	11.5	8.4	16.4	2.5	24.0	24.8
要介護度別	要支援1 n=210	12.4	7.1	10.5	7.1	8.6	12.4	11.9	9.0	7.6	6.2	1.9	22.4	34.3
	要支援2 n=187	11.2	7.0	17.1	9.6	7.5	15.0	17.1	8.6	6.4	9.6	1.6	35.3	23.5
	要介護1 n=149	16.8	8.1	10.1	8.1	6.0	20.8	16.1	13.4	11.4	16.1	4.7	22.8	21.5
	要介護2 n=138	18.1	7.2	14.5	8.7	13.0	18.8	21.0	13.8	5.1	23.2	2.2	27.5	20.3
	要介護3 n=65	9.2	1.5	6.2	3.1	4.6	15.4	24.6	7.7	6.2	33.8	4.6	24.6	16.9
	要介護4 n=52	7.7	3.8	3.8	3.8	0.0	5.8	26.9	5.8	1.9	32.7	3.8	25.0	23.1
	要介護5 n=33	18.2	6.1	9.1	9.1	6.1	18.2	36.4	9.1	9.1	45.5	3.0	12.1	24.2
	わからない n=17	5.9	5.9	11.8	23.5	5.9	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	47.1

5 介護保険制度・高齢社会について

問 12 介護保険料の額は、介護サービスの利用量によって決まります。このため、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、介護保険料と介護サービスの関係について、ご本人のお考えに最も近いものは次のうちどれですか。（○は1つ）

「介護保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実できればよい」が27.6%、「利用できる介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」が21.9%、「どちらともいえない」が38.9%となっています。

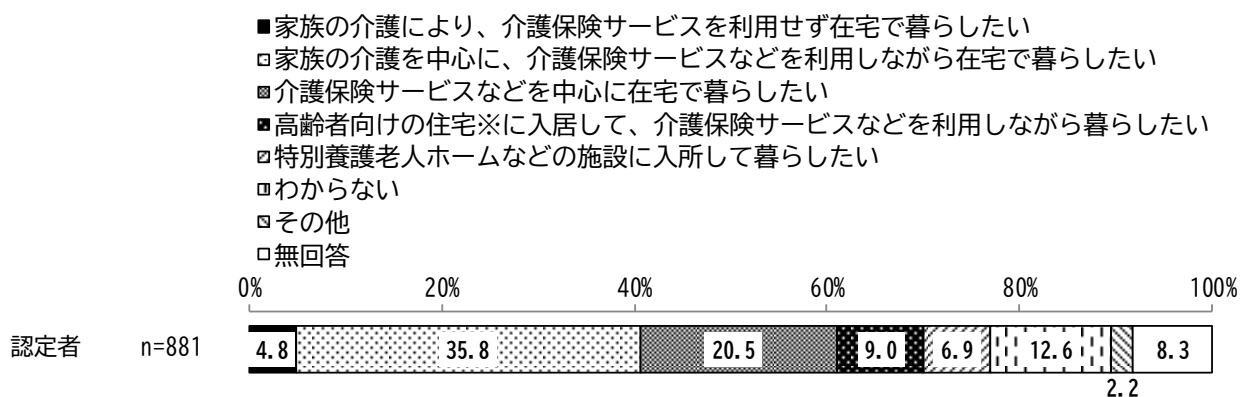


問 13 今後、どのように介護して欲しいと思いますか。（○は1つ）

「家族の介護により、介護保険サービスを利用せず在宅で暮らしたい」と「家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい」と「介護保険サービスなどを中心に在宅で暮らしたい」を合わせた『在宅生活希望』が61.1%となっています。

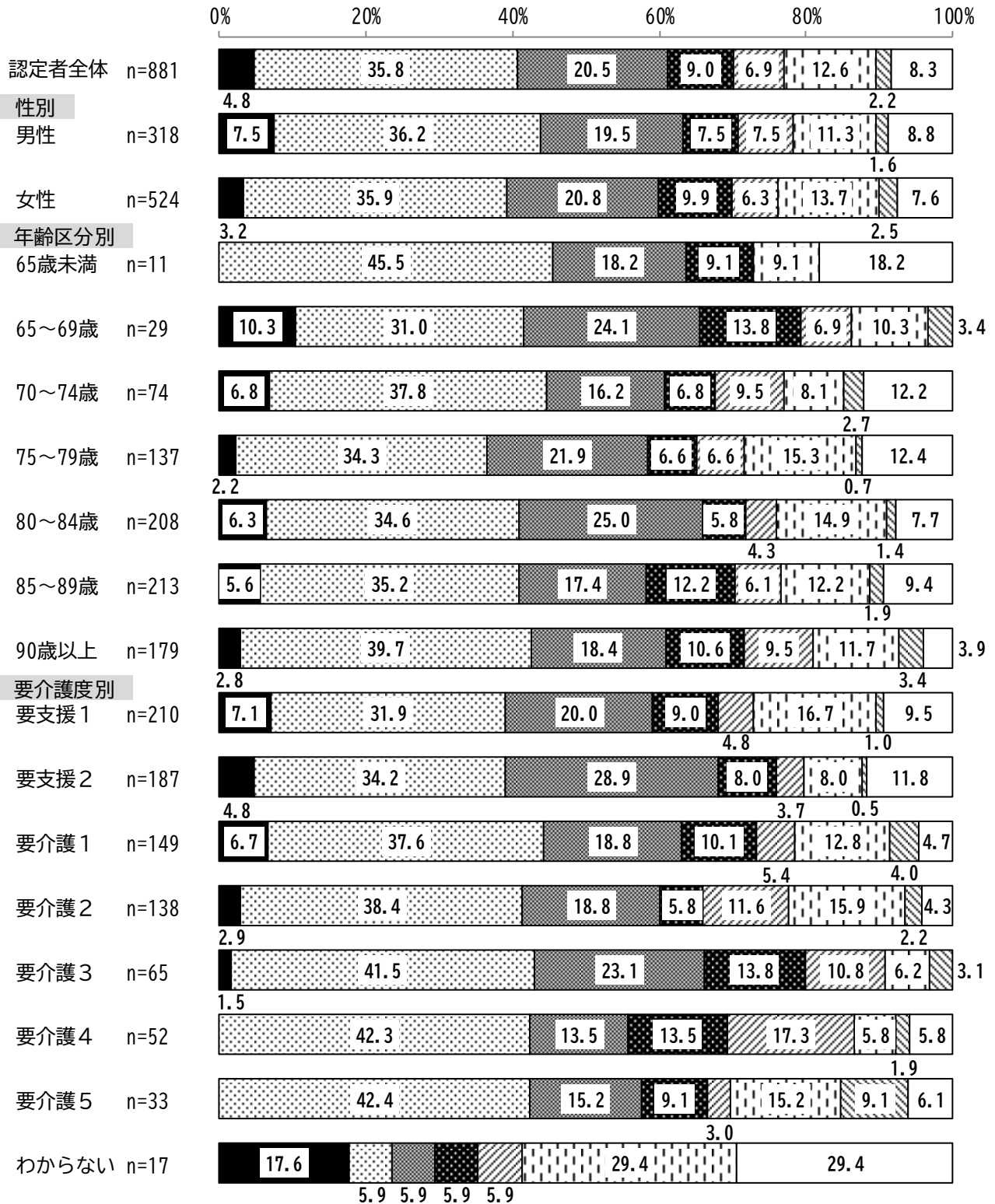
性別・年齢区分別では、大きな差はありません。

要介護度別では、要介護度が上がるにつれて、「家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい」が高くなっています。また、要介護2～4で「特別養護老人ホームなどの施設に入所して暮らしたい」が1割を超えています。



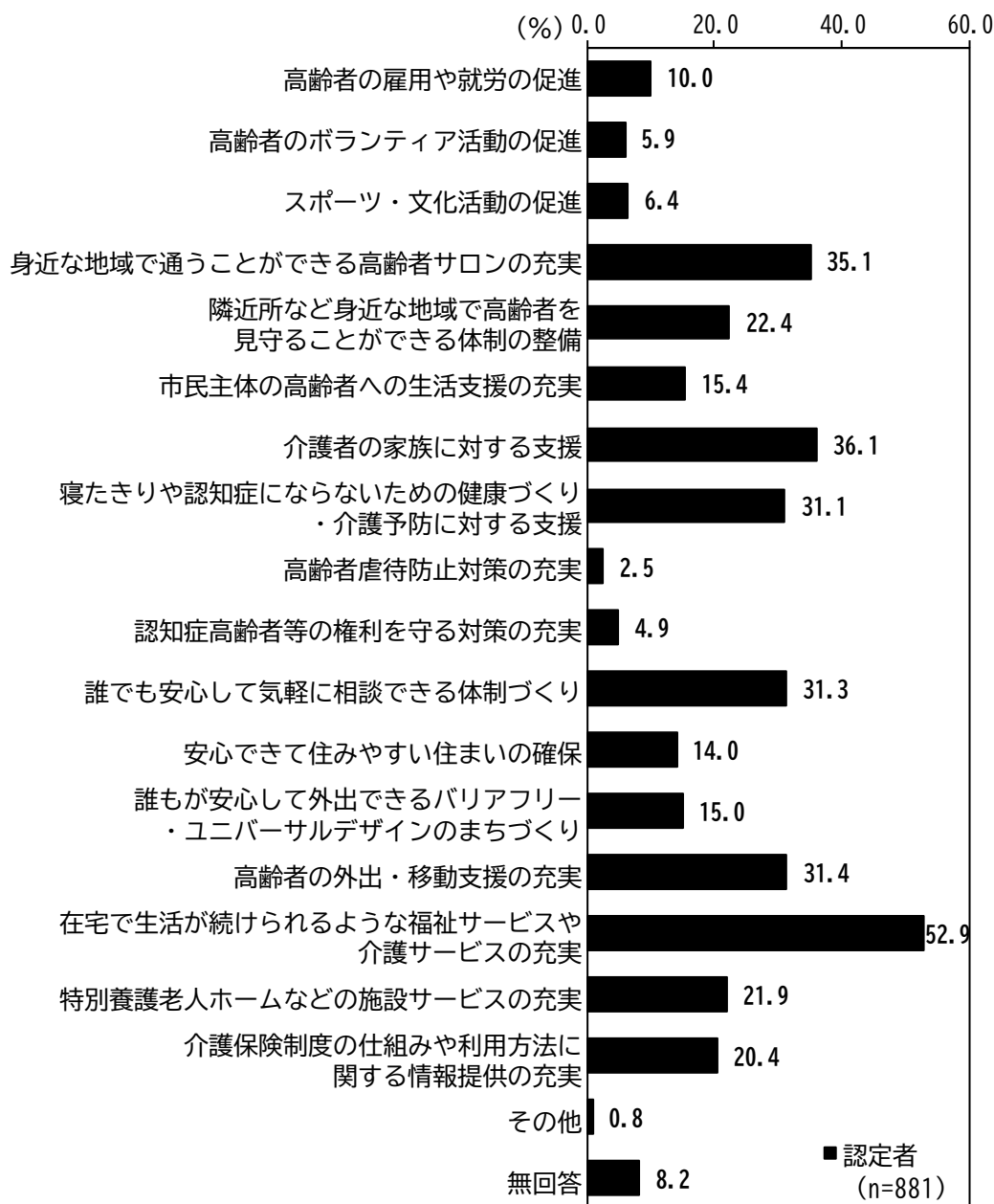
※サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど

- 家族の介護により、介護保険サービスを利用せず在宅で暮らしたい
- 家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい
- ▣ 介護保険サービスなどを中心に在宅で暮らしたい
- 高齢者向けの住宅に入居して、介護保険サービスなどを利用しながら暮らしたい
- 特別養護老人ホームなどの施設に入所して暮らしたい
- わからない
- その他
- 無回答



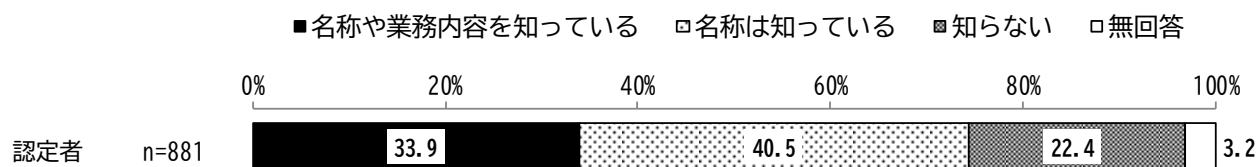
問 14 高齢社会に向けて、本市は何に重点をおくべきだと思いますか。（〇は5つまで）

「在宅で生活が続けられるような福祉サービスや介護サービスの充実」が52.9%と最も高く、次いで「介護者の家族に対する支援」が36.1%、「身近な地域で通うことができる高齢者サロンの充実」が35.1%となっています。



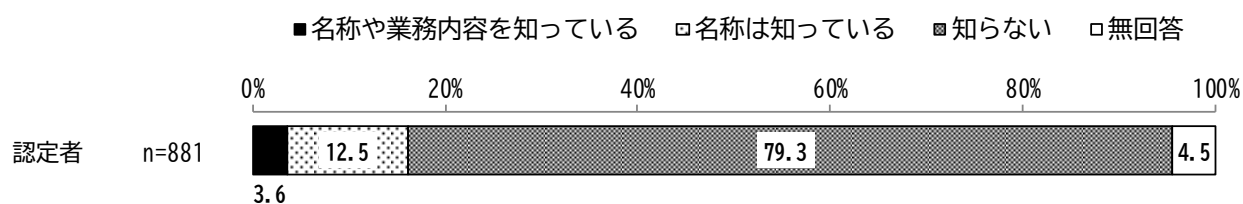
問 15 「尾張旭市地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

「名称や業務内容を知っている」が33.9%、「名称は知っている」が40.5%、「知らない」が22.4%となっています。



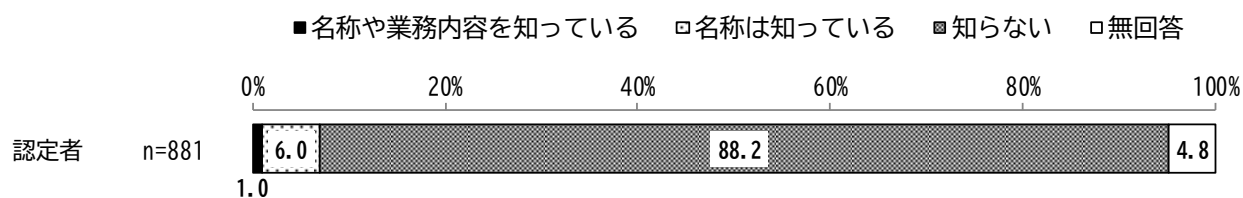
問 16 「尾張東部権利擁護支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

「名称や業務内容を知っている」が3.6%、「名称は知っている」が12.5%、「知らない」が79.3%となっています。



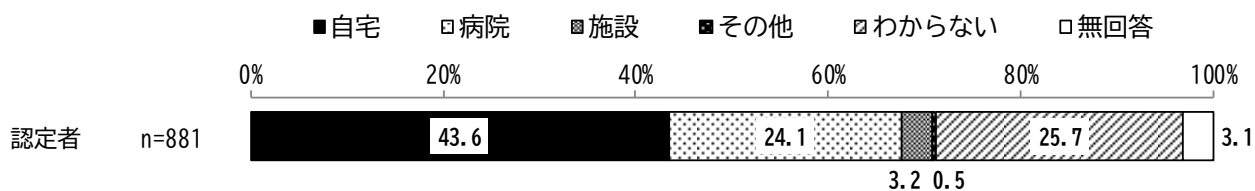
問 17 「瀬戸旭もーやっこネットワーク」を知っていますか。

「名称や業務内容を知っている」が1.0%、「名称は知っている」が6.0%、「知らない」が88.2%となっています。



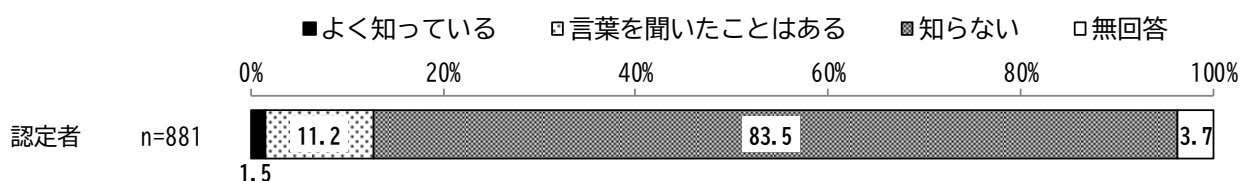
問 18 あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいと思いますか。
(○は1つ)

「自宅」が43.6%と最も高く、次いで「わからない」が25.7%、「病院」が24.1%となっています。



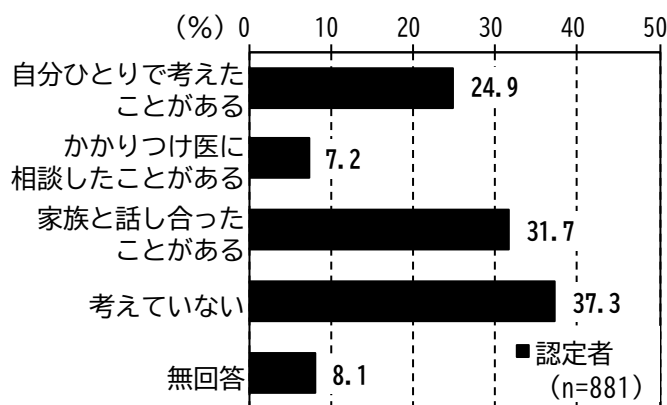
問 19 「人生会議」または「ACP」について、知っていますか。(○は1つ)

「よく知っている」が1.5%、「言葉を聞いたことはある」が11.2%、「知らない」が83.5%となっています。



問 20 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、以下にあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

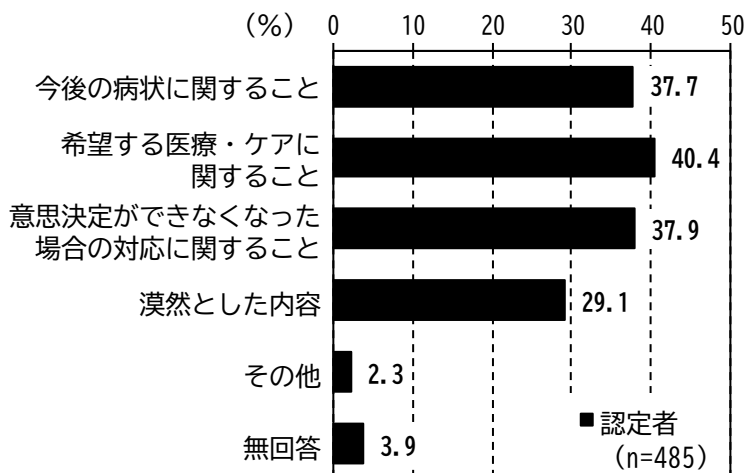
「考えていない」が37.3%と最も高く、次いで「家族と話し合ったことがある」が31.7%、「自分ひとりで考えたことがある」が24.9%となっています。



※問 20 で「自分ひとりで考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」と答えた方

問 20-1 どのような内容を考えましたが、または話しましたか。(〇はいくつでも)

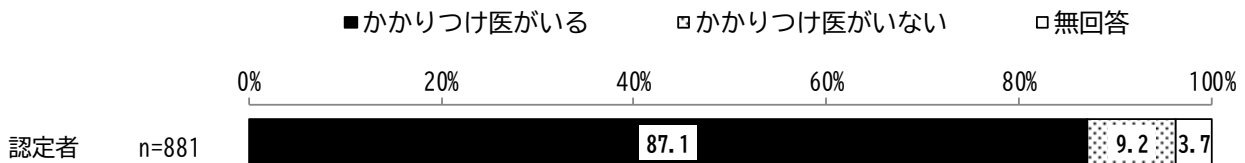
「希望する医療・ケアに関すること」が40.4%と最も高く、次いで「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が37.9%、「今後の病状に関すること」が37.7%となっています。



6 医療の状況、介護者について

問 21 日ごろから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」はいますか。（○は1つ）

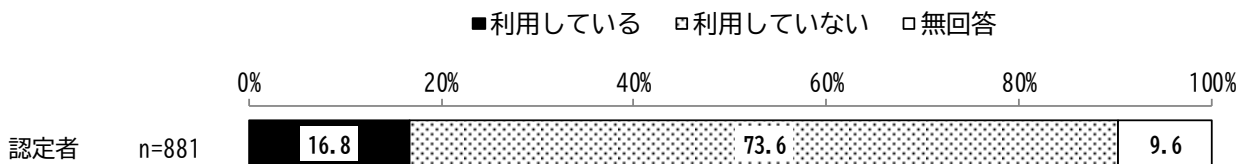
「かかりつけ医がいる」が87.1%、「かかりつけ医がいない」が9.2%となっています。



問 22 ご本人は、現在、かかりつけ医の訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

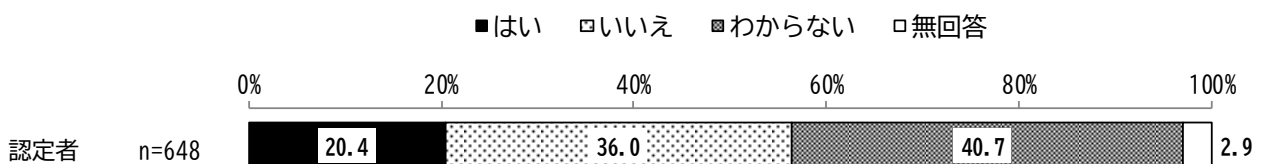
「利用している」が16.8%、「利用していない」が73.6%となっています。



※問 22 で「利用していない」と答えた方

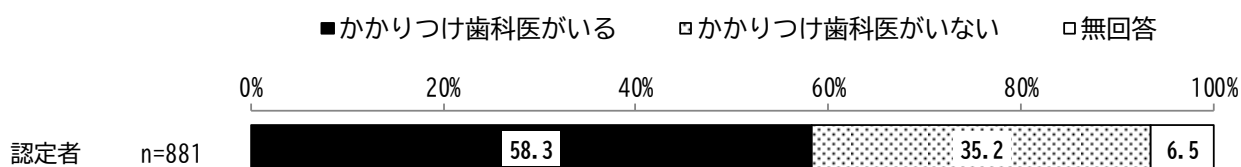
問 22-1 訪問診療（医師の訪問）を受けたいと思いますか。（○は1つ）

「はい」が20.4%、「いいえ」が36.0%、「わからない」が40.7%となっています。



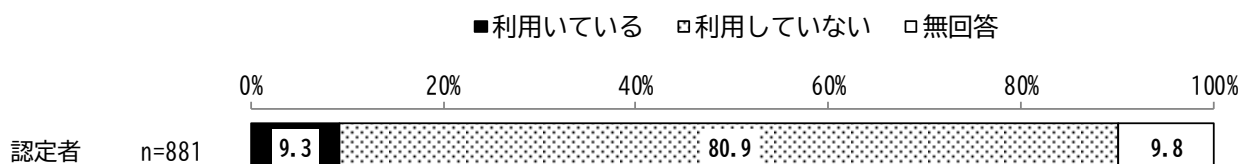
問 23 日ごろから治療や指導を受けたり、歯の健康について相談できる「かかりつけ歯科医」はいますか。（〇は1つ）

「かかりつけ歯科医がいる」が58.3%、「かかりつけ歯科医がない」が35.2%となっています。



問 24 訪問歯科診療（歯科医師や歯科衛生士の訪問）を受けていますか。（〇は1つ）

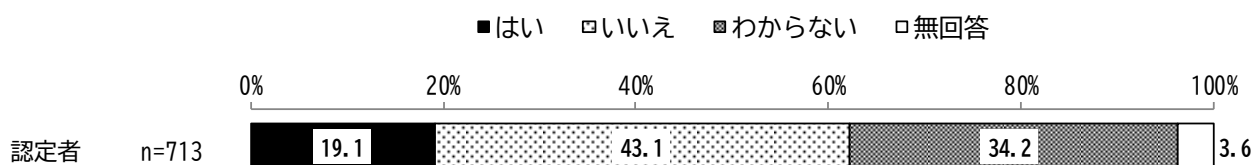
「利用している」が9.3%、「利用していない」が80.9%となっています。



※問 24 で「利用していない」と答えた方

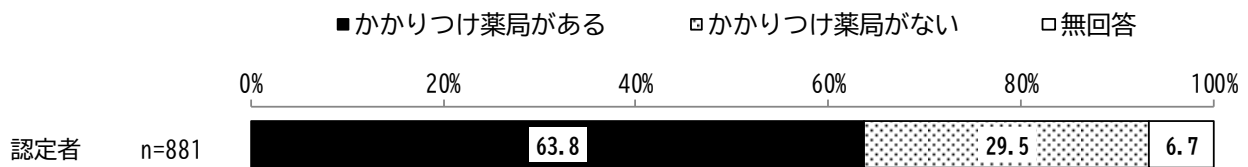
問 24-1 訪問歯科診療（歯科医師や歯科衛生士の訪問）を受けたいと思いますか。（〇は1つ）

「はい」が19.1%、「いいえ」が43.1%、「わからない」が34.2%となっています。



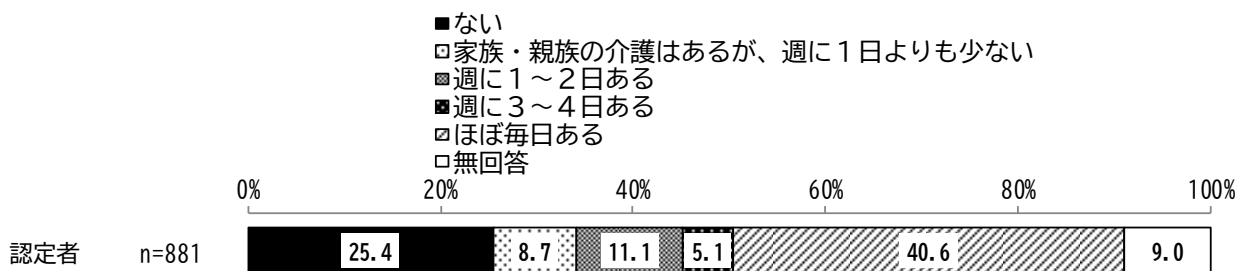
問 25 日ごろから指導を受けたり、薬に関して相談できる「かかりつけ薬局」はありますか。
 (〇は1つ)

「かかりつけ薬局がある」が63.8%、「かかりつけ薬局がない」が29.5%となっています。



問 26 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(〇は1つ)

「ほぼ毎日ある」が40.6%と最も高く、次いで「ない」が25.4%、「週に1～2日ある」が11.1%となっています。



※ここからは、問 26 で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」を選択された場合に、主に介護している方がお答えください。

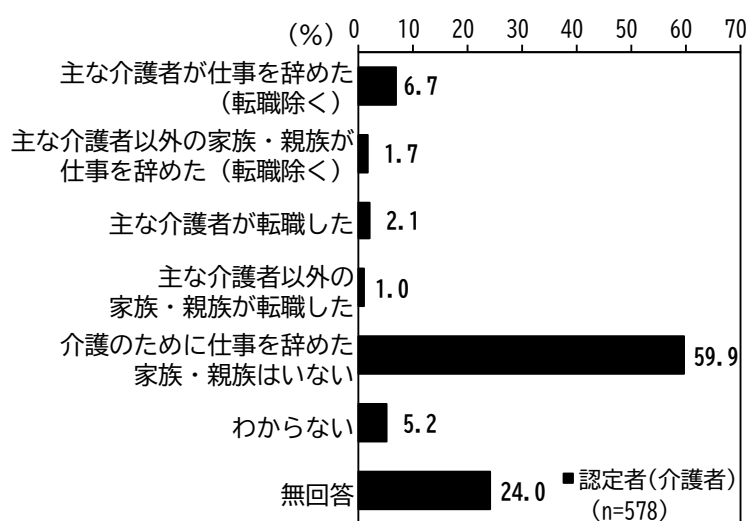
7 日常、主に介護している方について

問 27 ご家族やご親族の中で、ご本人（宛名の方）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（あてはまるものすべてに○）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が59.9%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.7%となっています。

要介護度別では、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が要介護5で約2割、要介護2と要介護4で約1割となっています。



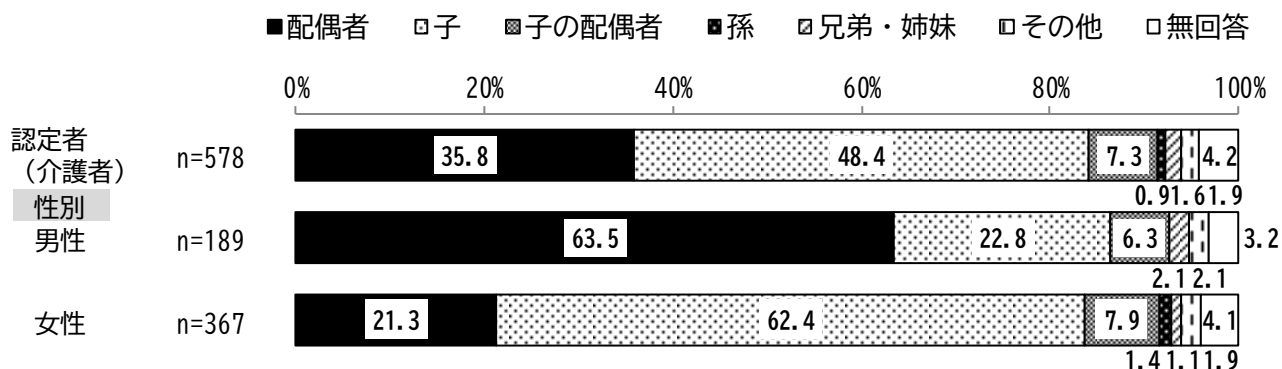
※クロス集計

(単位：%)

区分		主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答	
									要介護度別
要介護度別	要支援1	n=105	3.8	0.0	1.9	1.0	57.1	6.7	29.5
	要支援2	n=115	2.6	0.0	1.7	0.9	60.0	5.2	30.4
	要介護1	n=111	7.2	3.6	1.8	0.9	65.8	0.0	20.7
	要介護2	n=110	9.1	1.8	2.7	0.0	60.0	7.3	20.9
	要介護3	n=51	5.9	3.9	3.9	0.0	66.7	5.9	13.7
	要介護4	n=42	9.5	0.0	2.4	4.8	66.7	0.0	16.7
	要介護5	n=26	19.2	3.8	0.0	3.8	42.3	11.5	19.2
	わからない	n=4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0

問 28 主な介護者の方はどなたですか。ご本人からみた続柄をお答えください。（○は1つ）

「子」が48.4%と最も高く、次いで「配偶者」が35.8%、「子の配偶者」が7.3%となっています。性別では、男性は「配偶者」が63.5%、女性は「子」が62.4%と、それぞれ最も高くなっています。

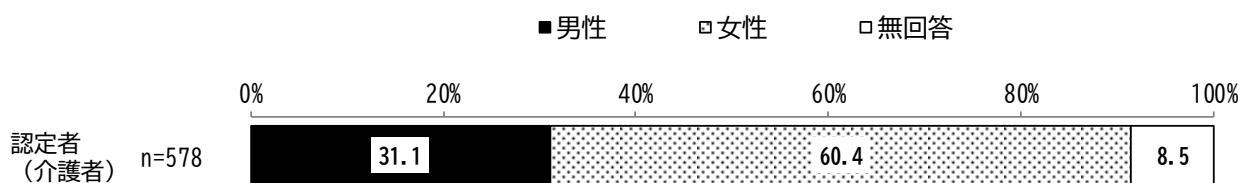


問 29 主な介護者の方の性別・年齢・健康状態等についてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

①主な介護者の方の性別について、ご回答ください

※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。

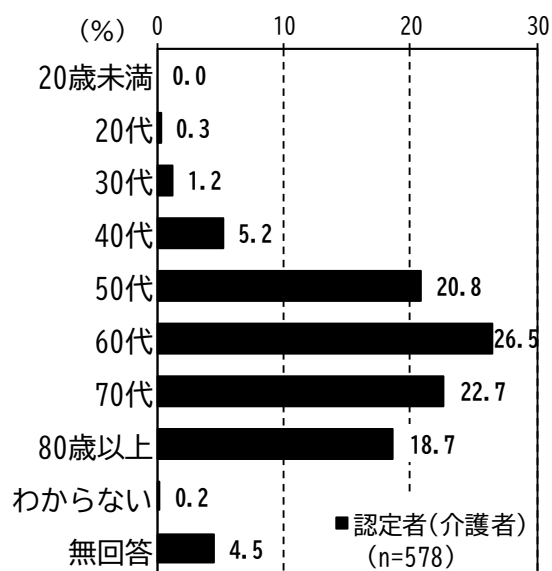
「男性」が31.1%、「女性」が60.4%となっています。



②主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

「60代」が26.5%と最も高く、次いで「70代」が22.7%、「50代」が20.8%、「80歳以上」が18.7%となっています。

要介護度別では、要支援1と要介護5で「80歳以上」、それ以外で「60代」がそれぞれ最も高くなっています。



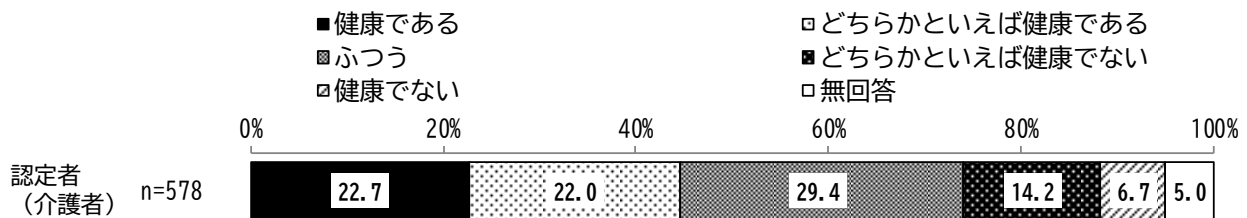
※クロス集計

(単位：%)

区分		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
要介護度別	要支援1 n=105	0.0	0.0	2.9	3.8	22.9	21.9	16.2	24.8	0.0	7.6
	要支援2 n=115	0.0	0.0	0.0	8.7	23.5	24.3	21.7	15.7	0.0	6.1
	要介護1 n=111	0.0	0.0	1.8	7.2	20.7	27.9	25.2	13.5	0.0	3.6
	要介護2 n=110	0.0	0.9	0.0	3.6	18.2	30.9	25.5	17.3	0.0	3.6
	要介護3 n=51	0.0	0.0	2.0	5.9	21.6	29.4	27.5	11.8	0.0	2.0
	要介護4 n=42	0.0	2.4	2.4	2.4	16.7	31.0	21.4	19.0	0.0	4.8
	要介護5 n=26	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	23.1	23.1	38.5	3.8	0.0
	わからない n=4	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

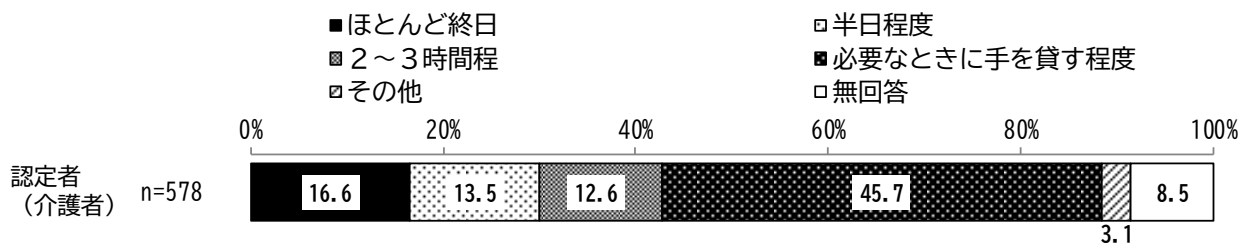
③主な介護者の方の健康状態

「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた『健康である』が 44.7%、「ふつう」が 29.4%、「健康でない」と「どちらかといえば健康でない」を合わせた『健康でない』が 20.9% となっています。



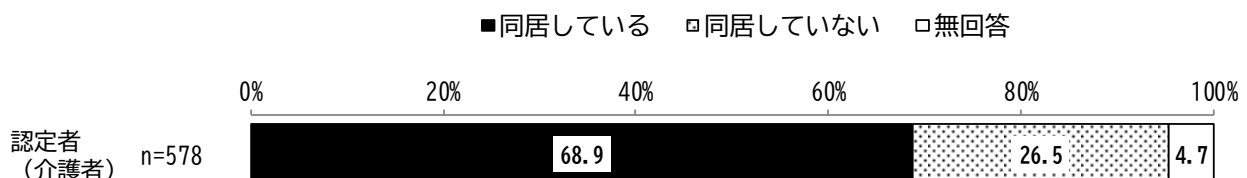
④主な介護者の方が介護に要する1日あたりの時間

「必要なときに手を貸す程度」が 45.7%と最も高く、次いで「ほとんど終日」が 16.6%、「半日程度」が 13.5%、「2～3時間程」が 12.6%となっています。



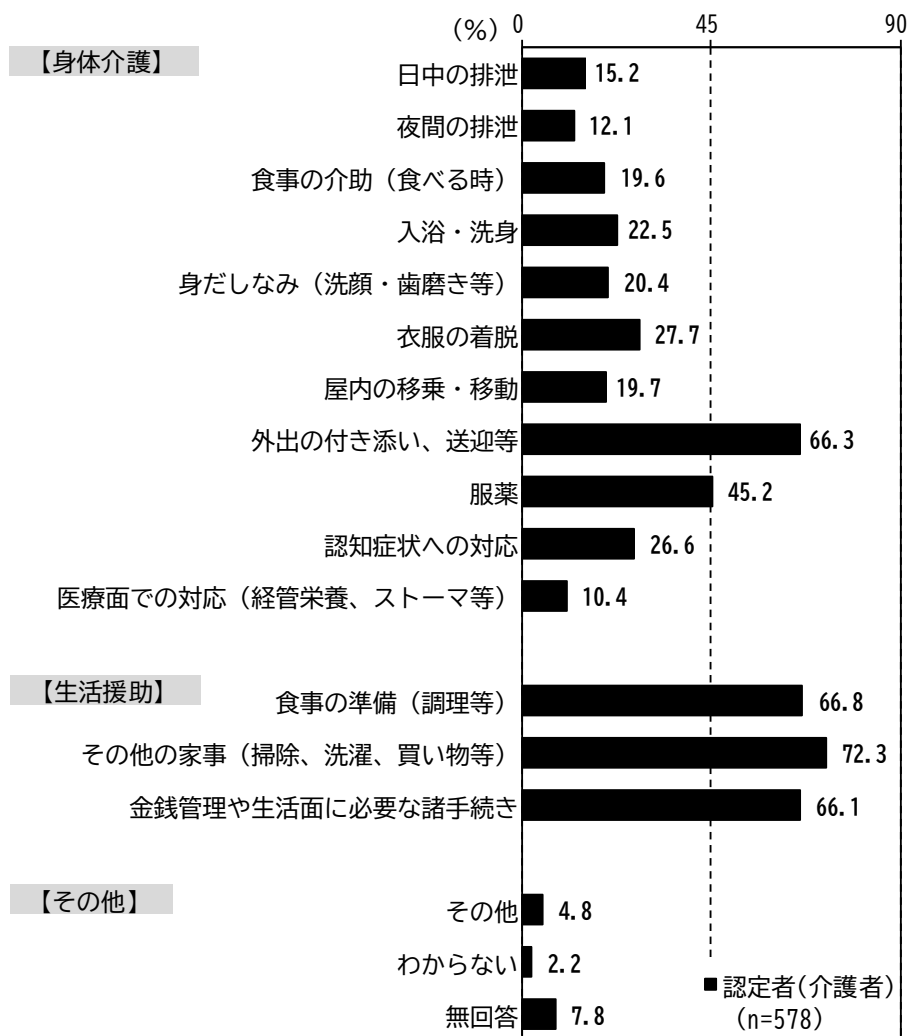
⑤ご本人との同居の有無

「同居している」が 68.9%、「同居していない」が 26.5%となっています。



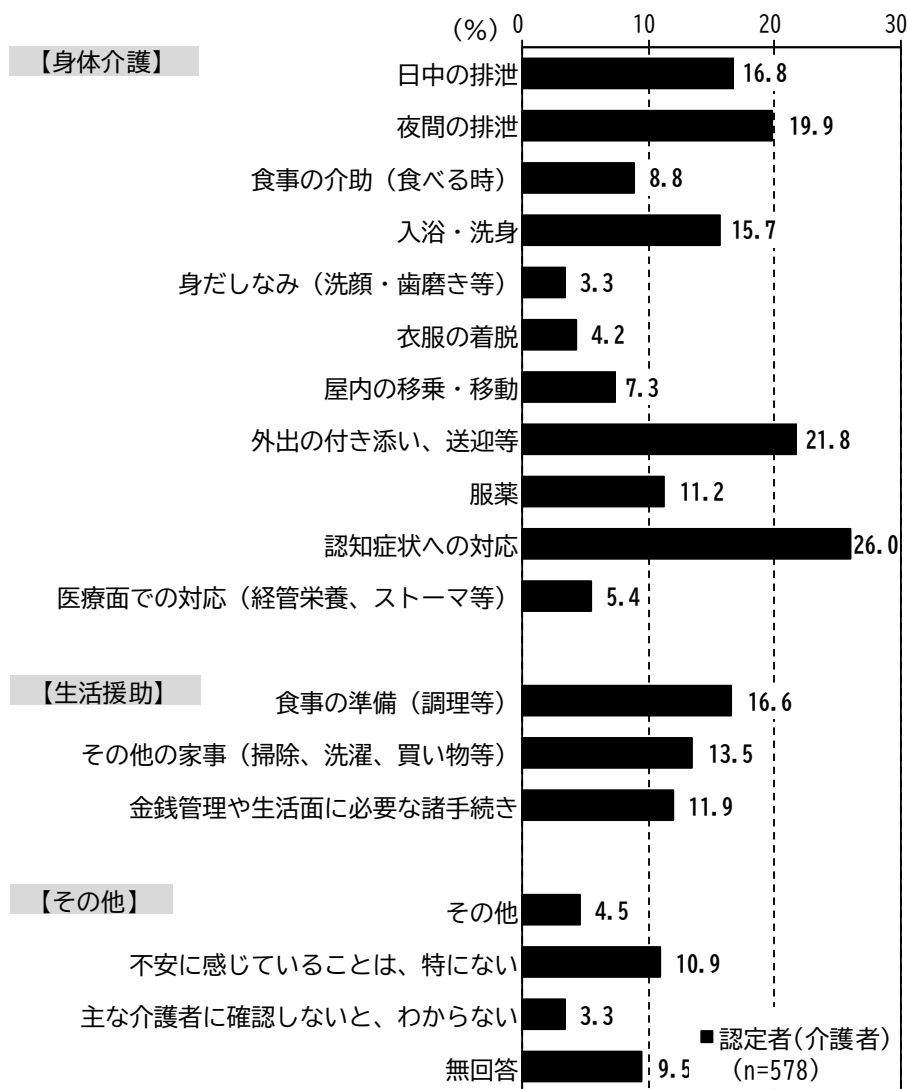
問 30 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
 (あてはまるものすべてに○)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が72.3%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が66.8%、「外出の付き添い、送迎等」が66.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が66.1%となっています。



問 31 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

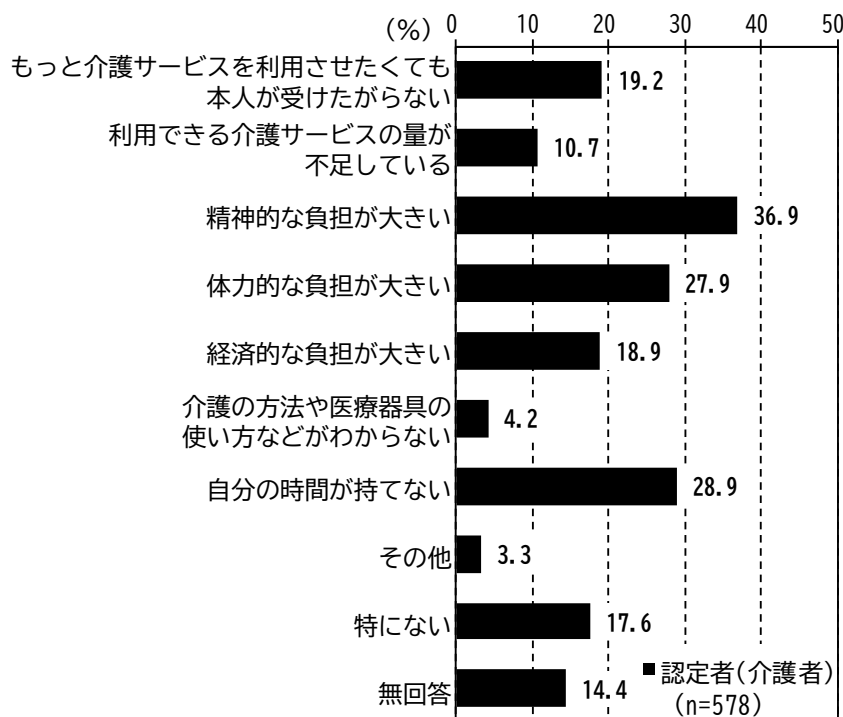
「認知症状への対応」が26.0%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が21.8%、「夜間の排泄」が19.9%となっています。



問 32 介護をするうえで困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「精神的な負担が大きい」が 36.9%と最も高く、次いで「自分の時間が持てない」が 28.9%、「体力的な負担が大きい」が 27.9%となっています。

要介護度別では、要介護1以上で「精神的な負担が大きい」が4割を超えています。また、要介護5では「体力的な負担が大きい」が57.7%と、突出して高くなっています。



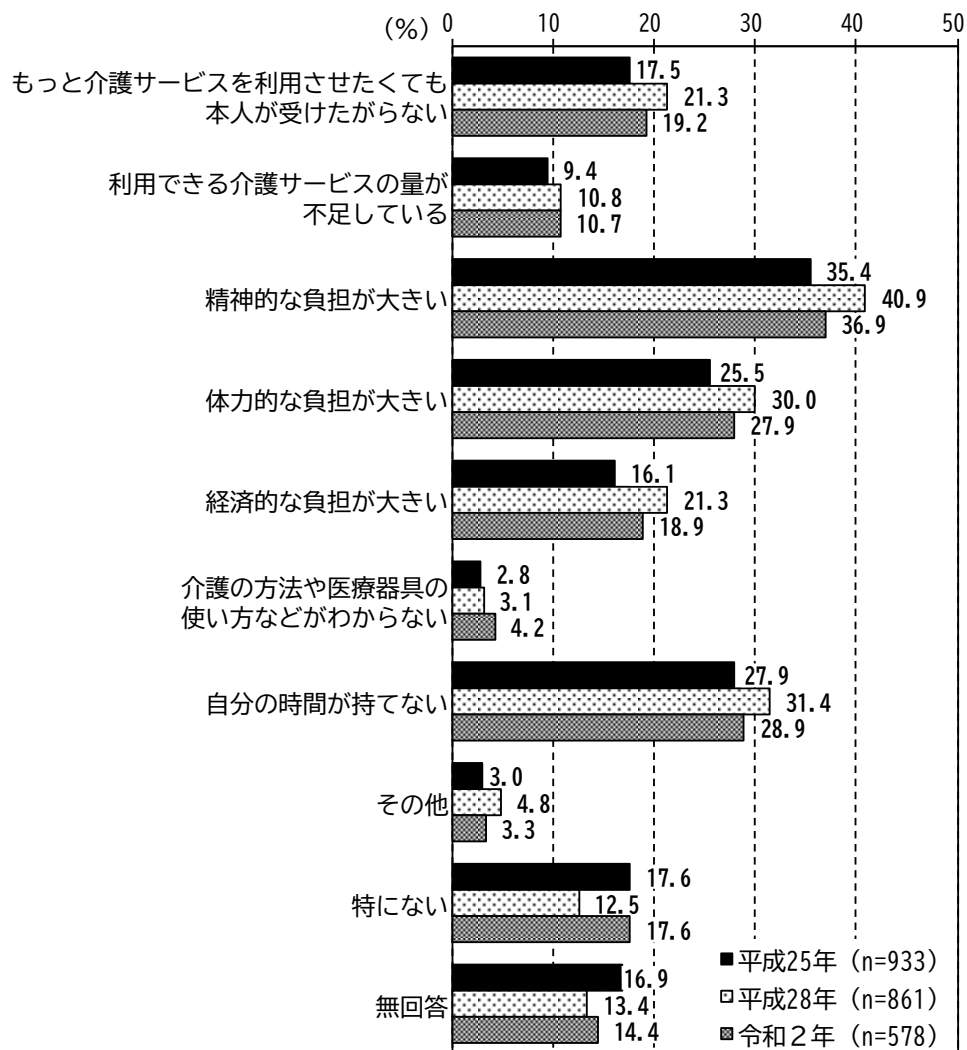
※クロス集計

(単位：%)

区分		が利用できなかったが本人を	もっと介護サービスを利用できない	精神的な負担が大きい	体力的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介護の方法や医療器具がわからない	自分の時間が持てない	その他	特にない	無回答
要介護度別	要支援1 n=105	14.3	10.5	19.0	10.5	6.7	3.8	18.1	3.8	22.9	25.7
	要支援2 n=115	18.3	10.4	21.7	17.4	9.6	5.2	18.3	2.6	20.9	20.9
	要介護1 n=111	28.8	8.1	47.7	23.4	20.7	2.7	30.6	5.4	16.2	9.0
	要介護2 n=110	20.0	8.2	47.3	39.1	21.8	3.6	36.4	2.7	18.2	8.2
	要介護3 n=51	23.5	17.6	49.0	43.1	29.4	0.0	39.2	0.0	15.7	3.9
	要介護4 n=42	16.7	11.9	47.6	38.1	42.9	7.1	40.5	4.8	7.1	7.1
	要介護5 n=26	3.8	19.2	42.3	57.7	26.9	11.5	42.3	3.8	11.5	11.5
	わからない n=4	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0

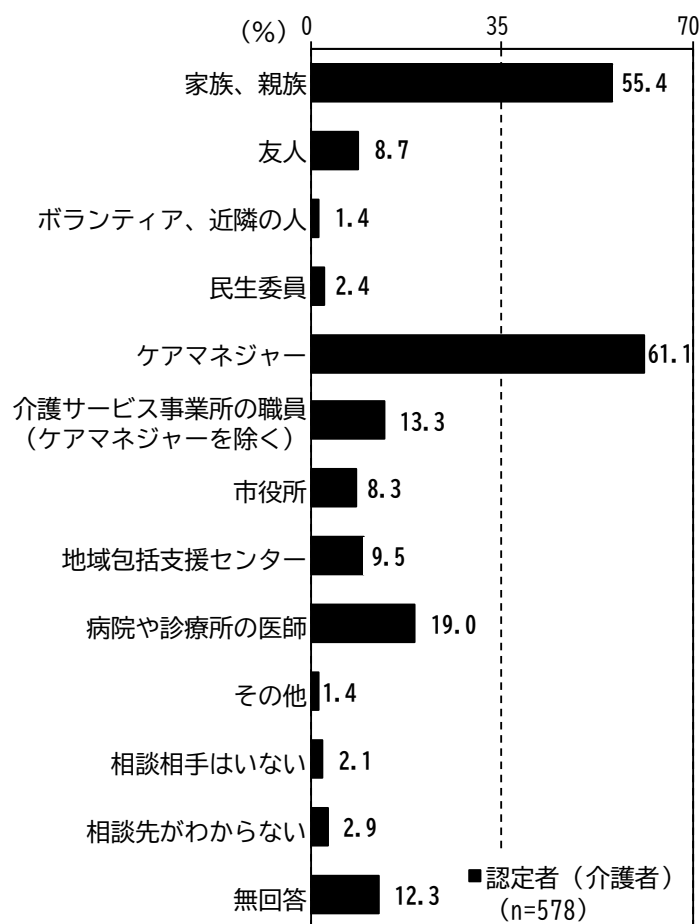
※経年比較

経年でみると、「介護の方法や医療器具の使い方などがわからない」と「特にない」を除いて、平成25年より高く、平成28年より低くなっています。



問 33 介護のことで困ったとき、どこ（誰）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

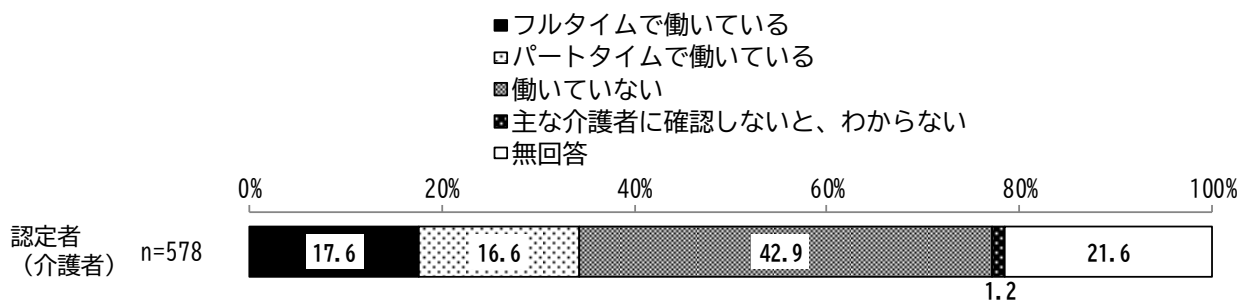
「ケアマネジャー」が61.1%と最も高く、次いで「家族、親族」が55.4%、「病院や診療所の医師」が19.0%となっています。



問 34 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つ）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べ短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

「働いていない」が42.9%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が17.6%、「パートタイムで働いている」が16.6%となっています。

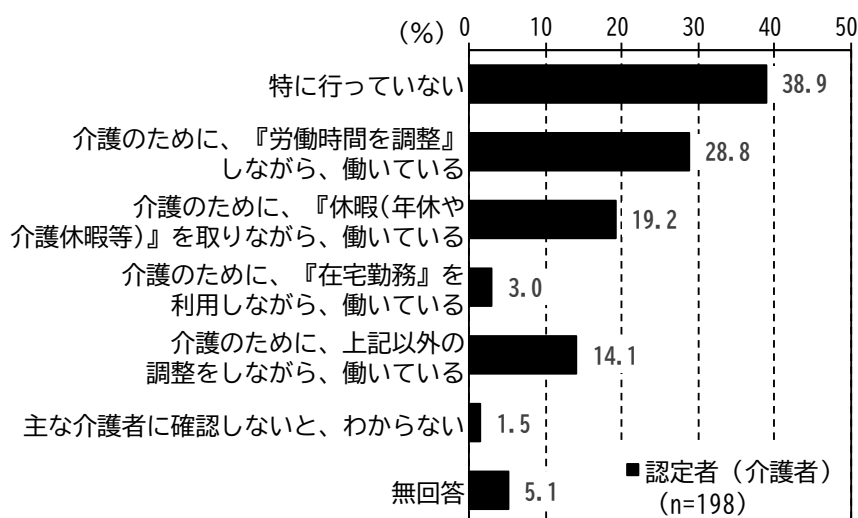


※問 34 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方

問 34-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

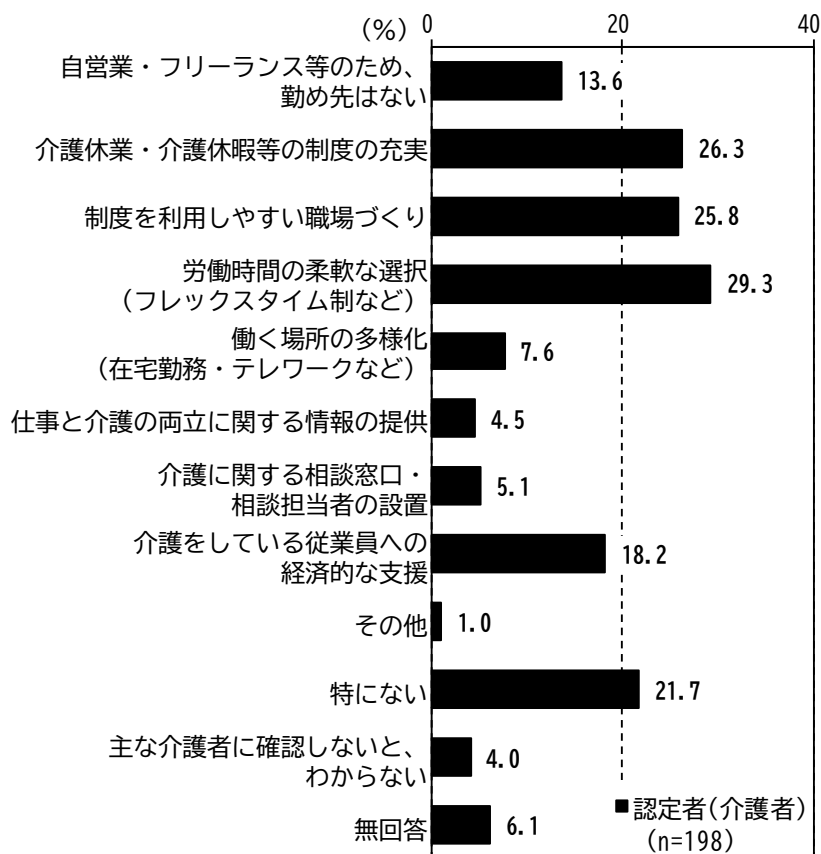
「特に行っていない」が38.9%と最も高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整※』しながら、働いている」が28.8%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が19.2%となっています。

※残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等



問 34-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

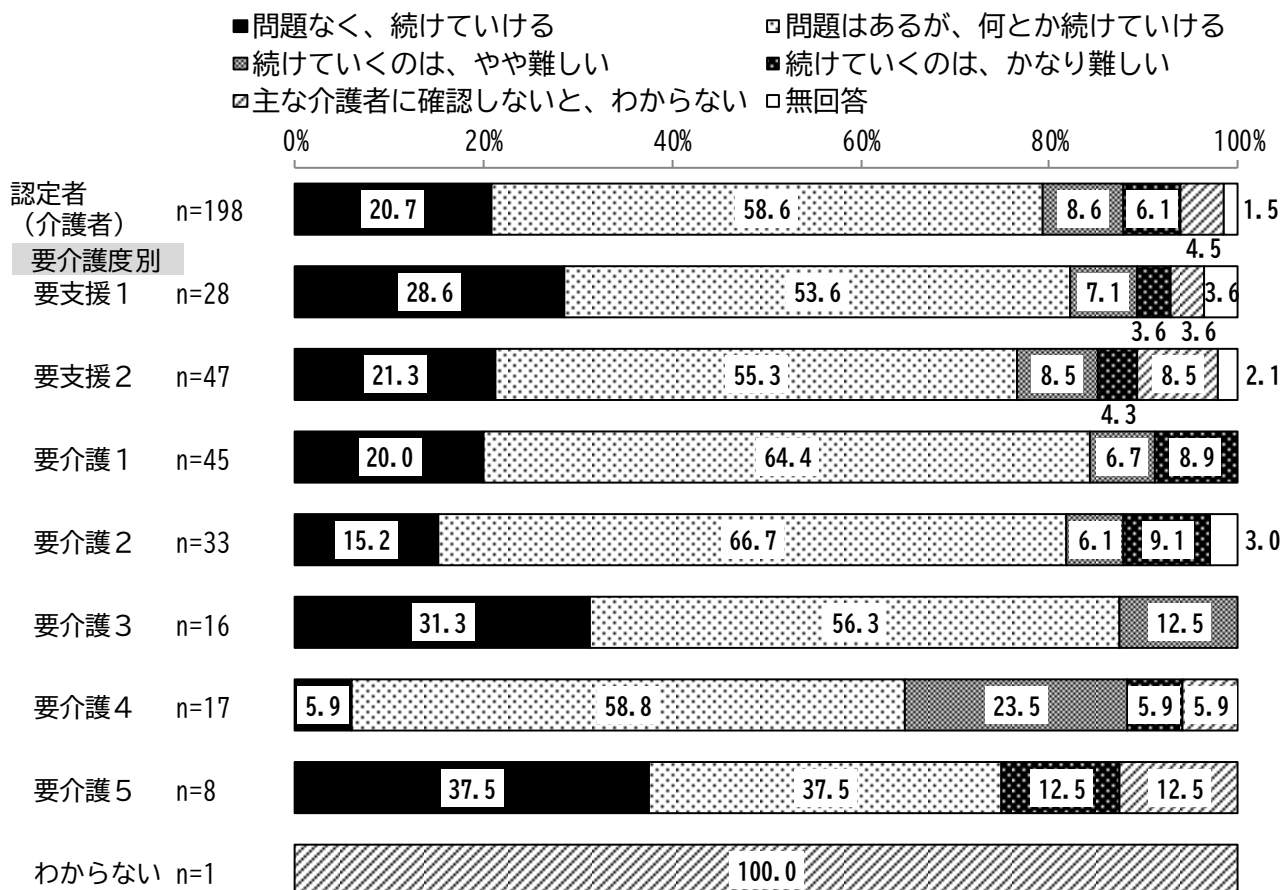
「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が29.3%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が26.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」が25.8%、「特にない」が21.7%となっています。



問 34-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

「問題はあるが、何とか続けていける」が58.6%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.7%、「続けていくのは、やや難しい」が8.6%となっています。

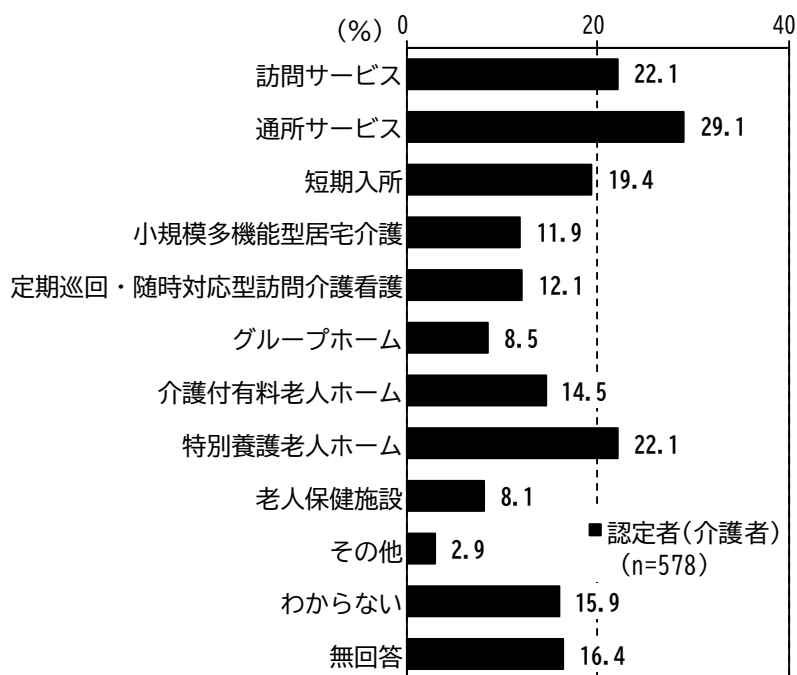
要介護度別では、要介護4で「続けていくのは、やや難しい」が23.5%と、他の要介護度と比べて高くなっています。



問 35 今後、どのようなサービスを充実していく必要があると思いますか。(〇は3つまで)

「通所サービス」が 29.1%と最も高く、次いで「訪問サービス」「特別養護老人ホーム」がともに 22.1%、「短期入所」が 19.4%となっています。

要介護度別では、要介護 2 以下では「通所サービス」、要介護 3 以上では「特別養護老人ホーム」がそれぞれ最も高くなっています。



※クロス集計

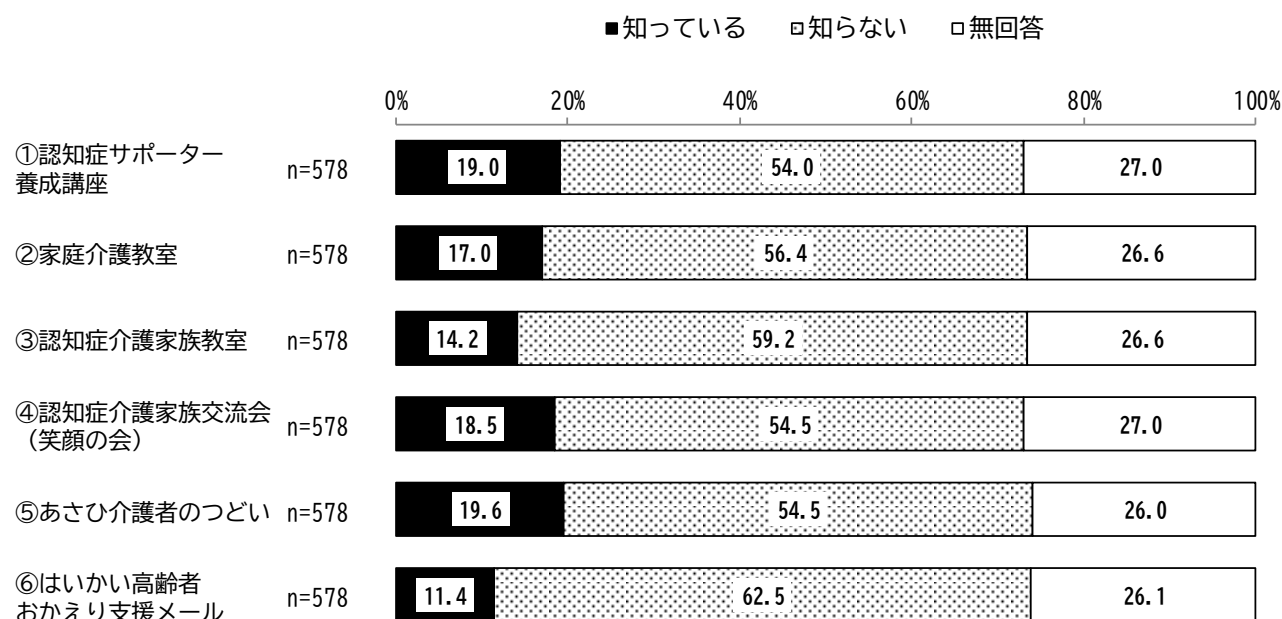
(単位：%)

区分		訪問サービス	通所サービス	短期入所	介護小規模多機能型居宅	訪問定期巡回・随時対応型看護	グループホーム	介護付有料老人ホーム	特別養護老人ホーム	老人保健施設	その他	わからない	無回答
要介護度別	要支援 1 (n=105)	18.1	24.8	12.4	11.4	7.6	5.7	5.7	6.7	5.7	1.9	21.9	31.4
	要支援 2 (n=115)	20.0	24.3	14.8	5.2	11.3	3.5	15.7	18.3	7.8	2.6	20.0	20.0
	要介護 1 (n=111)	26.1	38.7	23.4	13.5	9.9	16.2	17.1	19.8	4.5	3.6	13.5	9.9
	要介護 2 (n=110)	21.8	32.7	26.4	14.5	12.7	11.8	17.3	28.2	8.2	2.7	17.3	7.3
	要介護 3 (n=51)	25.5	29.4	17.6	3.9	25.5	7.8	23.5	39.2	11.8	5.9	11.8	7.8
	要介護 4 (n=42)	26.2	19.0	21.4	16.7	11.9	7.1	7.1	28.6	11.9	4.8	4.8	23.8
	要介護 5 (n=26)	26.9	15.4	19.2	15.4	19.2	3.8	11.5	42.3	11.5	0.0	11.5	11.5
	わからない (n=4)	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0

問 36 現在本市で行っている次の介護者支援・認知症関係事業における、主な介護者の方の(1)認知度と(2)参加状況・意向について、①から⑥までの認知症関係事業ごとに、あてはまるものに○をつけてください。

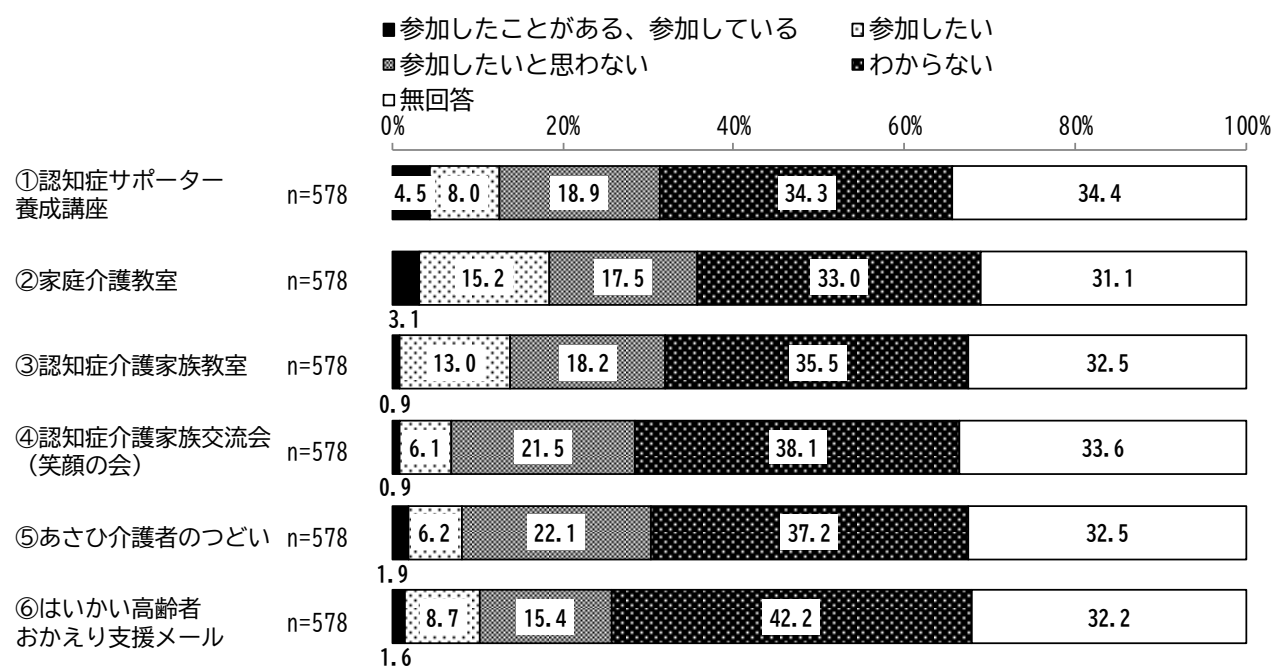
(1) 認知度

「知らない」が「⑥はいかい高齢者おかえり支援メール」で 62.5%と、他の事業と比べて高くなっています。



(2) 参加状況・意向

「②家庭介護教室」「③認知症介護家族教室」で「参加したい」が1割を超えています。

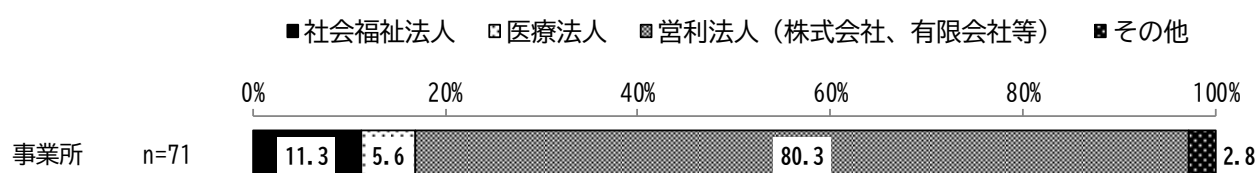


IV 介護サービス提供事業者調査結果

1 事業所について

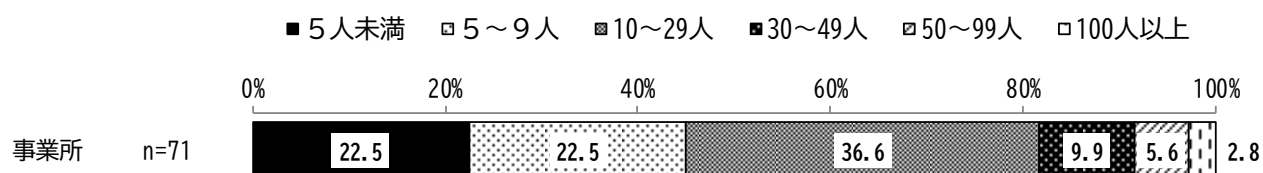
問1 貴事業所の法人格についてあてはまるものはどれですか。(○は1つ)

「営利法人(株式会社、有限会社等)」が80.3%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が11.3%となっています。



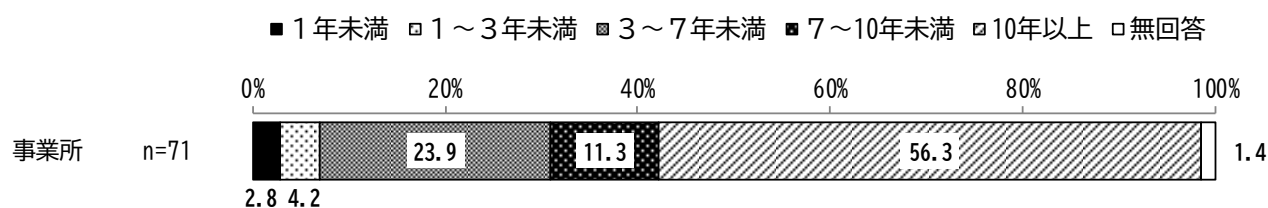
問2 貴事業所の従業員は何人ですか。(○は1つ)

「10~29人」が36.6%と最も高く、次いで「5人未満」「5~9人」がともに22.5%となっています。



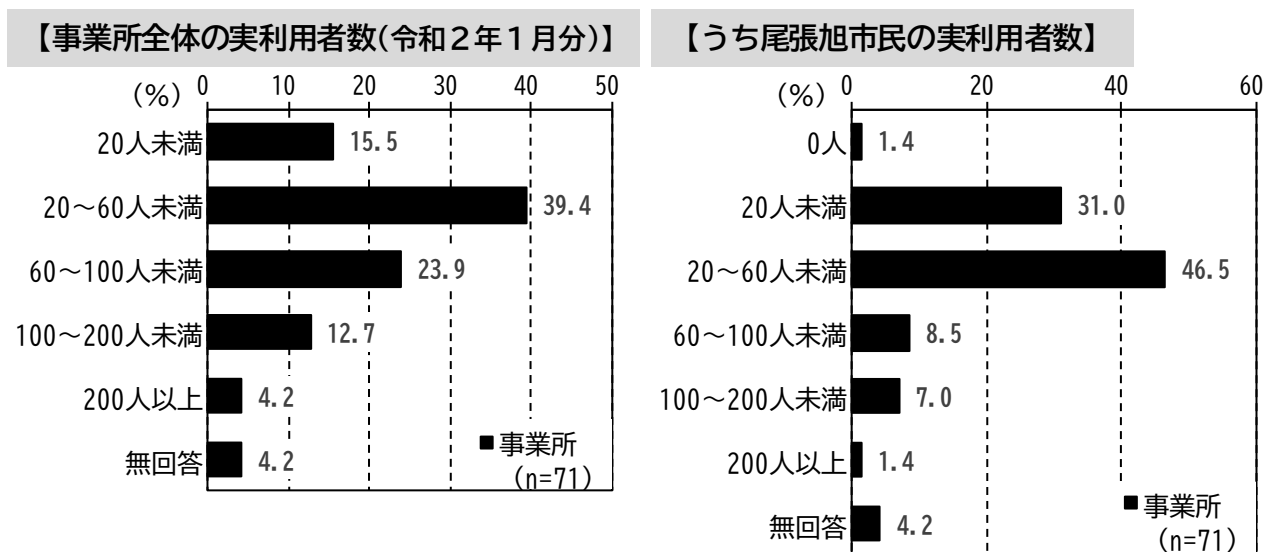
問3 貴事業所の運営年数は何年ですか。(○は1つ)

「10年以上」が56.3%と最も高く、次いで「3~7年未満」が23.9%、「7~10年未満」が11.3%となっています。



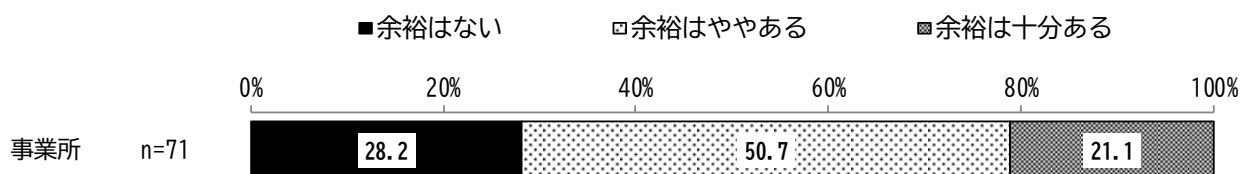
問4 貴事業所の利用状況をお答えください。(数字を記入)

事業所全体の実利用者数は、「20～60人未満」が39.4%と最も高くなっています。
このうち尾張旭市民の実利用者数は、「20～60人未満」が46.5%と最も高くなっています。



問5 貴事業所のサービス受け入れ状況についてお答えください。(○は1つ)

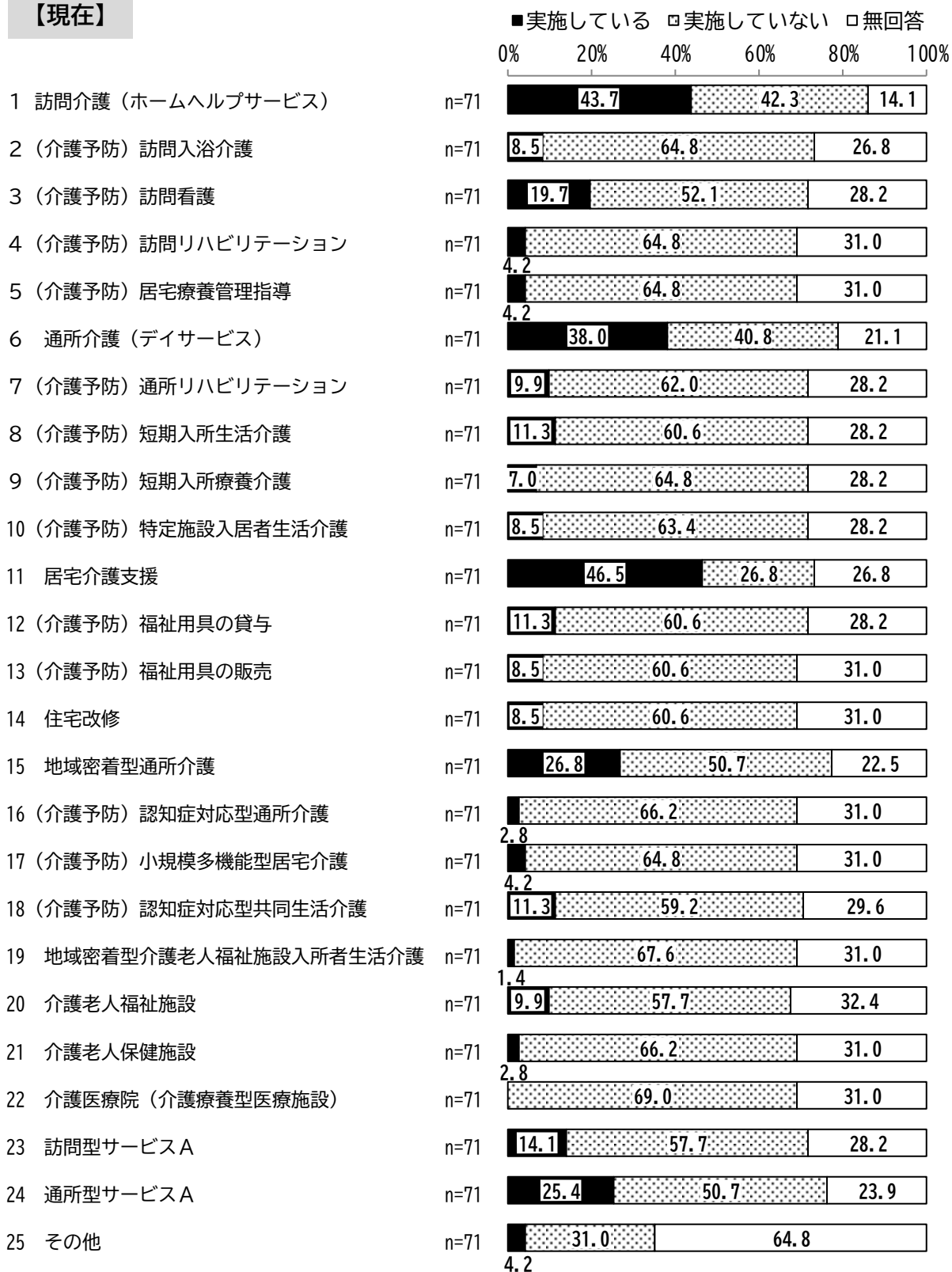
「余裕はない」が28.2%、「余裕はややある」が50.7%、「余裕は十分ある」が21.1%となっています。



問6 貴法人における介護サービスの現在の実施状況と今後の実施予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。（「現在」実施していない場合は、「今後」もお答えください。）

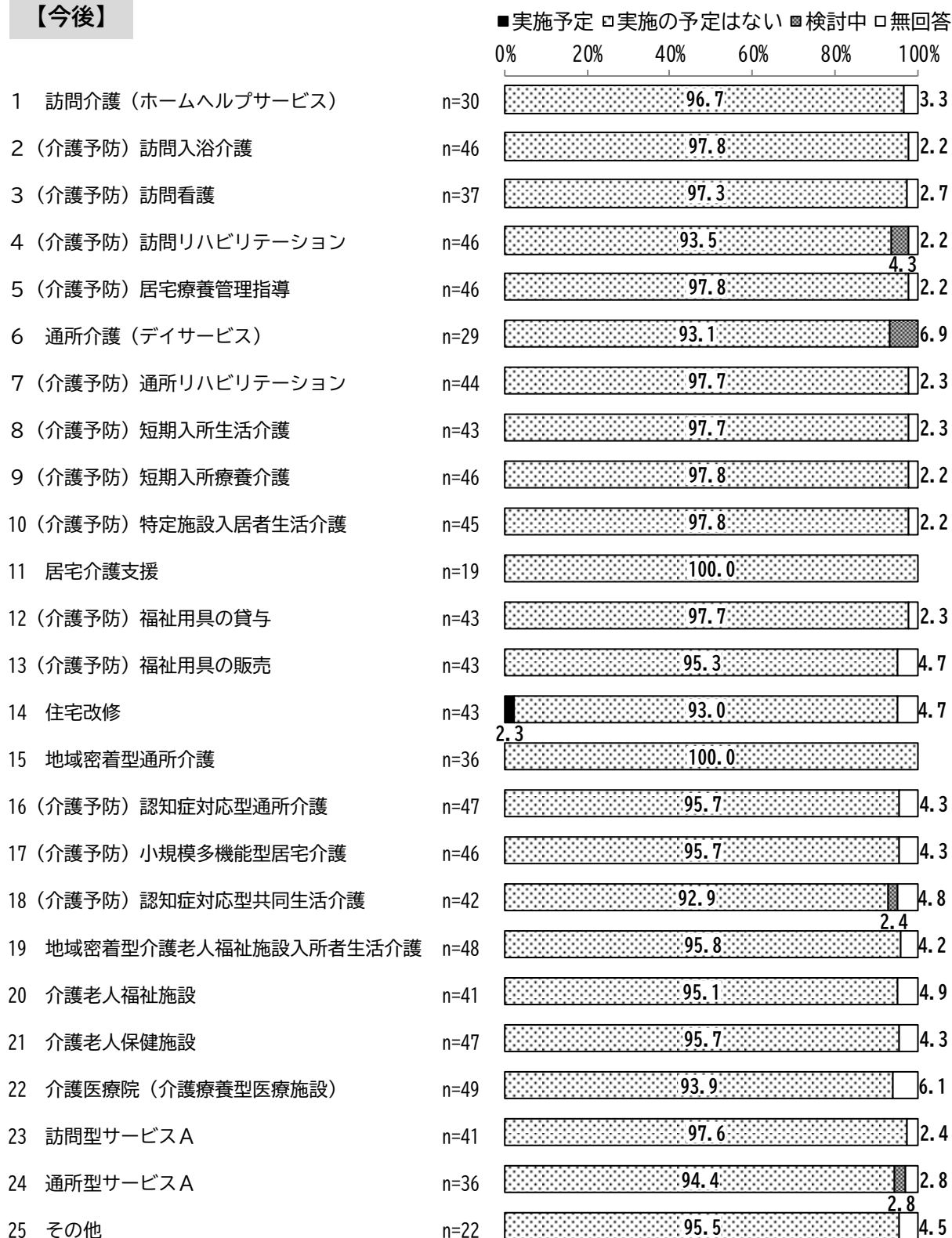
訪問介護（ホームヘルプサービス）と居宅介護支援で「実施している」が4割を超えています。一方で、「実施していない」は介護医療院（介護療養型医療施設）で69.0%と最も高く、次いで地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護で67.6%となっています。

【現在】



「実施予定」が住宅改修で2.3%、「検討中」が通所介護（デイサービス）で6.9%、（介護予防）訪問リハビリテーションで4.3%となっています。

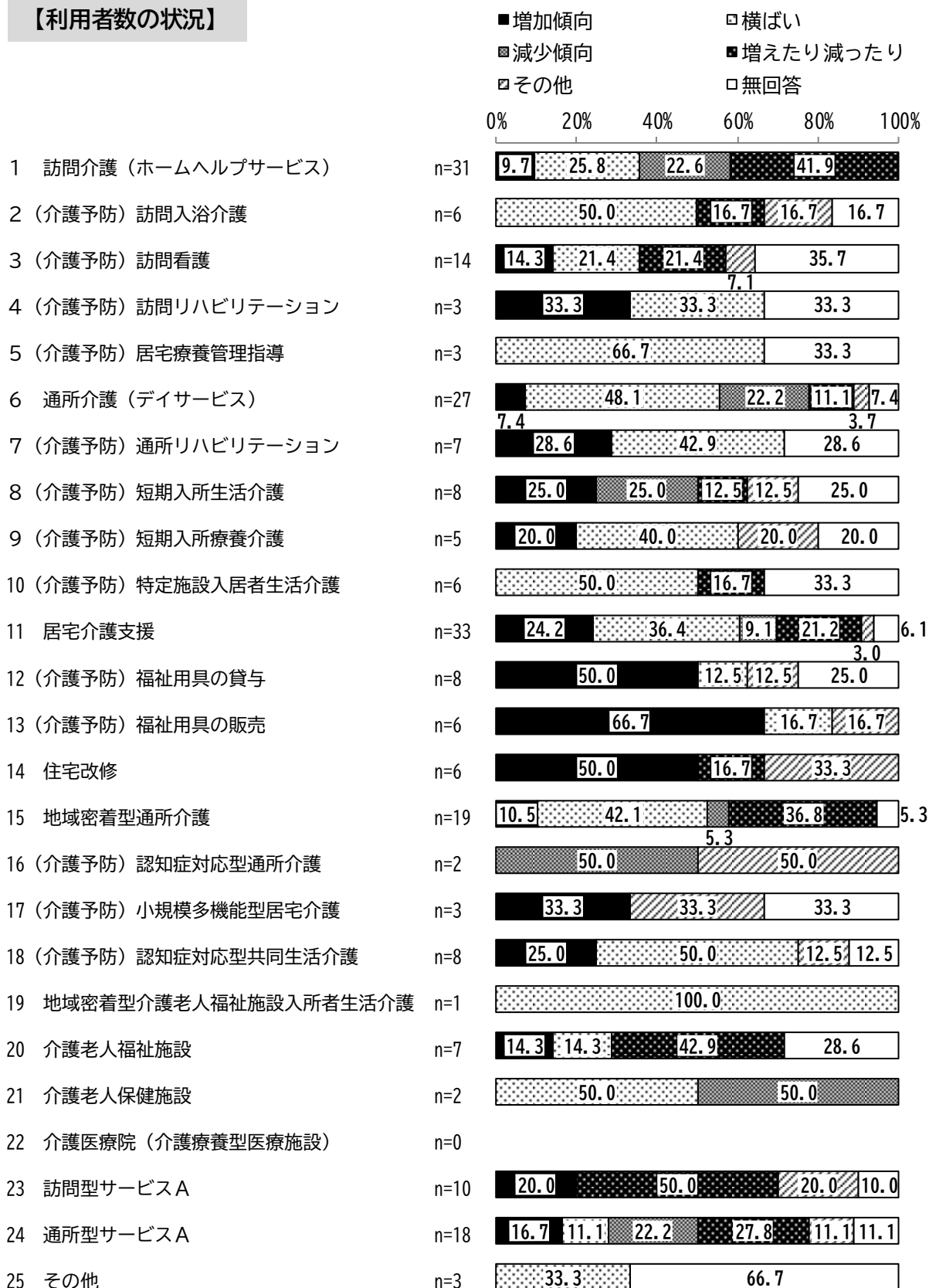
【今後】



問7 貴法人で実施している事業の利用者数及びサービスニーズへの対応状況について、各項目で該当するものに○をつけてください。

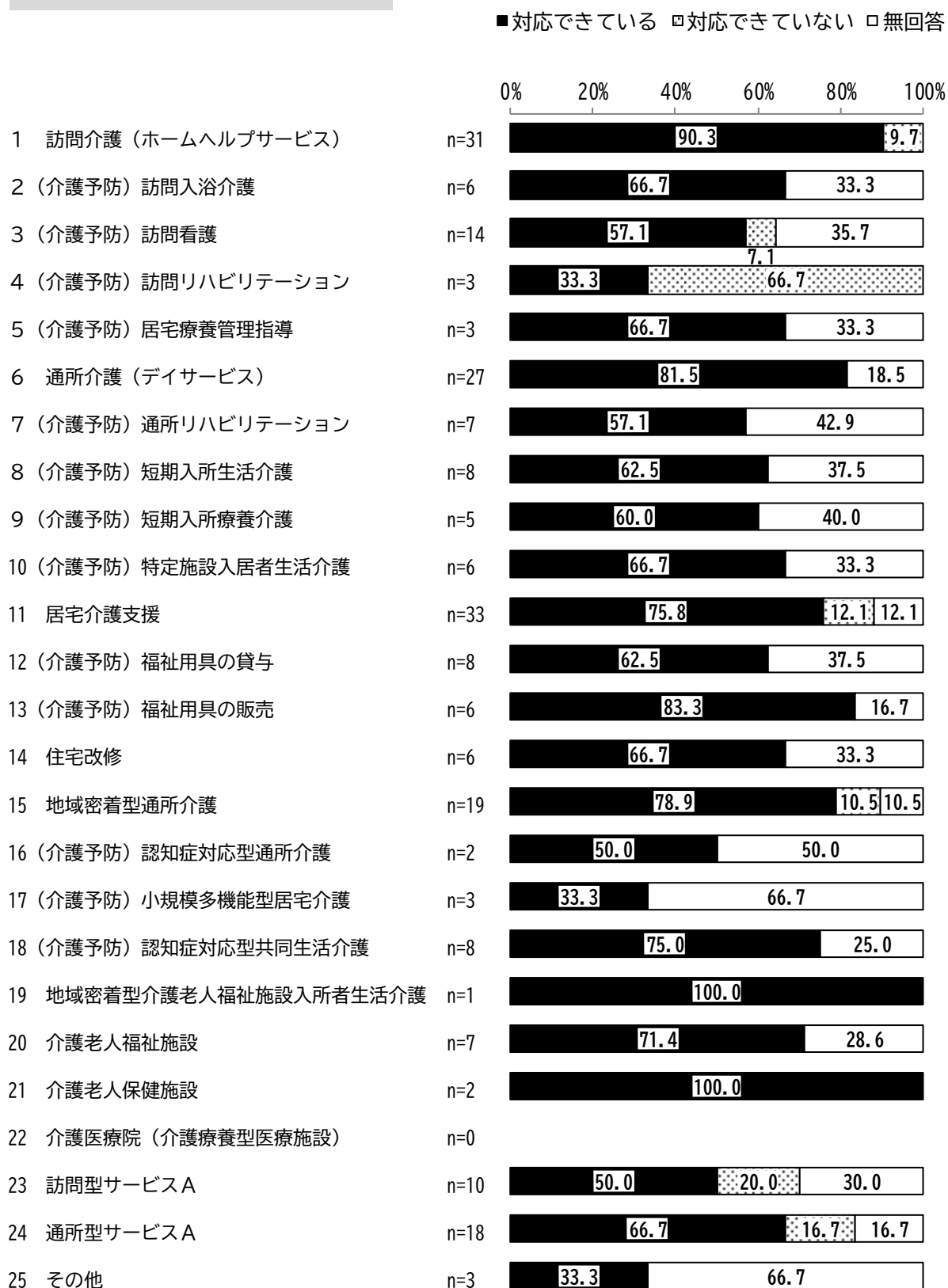
訪問介護（ホームヘルプサービス）では「増えたり減ったり」が、通所介護（デイサービス）と居宅介護支援では「横ばい」が、それぞれ最も高くなっています。

【利用者数の状況】



「対応できている」が訪問介護（ホームヘルプサービス）で 90.3%、通所介護（デイサービス）で 81.5%、居宅介護支援で 75.8%となっています。

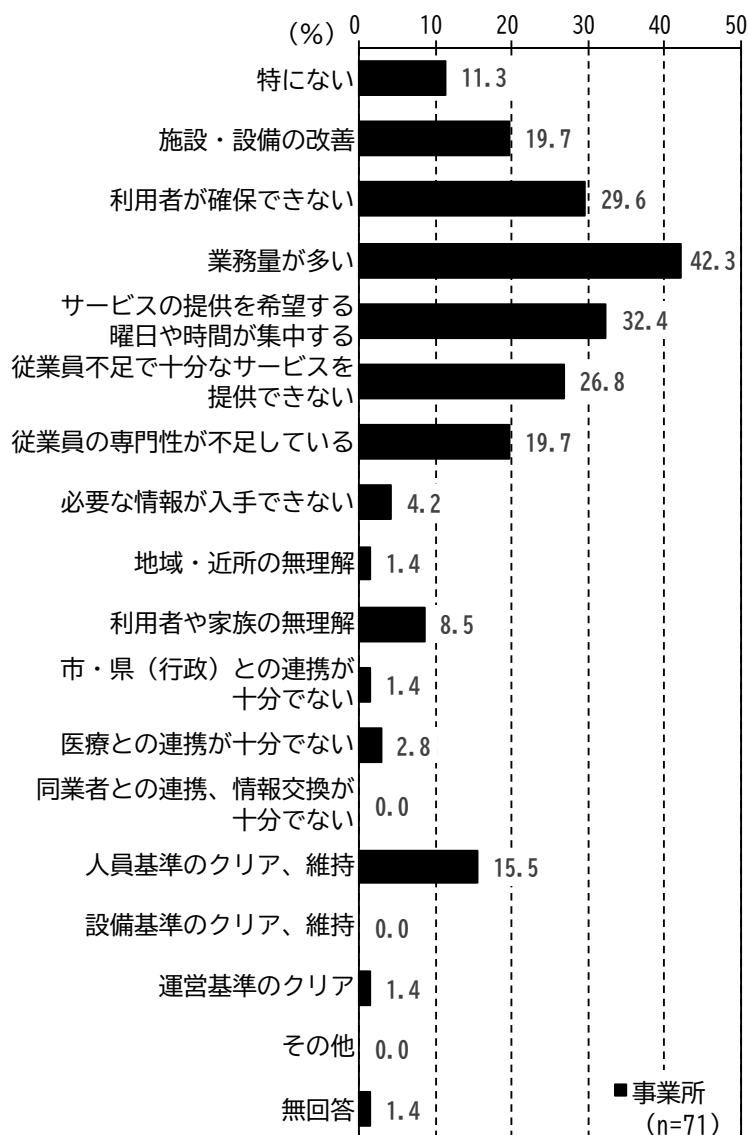
【サービスニーズへの対応状況】



2 事業所運営上の課題について

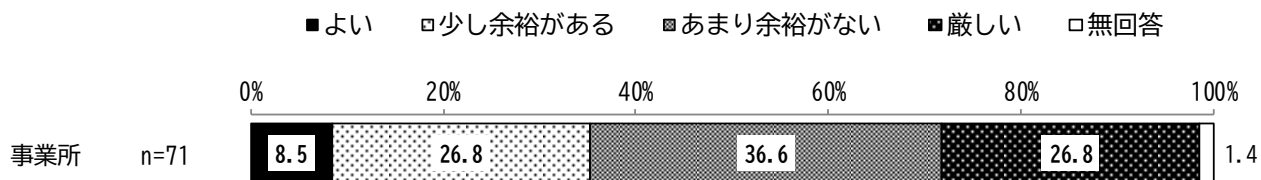
問8 事業所を円滑に運営していく上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「業務量が多い」が42.3%と最も高く、次いで「サービスの提供を希望する曜日や時間が集中する」が32.4%、「利用者が確保できない」が29.6%、「従業員不足で十分なサービスを提供できない」が26.8%となっています。



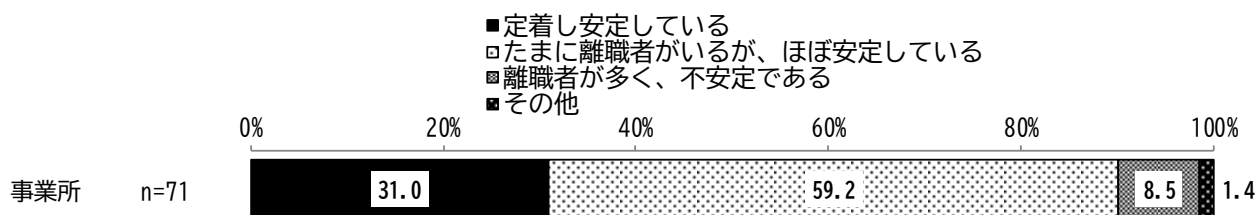
問9 貴事業所の経営状況はいかがですか。(〇は1つ)

「あまり余裕がない」が36.6%と最も高く、次いで「少し余裕がある」と「厳しい」がともに26.8%となっています。



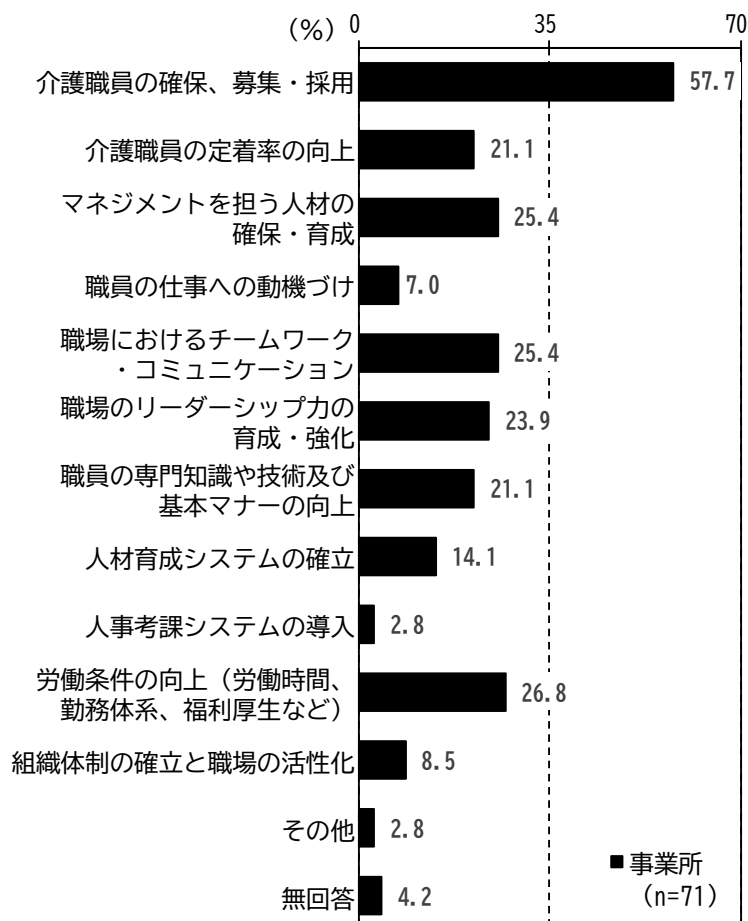
問10 貴事業所では、職員の定着についておおむねどのような状況ですか。(〇は1つ)

「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が59.2%と最も高く、次いで「定着し安定している」が31.0%となっています。



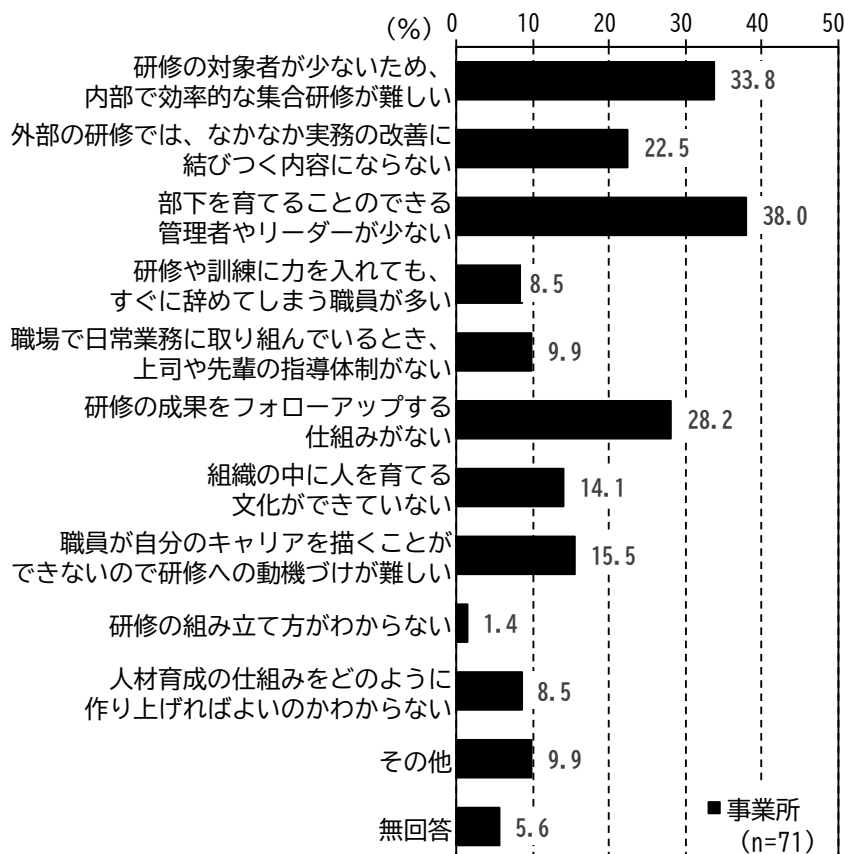
問 11 貴事業所では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。
 (〇は3つまで)

「介護職員の確保、募集・採用」が57.7%と最も高く、次いで「労働条件の向上（労働時間、勤務体系、福利厚生など）」が26.8%、「マネジメントを担う人材の確保・育成」と「職場におけるチームワーク・コミュニケーション」がともに25.4%となっています。



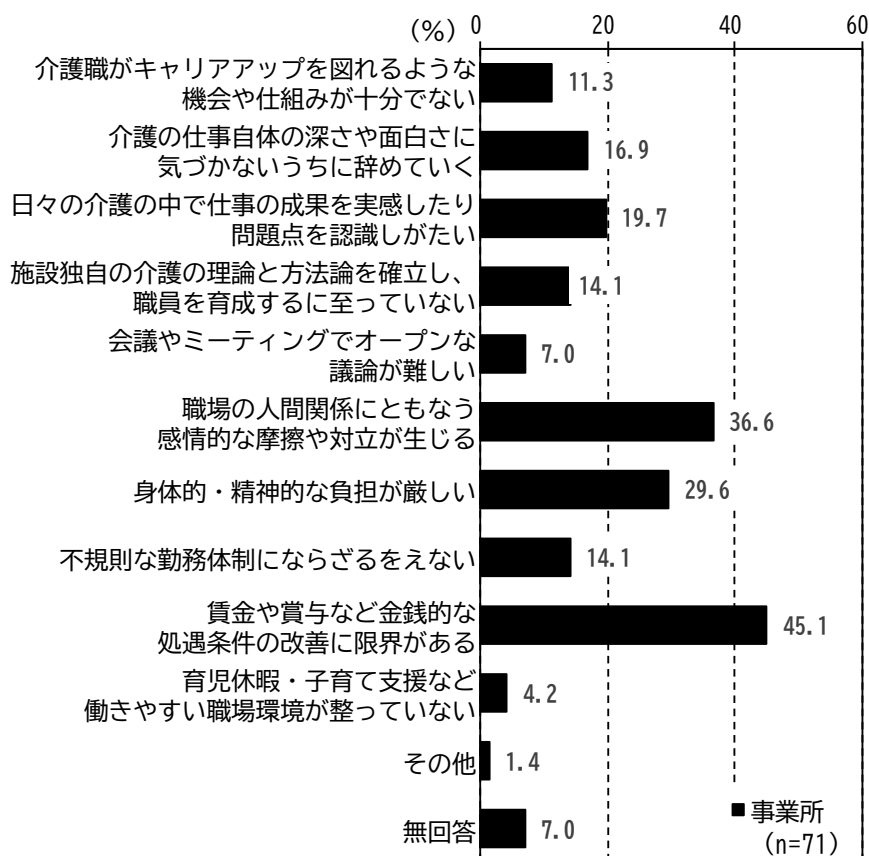
問12 貴事業所では、人材の育成に取り組んでいくとき、どのような問題点がありますか。
(○は3つまで)

「部下を育てることのできる管理者やリーダーが少ない」が38.0%と最も高く、次いで「研修の対象者が少ないため、内部で効率的な集合研修が難しい」が33.8%、「研修の成果をフォローアップする仕組みがない」が28.2%となっています。



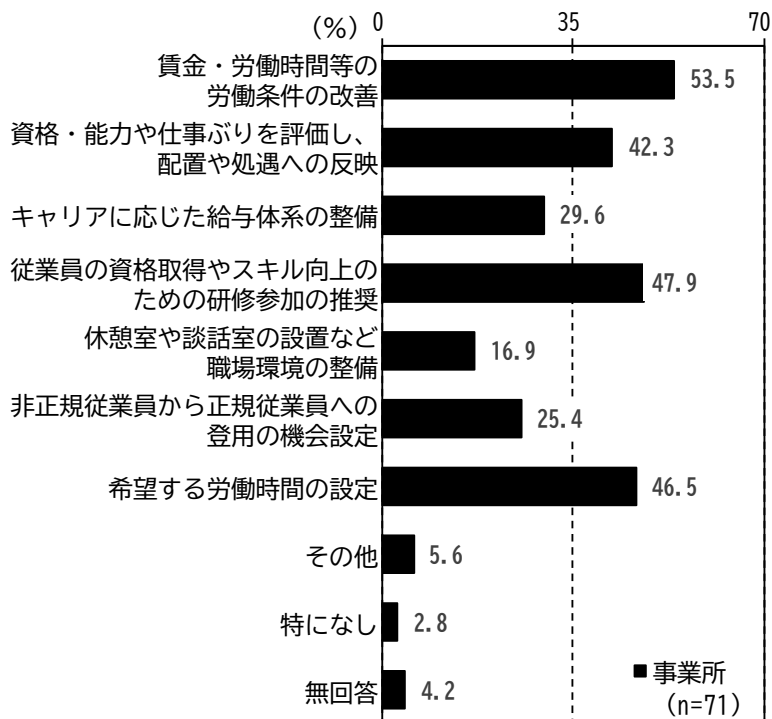
問13 貴事業所では、職員の確保と定着率向上にはどのような問題点がありますか。
(〇は3つまで)

「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が45.1%と最も高く、次いで「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」が36.6%、「身体的・精神的な負担が厳しい」が29.6%となっています。



問 14 人材を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)

「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が53.5%と最も高く、次いで「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」が47.9%、「希望する労働時間の設定」が46.5%、「資格・能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇への反映」が42.3%となっています。

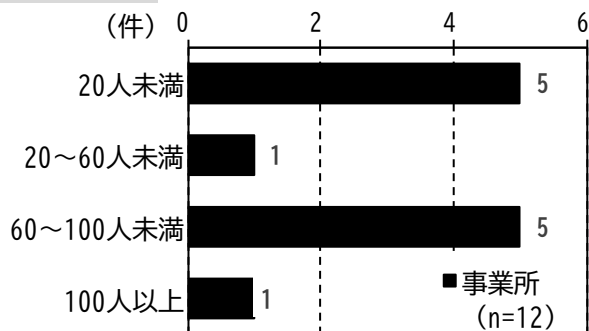


3 グループホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・ 特定施設入居者生活介護事業者の方にお聞きします

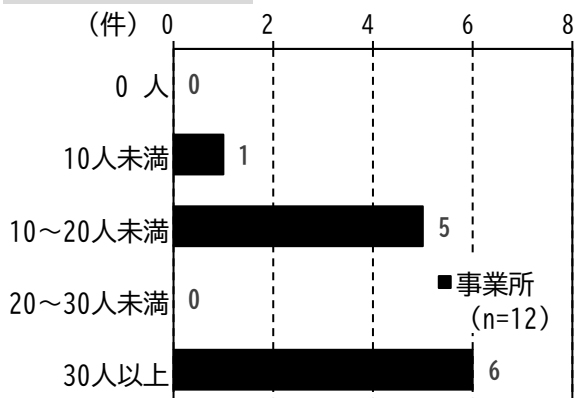
問 15 入所者の現在の状況を教えてください。（数字を記入）

定員、市内外の入所者の状況は、下記のとおりです。

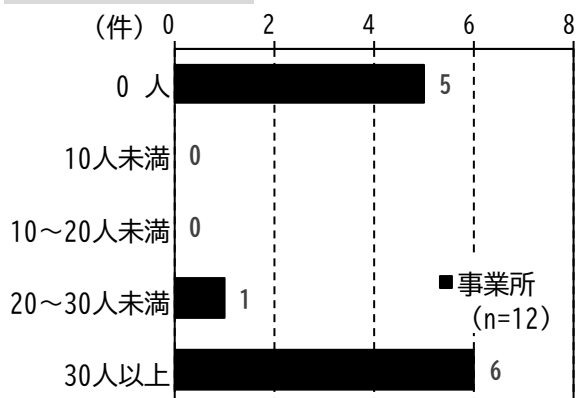
【定員】



【市内入所者】



【市外入所者】

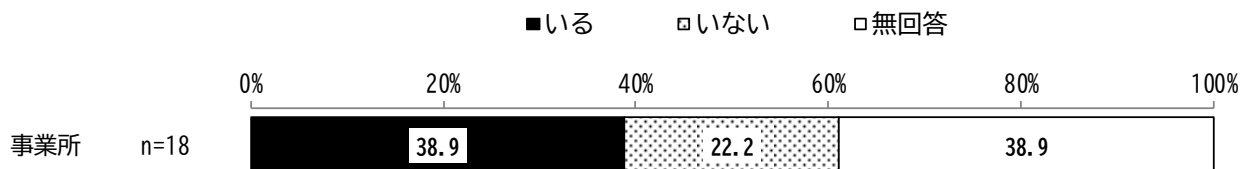


問 16 現在、要介護3以上の待機者はいますか。待機者がいる場合は、待機者の現在の状況や、市内・市外の人数の内訳をお答えください。

(あてはまるものすべてに○をつけ、その人数についても記入)

「いる」が38.9%、「いない」が22.2%となっています。

待機者の現在の状況や、市内・市外の人数の内訳は、下記のとおりです。



待機者の現在の状況	市内					市外				
	全体	1 0 人 未 満	2 1 0 0 人 未 満	3 2 0 0 人 未 満	3 0 人 以 上	全体	1 0 人 未 満	2 1 0 0 人 未 満	3 2 0 0 人 未 満	3 0 人 以 上
1 自宅	4	1	0	0	3	5	2	0	3	0
2 一般病院入院中	5	2	1	2	0	5	2	3	0	0
3 特別養護老人ホーム入所中	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0
4 介護老人保健施設入所中	3	0	3	0	0	3	3	0	0	0
5 療養型病床群入所中	2	2	0	0	0	3	3	0	0	0
6 グループホーム入所中	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0
7 有料老人ホーム入居中	3	2	1	0	0	3	1	2	0	0
8 その他	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0
9 不明	3	3	0	0	0	3	2	1	0	0

問 17 待機者の入所の順番を決めるにあたり、最も重視する点は何ですか。最も重視していることから順に3つまで選んでください。（それぞれに該当する数字を記入）

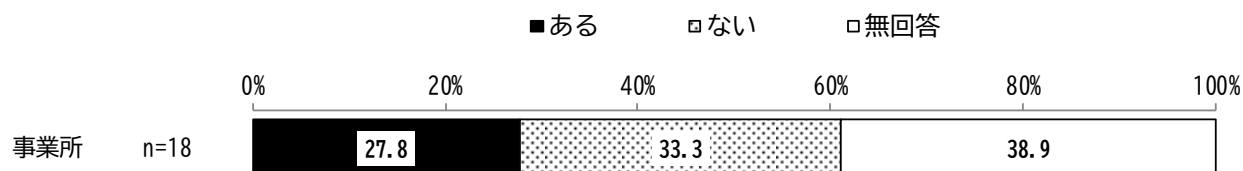
最も重視していることは、「申し込みの順番を重視」が最も多く、次いで「緊急度の高さを重視」となっています。

(単位：件)

	全体	地元住民であることを重視	申し込みの順番を重視	緊急度の高さを重視	要介護度の高さを重視	本人の生活環境を重視	認知症の重症さを重視	その他
①【最も重視していること】	10	2	5	3	0	0	0	0
②【2番目に重視していること】	9	0	2	3	0	2	2	0
③【3番目に重視していること】	9	0	1	2	0	5	1	0

問 18 利用者や家族への対応で苦慮したことはありますか。（いずれかに○）

「ある」が27.8%、「ない」が33.3%となっています。



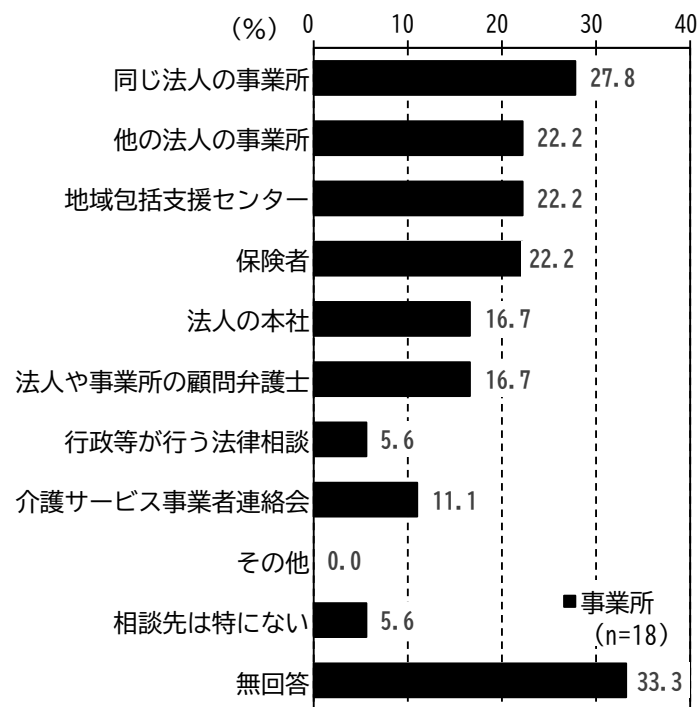
問 18 で「ある」と答えた方

問 18-1 どのようなことで苦慮しましたか。（自由記述）

- ・過度な要求（個別対応も含む）が多い。
- ・キーパーソンとなる家族とそれ以外の家族との相違事。
- ・施設やスタッフに対する要望が多く、電話で長々と訴えられることあり。言葉を選びながらできること、できないことを伝え、納得してもらうのに苦労した。
- ・精神症状が急に激しくなった時、精神病院も受け入れてもらえずに困った。
- ・大切な家族ということもあり、希望、要望が多く、こちらからの話をなかなか理解してもらえない時。
- ・利用料金の未払い継続。

問 19 事業所として困ったときの相談先はどこ（誰）ですか。（〇はいくつでも）

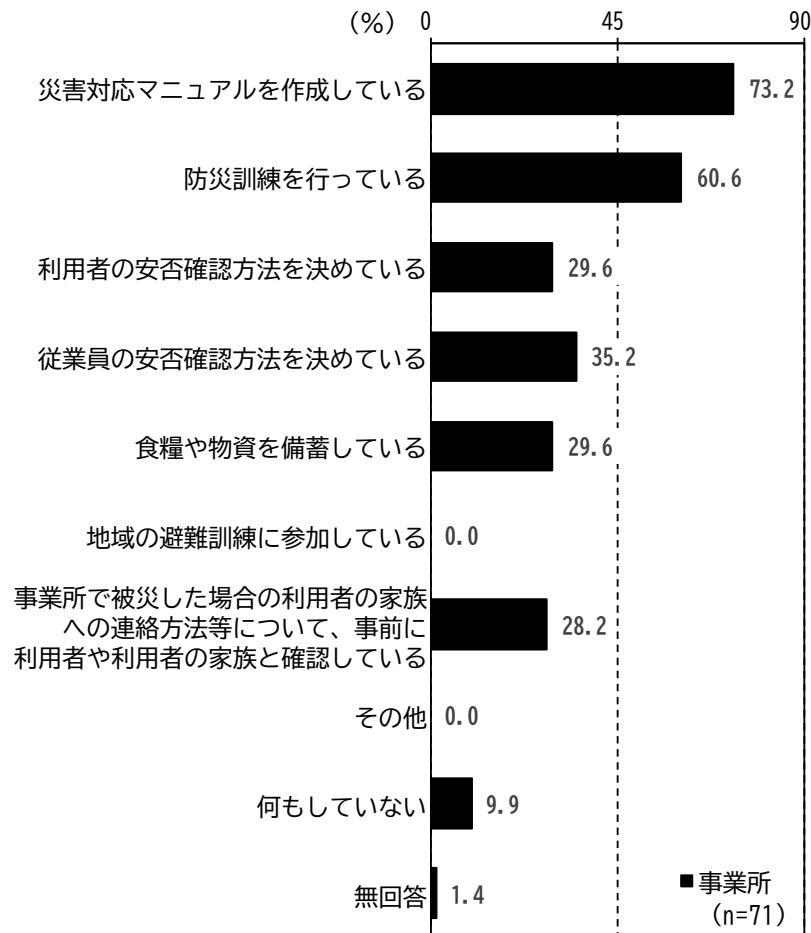
「同じ法人の事業所」が27.8%と最も高く、次いで「他の法人の事業所」「地域包括支援センター」「保険者」がいずれも22.2%となっています。



4 災害対策について

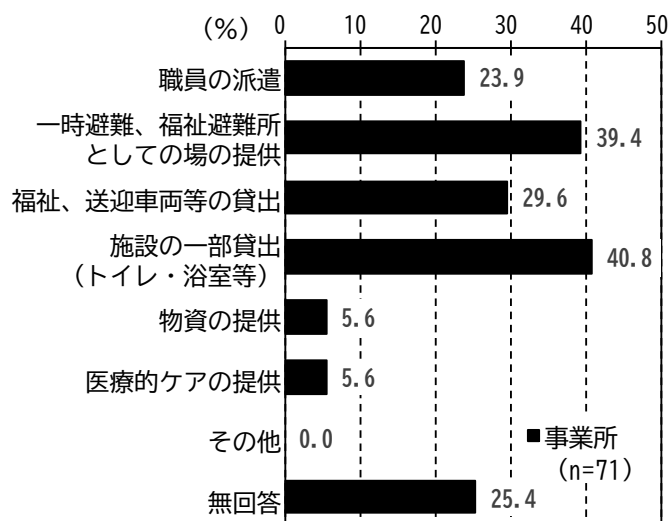
問 20 災害が発生した時のためにどのような対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

「災害対応マニュアルを作成している」が73.2%と最も高く、次いで「防災訓練を行っている」が60.6%、「従業員の安否確認方法を決めている」が35.2%となっています。



問 21 災害が発生した時、事業所として地域のために提供できる支援はありますか。
 (〇はいくつでも)

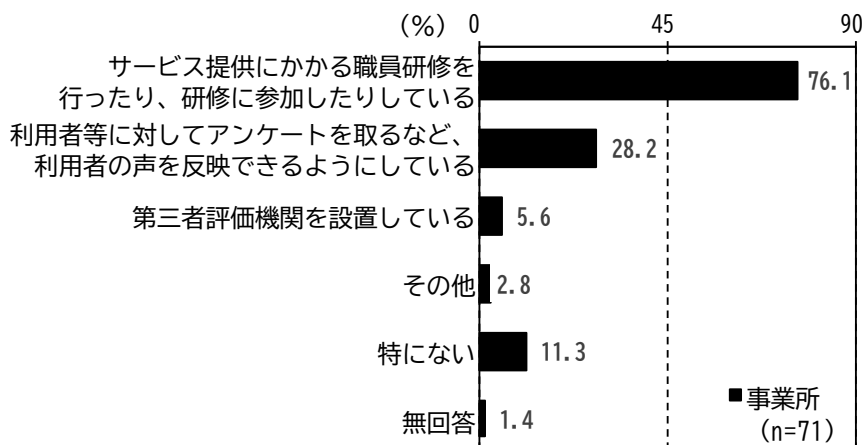
「施設の一部貸出（トイレ・浴室等）」が 40.8%と最も高く、次いで「一時避難、福祉避難所としての場の提供」が 39.4%、「福祉、送迎車両等の貸出」が 29.6%、「職員の派遣」が 23.9%となっています。



5 サービスの質の向上について

問 22 サービスの質の向上に向けて行っている具体的な取組は何ですか。
 (〇はいくつでも)

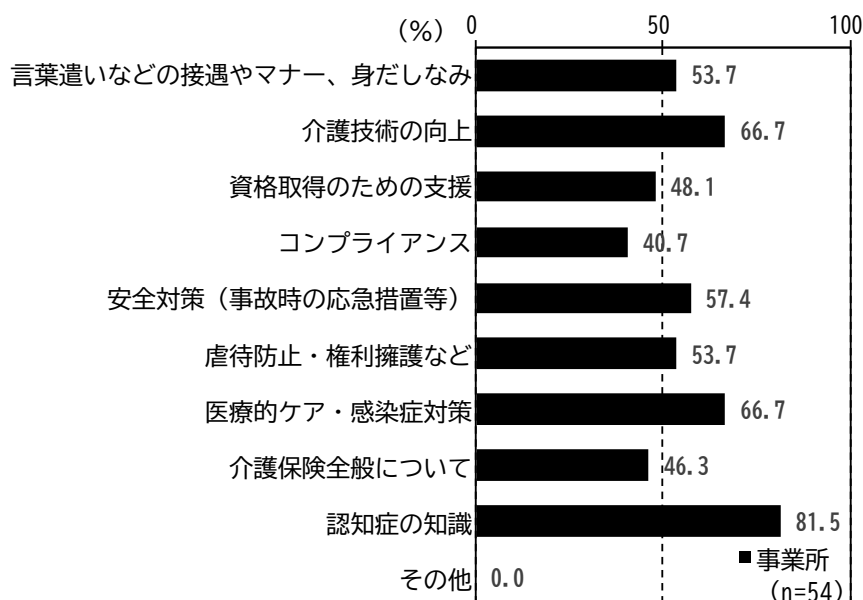
「サービス提供にかかる職員研修を行ったり、研修に参加したりしている」が 76.1%と最も高く、次いで「利用者等に対してアンケートを取るなど、利用者の声を反映できるようにしている」が 28.2%となっています。



※問 22 で「サービス提供にかかる職員研修を行ったり、研修に参加したりしている」と答えた方

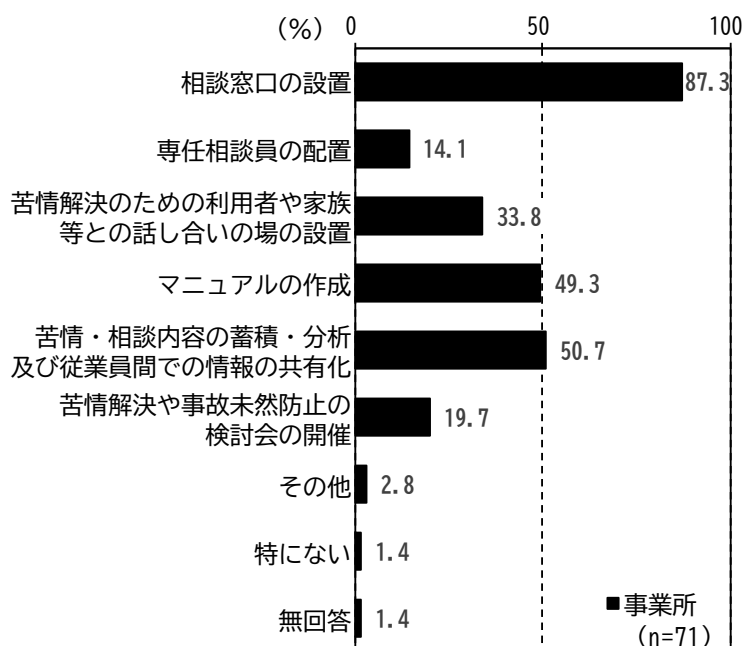
問 22-1 実施したり参加したりした研修は、どのような内容のものですか。 (○はいくつでも)

「認知症の知識」が 81.5%と最も高く、次いで「介護技術の向上」と「医療的ケア・感染症対策」がともに 66.7%となっています。



問 23 サービス利用者や家族からの苦情解決や事故防止をするために行っている取組は何ですか。(○はいくつでも)

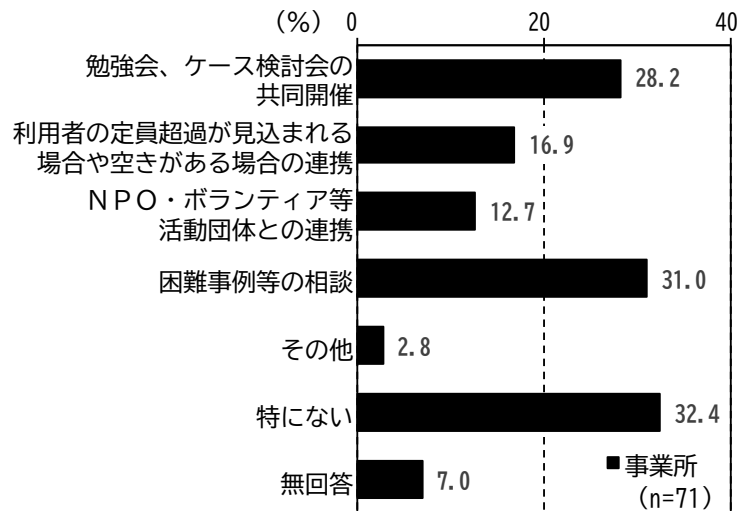
「相談窓口の設置」が 87.3%と最も高く、次いで「苦情・相談内容の蓄積・分析及び従業員間での情報の共有化」が 50.7%、「マニュアルの作成」が 49.3%となっています。



6 関係機関との連携について

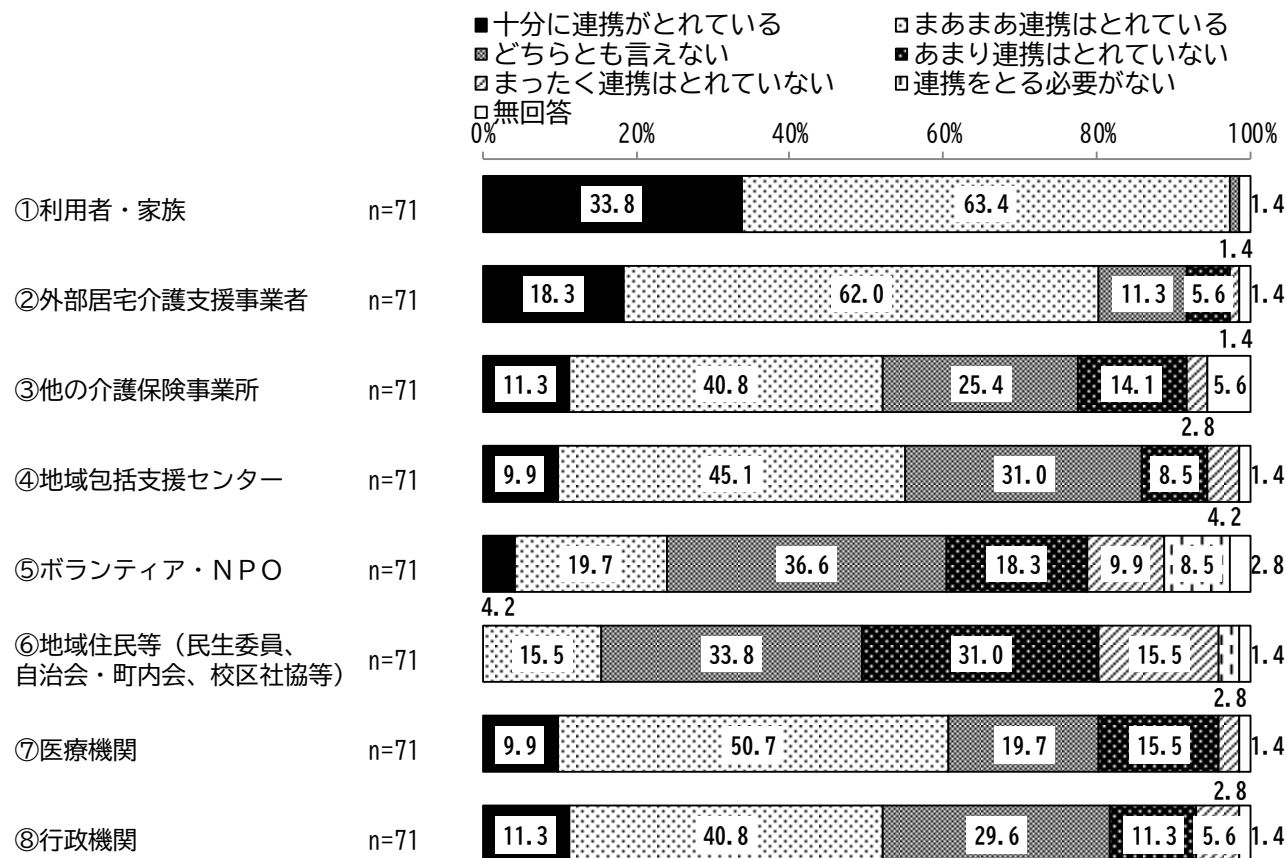
問 24 他法人等との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。
(〇はいくつでも)

「特にない」(32.4%)を除いて、「困難事例等の相談」が31.0%と最も高く、次いで「勉強会、ケース検討会の共同開催」が28.2%、「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」が16.9%となっています。



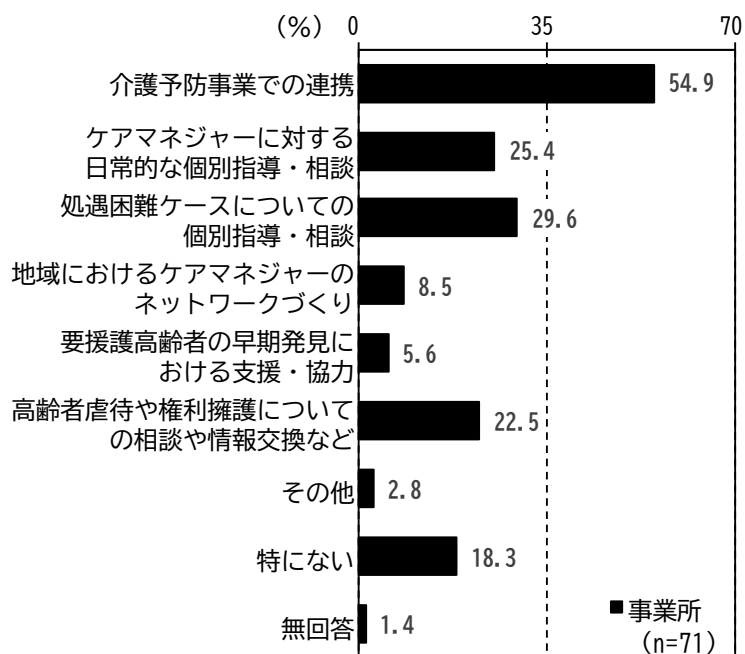
問 25 普段から、以下にあげる人たちとの連携がとれていますか。
 (それぞれあてはまるもの1つに○)

「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携がとれている」を合わせた『連携がとれている』は、「①利用者・家族」で97.2%、「②外部居宅介護支援事業者」で80.3%「⑦医療機関」で60.6%と高くなっています。



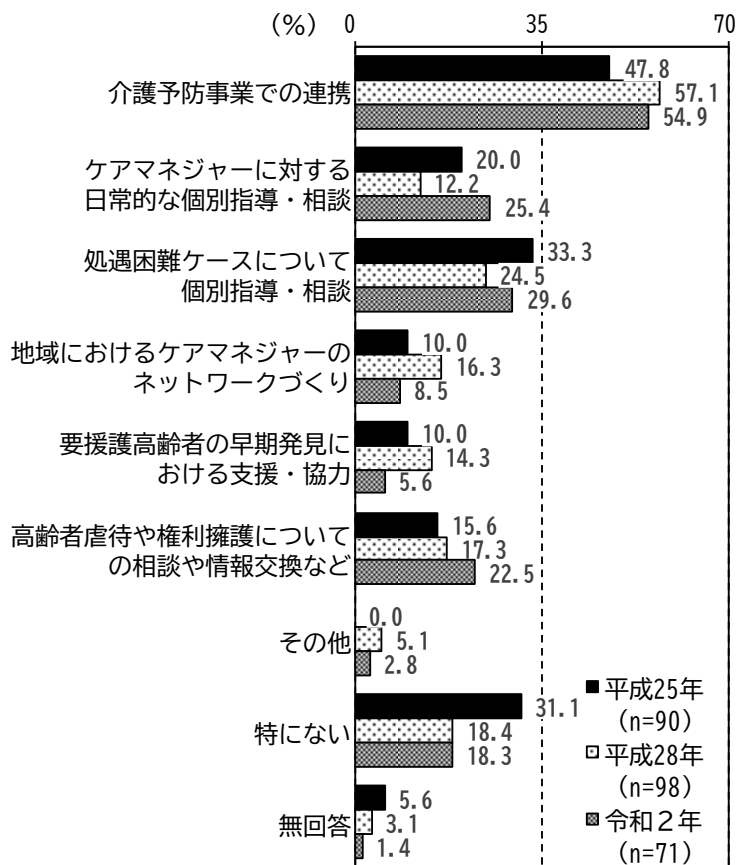
問 26 地域包括支援センターとの連携について、貴事業所として取り組んでいることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「介護予防事業での連携」が 54.9%と最も高く、次いで「処遇困難ケースについての個別指導・相談」が 29.6%、「ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談」が 25.4%となっています。



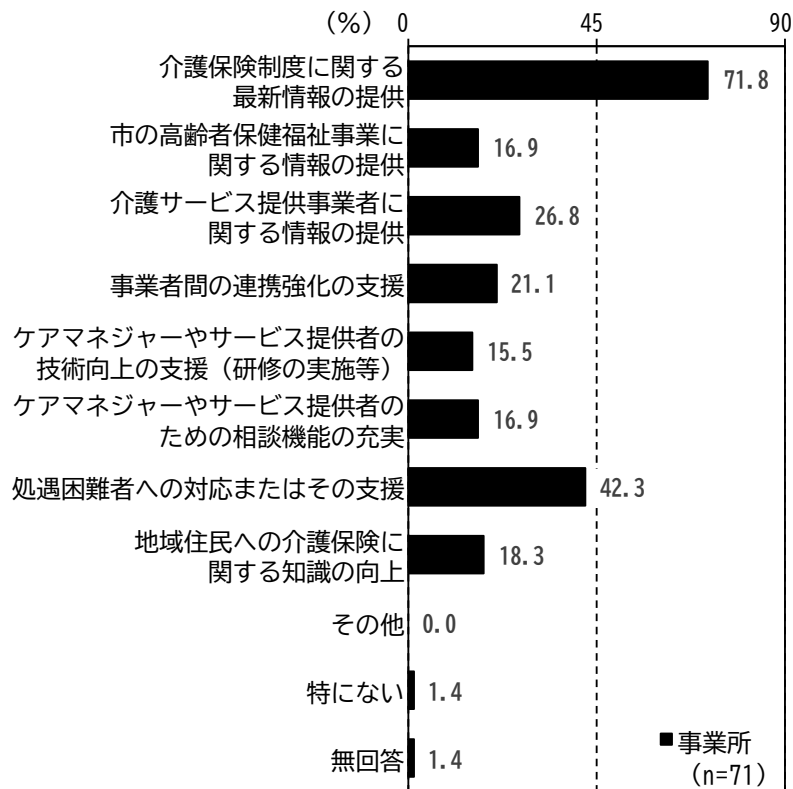
※経年比較

経年でみると、平成25年から令和2年にかけて、「高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換など」が年々高くなっています。また、「ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談」では、平成28年に比べて13.2ポイント高くなっています。



問 27 介護保険サービス事業を行う上で、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。（〇は3つまで）

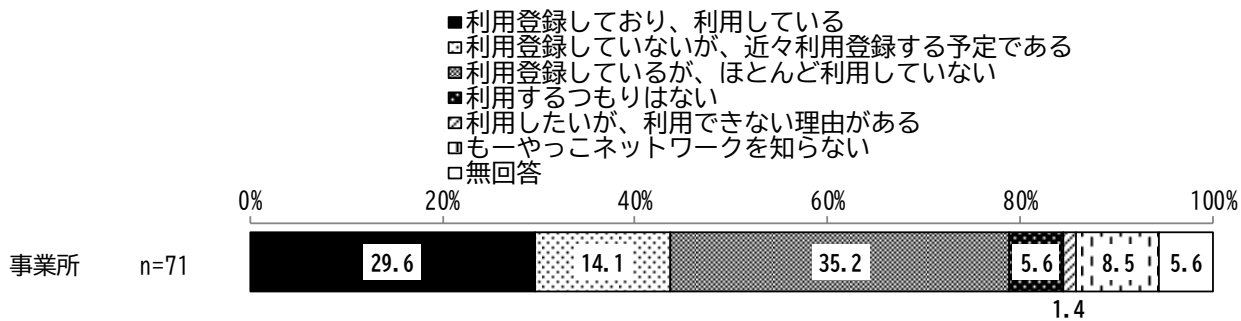
「介護保険制度に関する最新情報の提供」が71.8%と最も高く、次いで「処遇困難者への対応またはその支援」が42.3%、「介護サービス提供事業者に関する情報の提供」が26.8%となっています。



問 28 尾張旭市・瀬戸市の地域では、瀬戸旭医師会が中心となり、在宅医療・介護連携を推進するため、ICTを活用した電子連絡帳システム「もーやっこネットワーク」を活用した多職種間の情報連携の取組などを行っています。

貴事業所は、「もーやっこネットワーク」に利用登録していますか。（○は1つ）

「利用登録しているが、ほとんど利用していない」が35.2%と最も高く、次いで「利用登録しており、利用している」が29.6%、「利用登録していないが、近々利用登録する予定である」が14.1%となっています。



※問 28 で「利用登録しているが、ほとんど利用していない」「利用するつもりはない」「利用したいが、利用できない理由がある」と答えた方

問 28－1 理由をお聞かせください。（自由記述）

【利用する必要がない】（9件）

- ・共有すべき情報がない。
- ・施設ではあまり利用するケースがないと思う。
- ・主治医の先生をはじめ、利用者様、ケアマネ他、尾張旭・瀬戸外の方が多いため。
- ・利用機会がない。不便。
- ・利用者がいない。
- ・対象となる利用者がいない。
- ・現状、利用する方がターミナルに限られてしまっているため。
- ・利用者が少ないため、ほかの方法で連携をとっているため。
- ・利用してないが、情報連携で困ったことはない。

【利用する余裕がない】（2件）

- ・気にはなっているが、なかなか利用する時間がない。
- ・業務に追われて、確認を忘れてしまうことがある。

【その他】（6件）

- ・実際にも一やっこを使っているのは限られた施設や病院だけでは？ 小さな事業所ではやってないところが多い。使い方がわかりづらい。ドクターも一部の先生しか使ってない。
- ・以前のことで、今はっきりわかるスタッフがいない。
- ・以前利用していたケースはありましたが、現在は活用しているケースがない状況。
- ・情報共有はできるが、系統的に手軽さがない。業務の簡素化とはならず、業務量の増加となる。
- ・ネットワークを立ち上げた後、登録してからの利用方法がわからず、そのままでしたらパスワードを忘れてしまった。
- ・利用にいたらない。

※問 28 で「もーやっこネットワークを知らない」と答えた方

問 28-2 もーやっこネットワークについて、担当者から話を聞いてみたいですか。
(○は1つ)

もーやっこネットワークを知らない (n=6) 方はいずれも「いいえ」と回答しています。

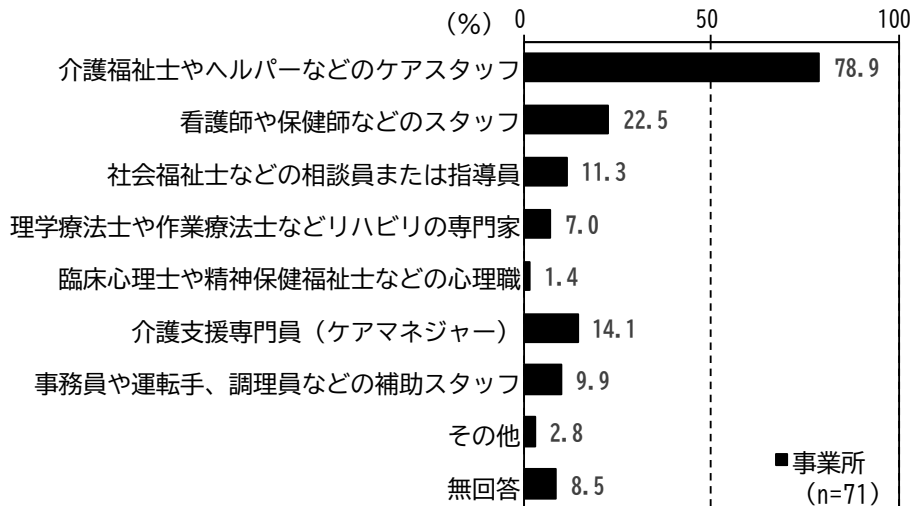
問 29 在宅医療・介護連携について、意見等があればご記入ください。(自由記述)

- ・継続してほしい。
- ・現行のシステムは良好に機能していると感じます。
- ・デイサービスからの医療者への情報は fax かメールで足りる。忙しい医師がわざわざネットワークを開いて個々の患者さんのチェックをする時間的余裕はないと思う。介護事業者と医療機関との情報共有はそれぞれの信頼関係で構築していくしかないと思う。
- ・登録の仕方がわからない。
- ・ドクターと看護師、ケアマネにとっては利用できると思いますが、サービス事業者は特に入らなくてもいいと思う。
- ・昔よりは認識にずれは少なくなったが、そもそも医療と介護では役割が違う。その違いを医療が理解されてないこともある。(補助ではない) さらにそもそも医療はあまり求めてない。
- ・もーやっこに参加されていない事業所があるため、ケアマネとして別の方法での連絡が必要であり、不便を感じることもある。
- ・利用する事業所が限られている。ケアマネジャーが率先して利用すれば、利用事業所が増えると思います。
- ・利用登録前ゆえ具体的意見なし。

7 今後の介護サービスについて

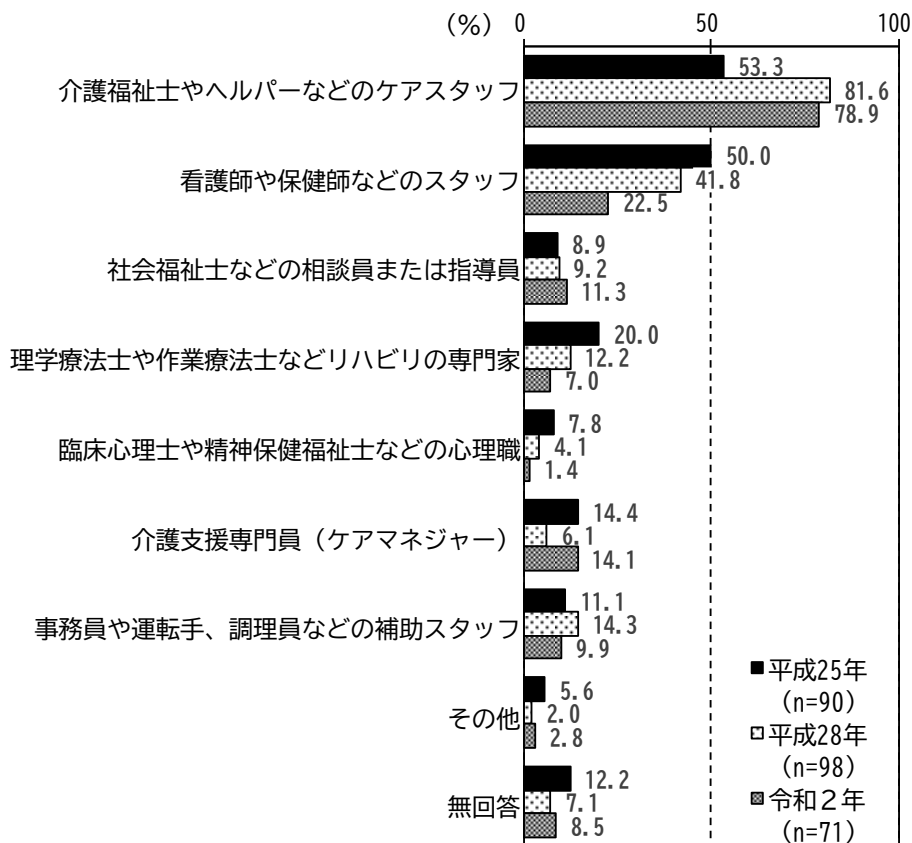
問 30 現在不足していると思われる人材はどんな職種ですか。(〇は3つまで)

「介護福祉士やヘルパーなどのケアスタッフ」が78.9%と最も高く、次いで「看護師や保健師などのスタッフ」が22.5%となっています。



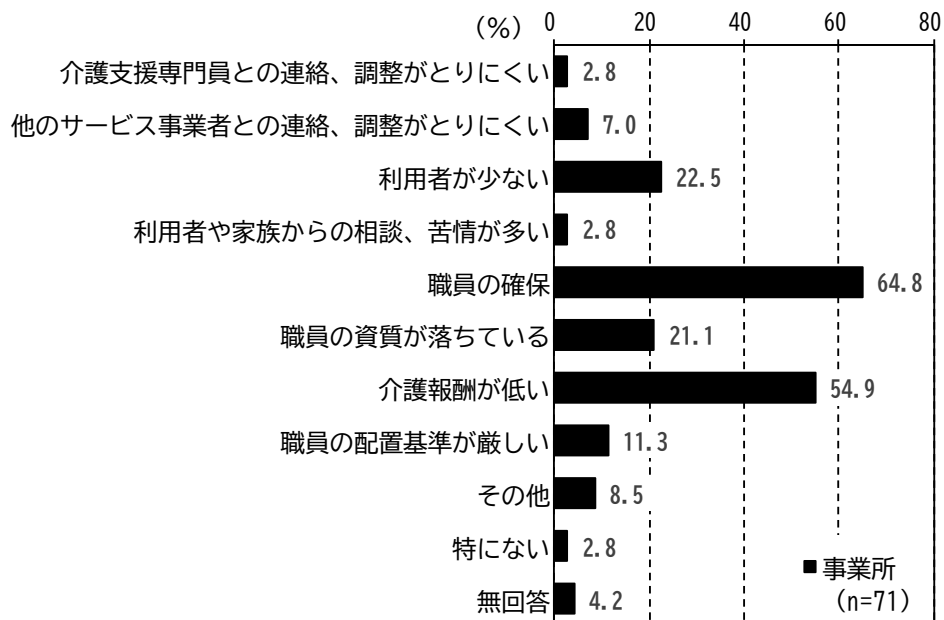
※経年比較

経年でみると、平成25年から令和2年にかけて、「看護師や保健師などのスタッフ」と「理学療法士や作業療法士などリハビリの専門家」と「臨床心理士や精神保健福祉士などの心理職」が年々低くなっています。



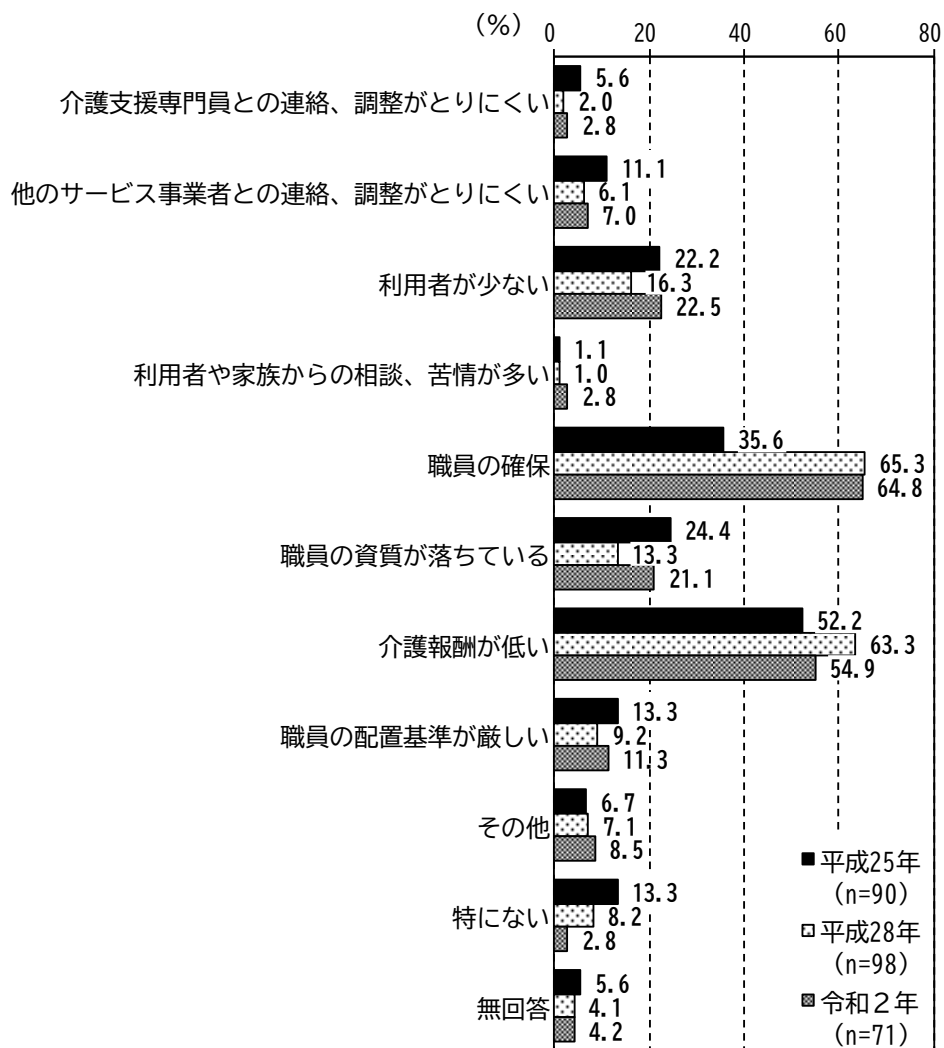
問 31 介護保険に関わる事業者として、問題点として感じていることは何ですか。
(〇は3つまで)

「職員の確保」が64.8%と最も高く、次いで「介護報酬が低い」が54.9%、「利用者が少ない」が22.5%、「職員の資質が落ちている」が21.1%となっています。



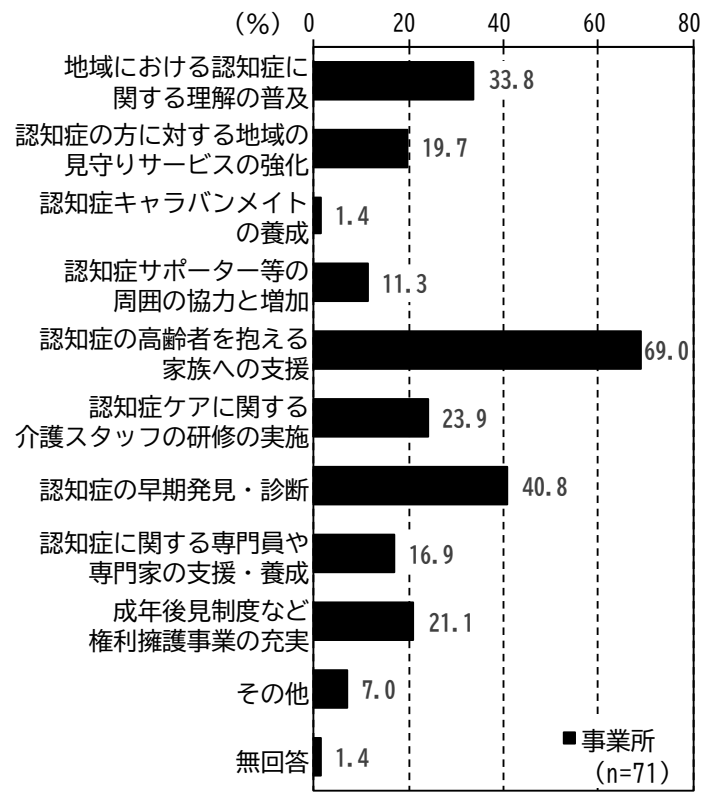
※経年比較

経年でみると、平成28年と比べて「職員の資質が落ちている」が7.8ポイント、「利用者が少ない」が6.2ポイント高くなっています。



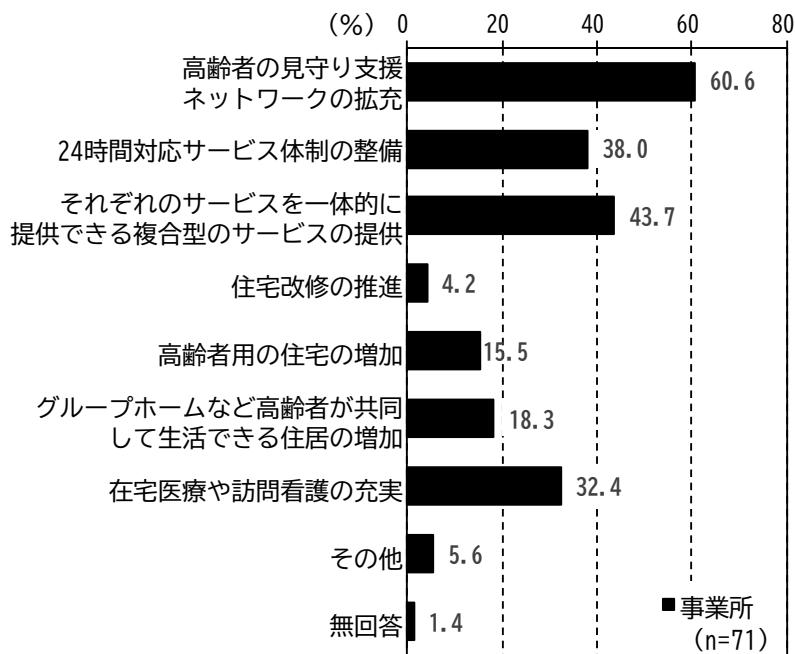
問 32 貴事業所では、認知症の高齢者に関してどのような施策が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

「認知症の高齢者を抱える家族への支援」が69.0%と最も高く、次いで「認知症の早期発見・診断」が40.8%、「地域における認知症に関する理解の普及」が33.8%となっています。



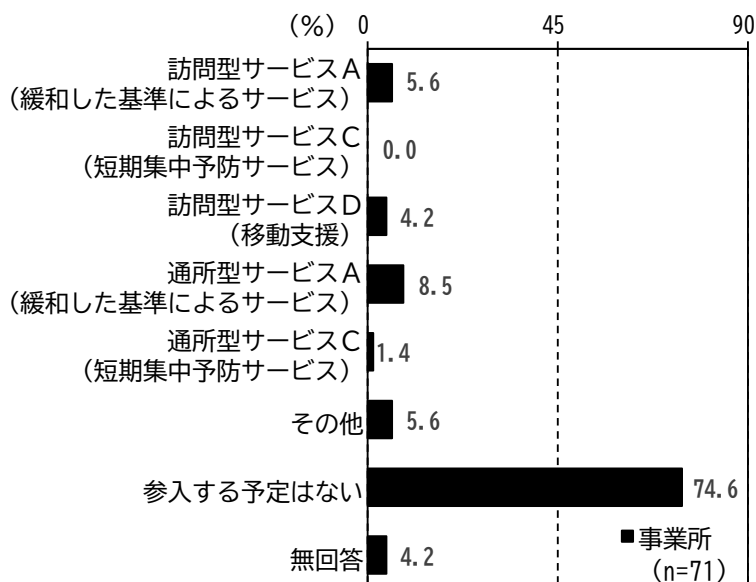
問 33 貴事業所では、要介護認定者が居宅や地域での生活を続けるために、どのような点の改善が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「高齢者の見守り支援ネットワークの拡充」が60.6%と最も高く、次いで「それぞれのサービスを一体的に提供できる複合型のサービスの提供」が43.7%、「24時間対応サービス体制の整備」が38.0%、「在宅医療や訪問看護の充実」が32.4%となっています。



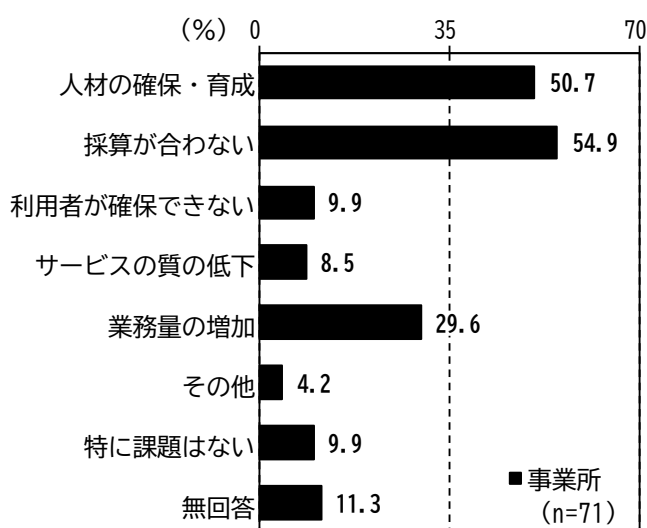
問 34 今後、介護予防・日常生活支援総合事業の緩和サービス、短期集中予防サービスに参入する意向があるものはどれですか。（〇はいくつでも）

「参入する予定はない」が74.6%と最も高く、次いで「通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）」が8.5%となっています。



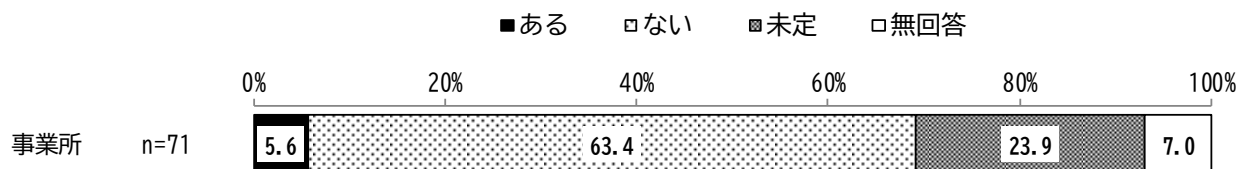
問 35 介護予防・日常生活支援総合事業の緩和サービス、短期集中予防サービスへの参入にあたっての課題は何ですか。（〇はいくつでも）

「採算が合わない」が54.9%と最も高く、次いで「人材の確保・育成」が50.7%、「業務量の増加」が29.6%となっています。



問 36 本市では、認知症高齢者や家族を支援するため、認知症カフェの開設を進めています。認知症カフェ開設の意向はありますか。（○は1つ）

「ある」が5.6%、「ない」が63.4%、「未定」が23.9%となっています。



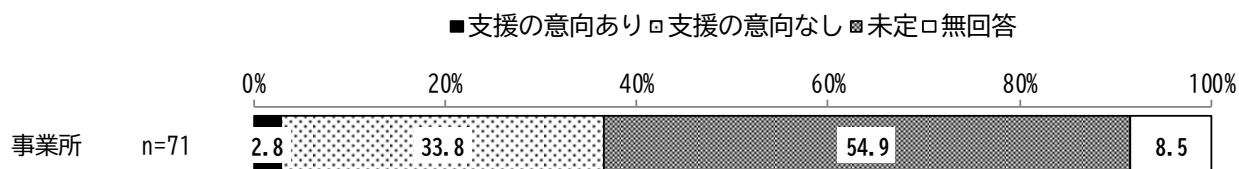
※問 36 で「ある」と答えた方

問 36-1 認知症カフェについて、担当者から話を聞いてみたいですか。（○は1つ）

認知症カフェ開設意向あり（n=4）の方の75.0%が「はい」と回答しています。

問 37 本市では、認知症サポーターの養成に取り組んでいますが、サポーター養成講座の運営を貴事業所にお手伝いいただくことはできますか。（○は1つ）

「支援の意向あり」が2.8%、「支援の意向なし」が33.8%、「未定」が54.9%となっています。



※問 37 で「支援の意向あり」と答えた方

問 37-1 サポーター養成について、条件や課題がありましたら記入してください。

- ・カフェやサポーターについて興味はあります。どんな運営なのか、何をやるのか少し話は聞いてみたいです。
- ・時間の確保。
- ・どんな支援が必要かが不明なので答えようがない。

問 37-2 認知症サポーター養成について、担当者から話を聞いてみたいですか。（○は1つ）

支援意向あり（n=2）の方の回答はありませんでした。

V 介護支援専門員調査結果

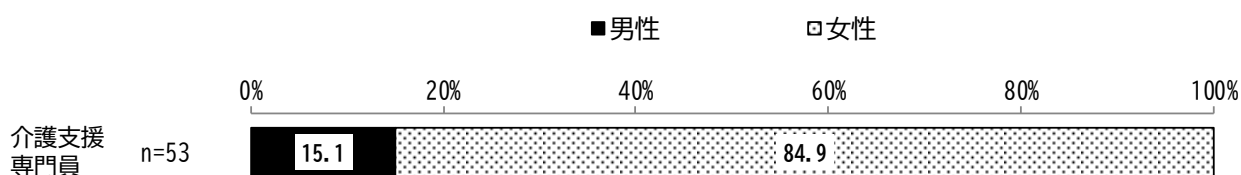
1 調査対象者の年齢や性別、勤務形態などについて

問1 あなたの性別・介護支援専門員に従事した年数・年齢についてお答えください。

①性別

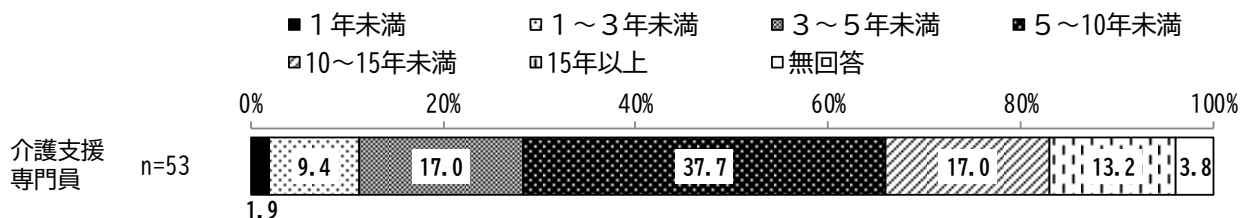
※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。

「男性」が15.1%、「女性」が84.9%となっています。



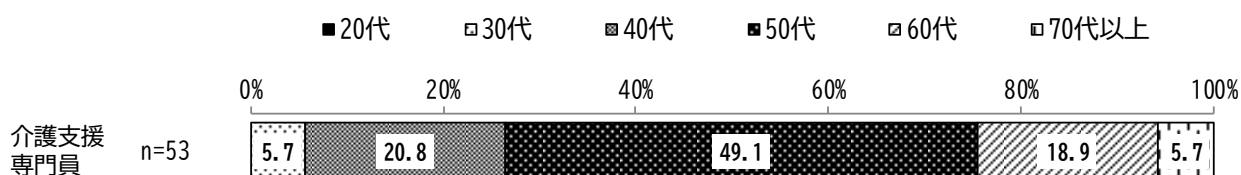
②介護支援専門員として従事した年数（数字を記入）

「5～10年未満」が37.7%と最も高く、次いで「3～5年未満」「10～15年未満」がともに17.0%となっています。



③年齢（○は1つ）

「50代」が49.1%と最も高く、次いで「40代」が20.8%、「60代」が18.9%となっています。

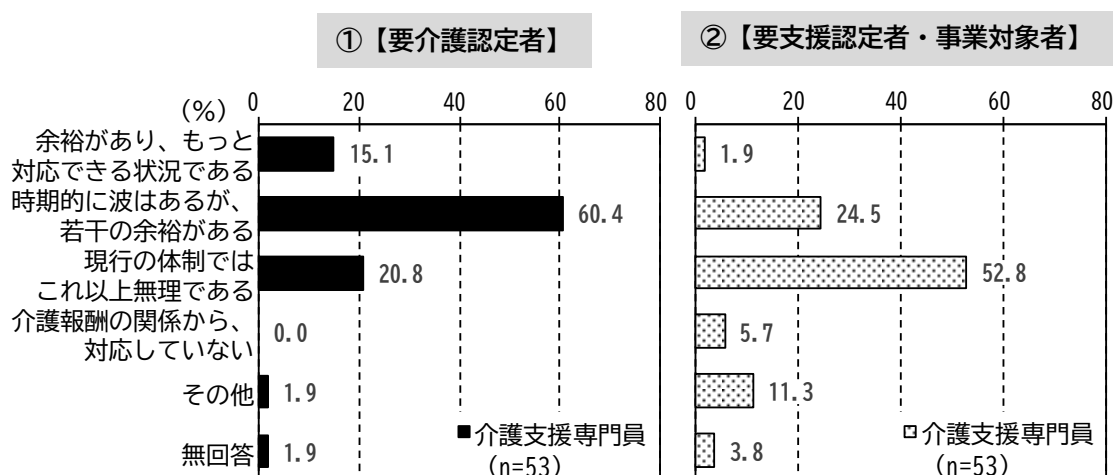


2 ケアマネジメントについて

問2 要介護認定者及び要支援認定者・事業対象者の方のケアプラン（介護予防ケアマネジメントを含む。）の作成について、あなたが勤務する事業所の受入れの状況はどうですか。（それぞれに該当する数字を記入）

①要介護認定者では、「時期的に波はあるが、若干の余裕がある」が60.4%と最も高く、次いで「現行の体制ではこれ以上無理である」が20.8%となっています。

②要支援認定者・事業対象者では、「現行の体制ではこれ以上無理である」が52.8%と最も高く、次いで「時期的に波はあるが、若干の余裕がある」が24.5%となっています。

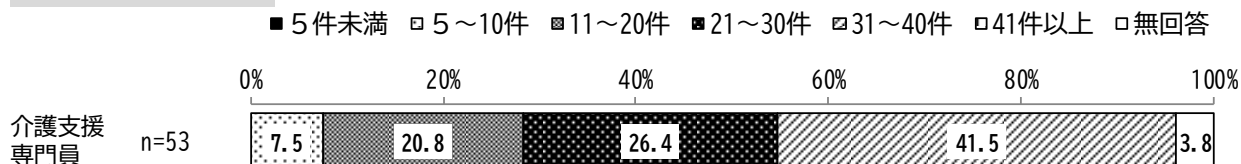


問3 令和2年2月1日現在、あなたはケアプランの作成を何人担当していますか。
(それぞれ数字を記入)

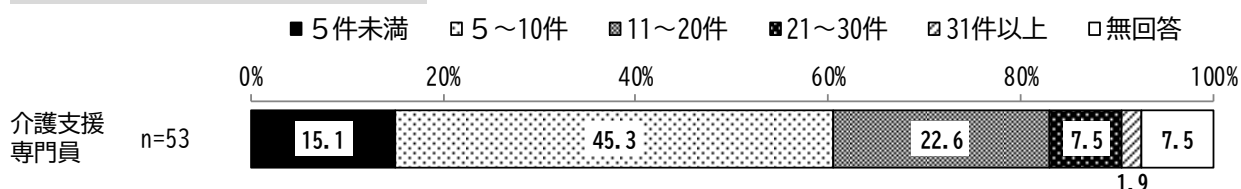
①要介護認定者では、「31～40件」が41.5%と最も高く、次いで「21～30件」が26.4%となっています。

②要支援認定者・事業対象者では、「5～10件」が45.3%と最も高く、次いで「11～20件」が22.6%となっています。

①【要介護認定者】

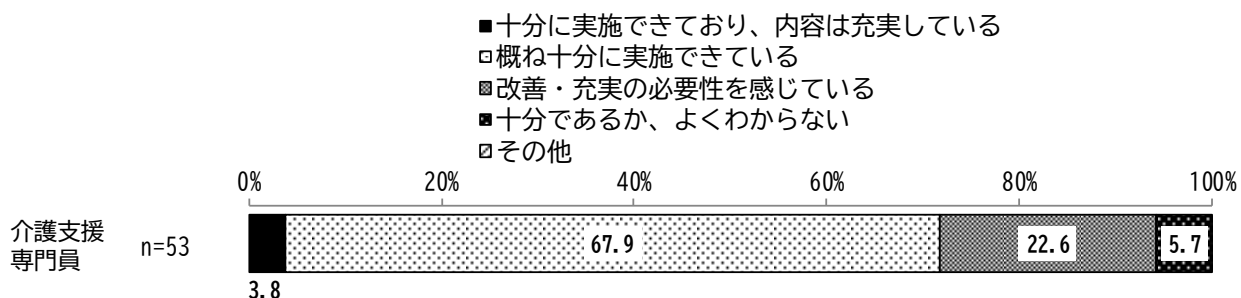


②【要支援認定者・事業対象者】



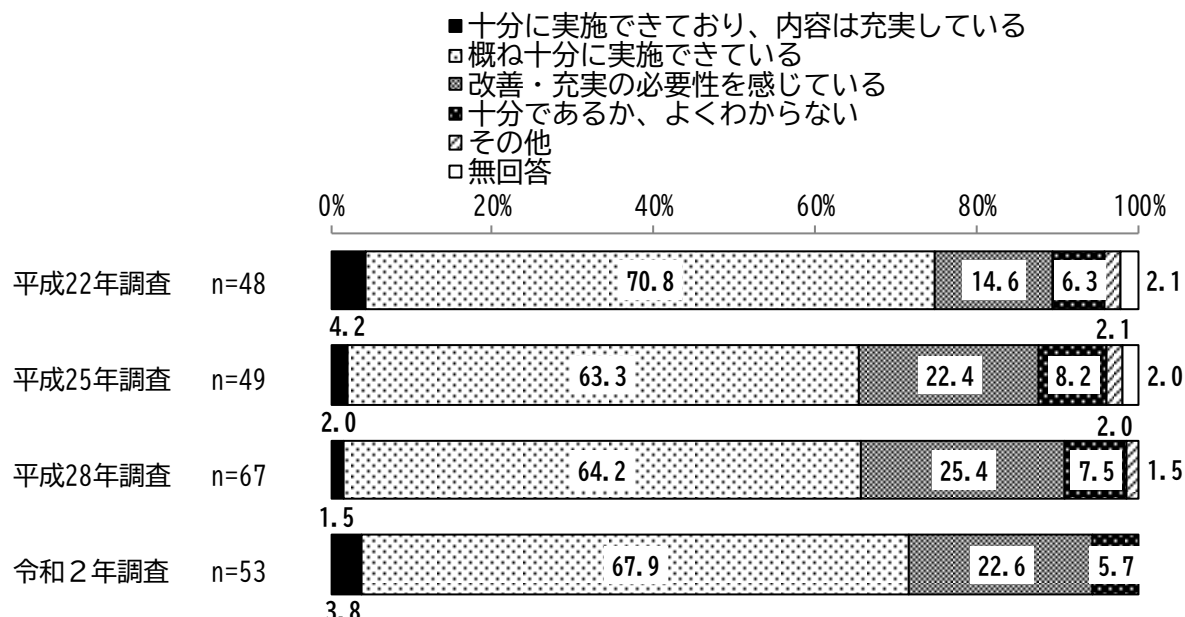
問4 あなたは、課題分析（アセスメント）について、十分に実施できていますか。
(○は1つ)

「概ね十分に実施できている」が67.9%と最も高く、次いで「改善・充実の必要性を感じている」が22.6%となっています。



※経年比較

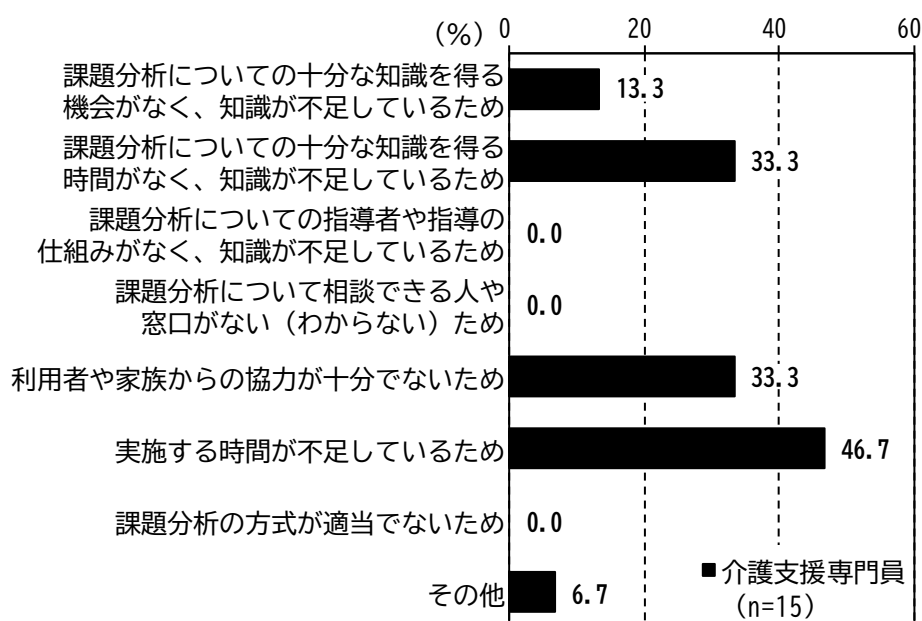
経年でみると、平成25年以降、「改善・充実の必要性を感じている」が2割台で推移しています。



※問4で「改善・充実の必要性を感じている」「十分であるか、よくわからない」「その他」と答えた方

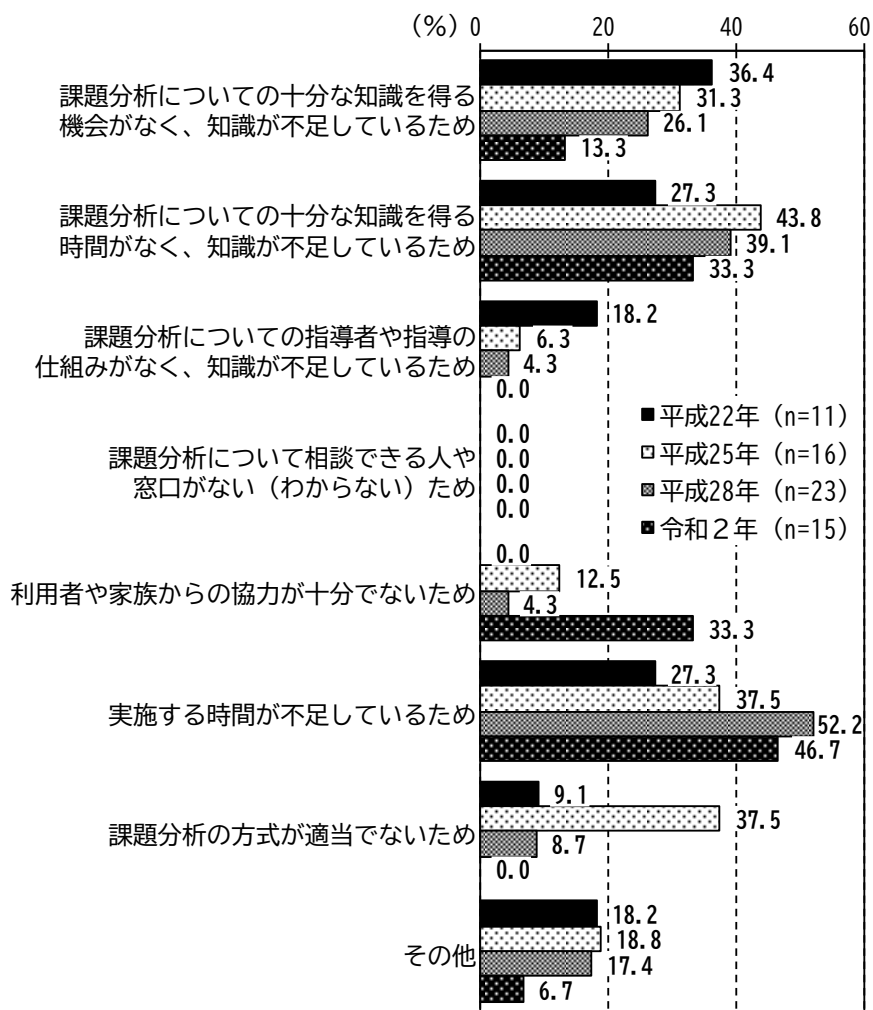
問4-1 十分に実施できない理由や原因は何ですか。(〇はいくつでも)

「実施する時間が不足しているため」が46.7%と最も高く、次いで「課題分析についての十分な知識を得る時間がなく、知識が不足しているため」「利用者や家族からの協力が十分でないため」がともに33.3%となっています。



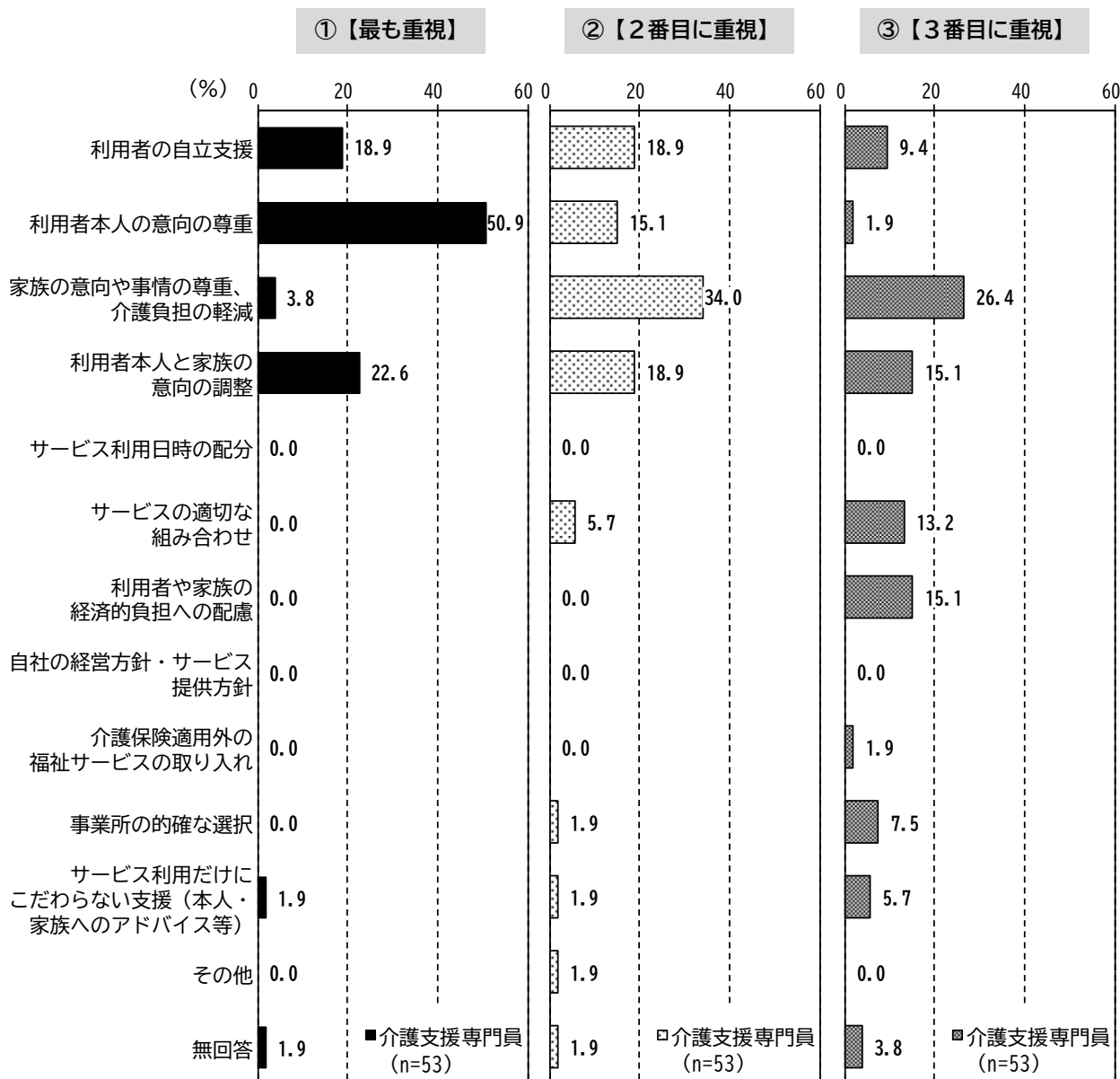
※経年比較

経年でみると、平成 22 年から令和 2 年にかけて、「利用者や家族からの協力が十分でないため」が大きく増加しています。



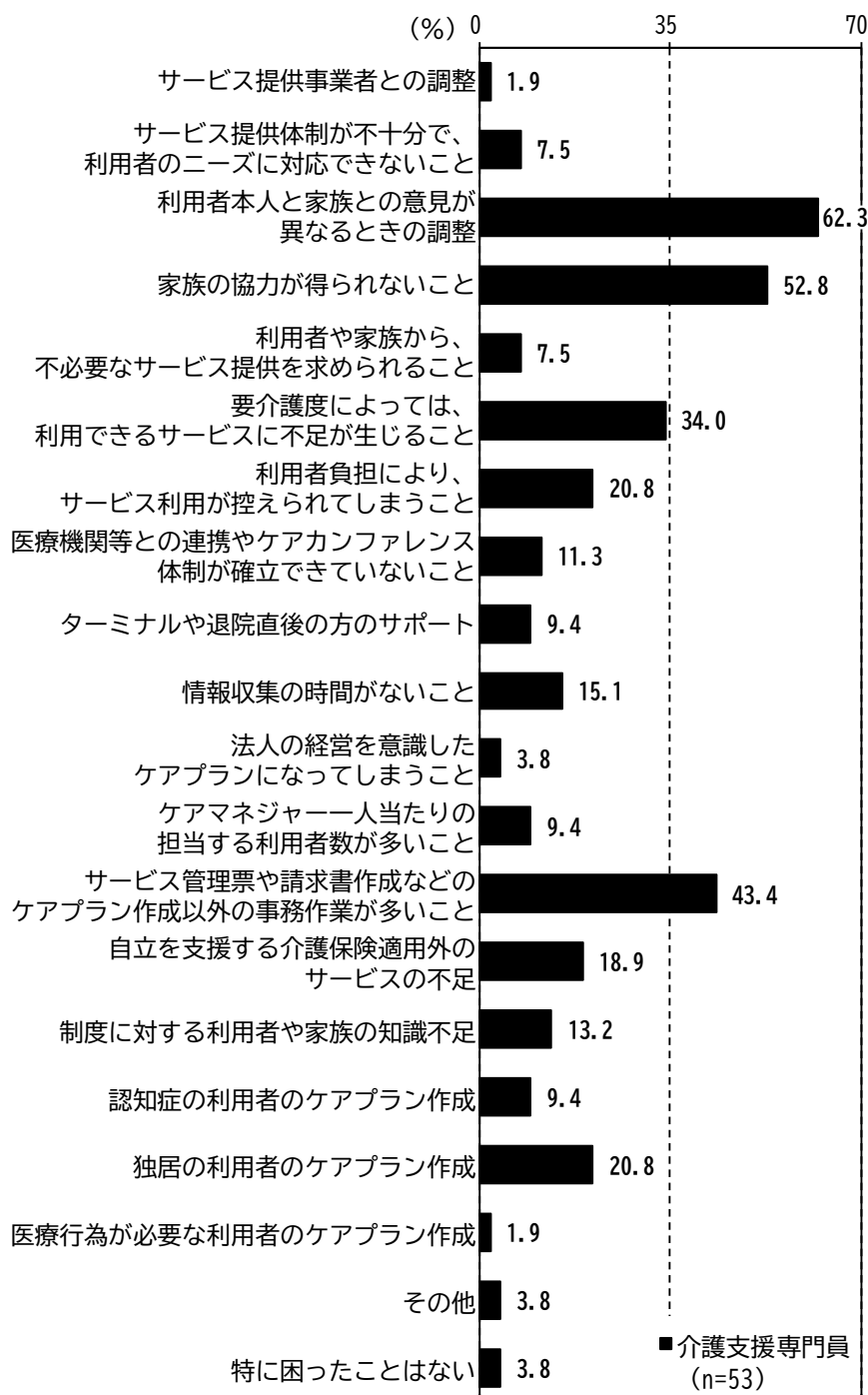
問5 あなたがケアプラン作成に際し重視していることは何ですか。最も重視していることから順に3つまで選んでください。（それぞれに該当する数字を記入）

最も重視していることは、「利用者本人の意向の尊重」が50.9%と最も高く、次いで「利用者本人と家族の意向の調整」が22.6%となっています。また、2番目及び3番目に重視していることは、いずれも「家族の意向や事情の尊重、介護負担の軽減」が最も高くなっています。



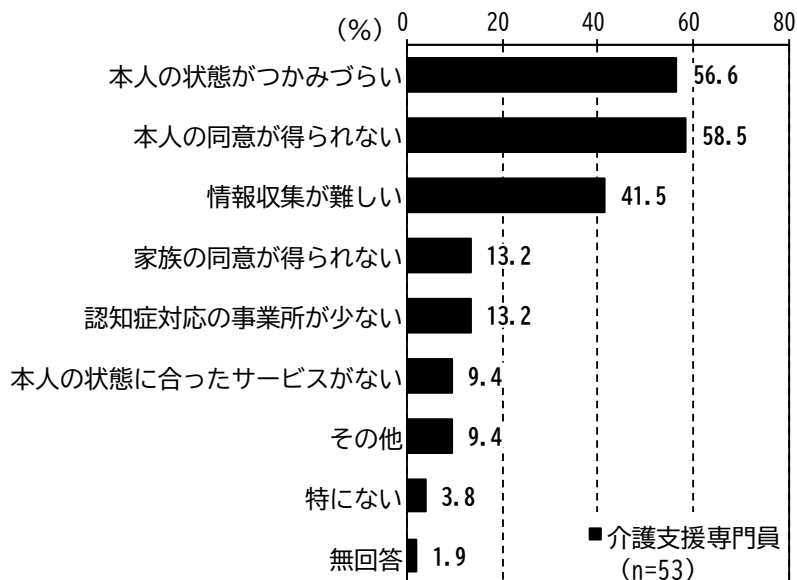
問6 ケアプラン作成に際し、困っていることはありますか。(〇は5つまで)

「利用者本人と家族との意見が異なるときの調整」が62.3%と最も高く、次いで「家族の協力が得られないこと」が52.8%、「サービス管理票や請求書作成などのケアプラン作成以外の事務作業が多いこと」が43.4%、「要介護度によっては、利用できるサービスに不足が生じること」が34.0%となっています。



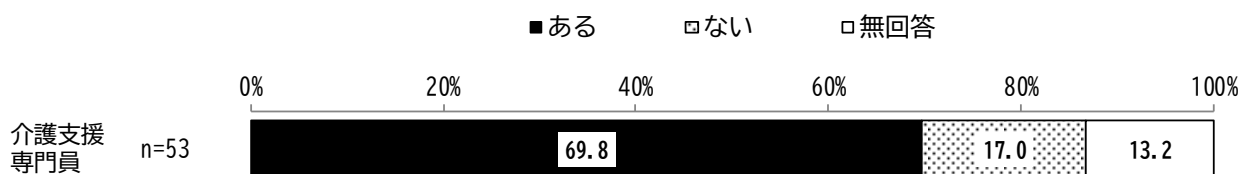
問7 認知症である利用者について、ケアプランを作成する際に困難だと思われることは何ですか。（〇はいくつでも）

「本人の同意が得られない」が58.5%と最も高く、次いで「本人の状態がつかみづらい」が56.6%、「情報収集が難しい」が41.5%となっています。



問8 利用者や家族への対応で苦慮したことはありますか。（いずれかに〇）

「ある」が69.8%、「ない」が17.0%となっています。



※問8で「ある」と答えた方

問8－1 どのようなことで苦慮しましたか。（自由記述）

【家族との連携】（12件）

- ・中々連絡が取れない（家族と）。
- ・認々介護で兄弟も逃げてしまっている。
- ・連絡がつかない。
- ・家族と話したいのに電話もメールも返事がなく家族の協力が得られない。
- ・有料老人ホームに入居している方の家族は施設に任せきりの人が多く話ができない。
- ・主介護者が不在（子供がいても決まらない）。
- ・自宅訪問を拒まれるご家庭があります。アセスメント、モニタリング時に説明がとても大変です。
- ・キーパーソンになる人が1人ではなく、配偶者や娘さんなど複数の方に報告、意向を聞いてまとめるのが大変。
- ・普段ほったらかしなのに要求は多く、お金は出したがらなく、待てないご家族に関わるとケアマネは疲弊します。
- ・家族の意見がバラバラ。財産について。
- ・往診を提案したら断られたが、急に頼まれた。
- ・キーパーソンが決まらずご家族様の意見をまとめることが難しく、サービスの利用がスムーズに進めることができなかった。

【誤った認識】（6件）

- ・「他のケアマネはやってくれた」とできないこともやって当然と思っていること。他からの誤った情報を鵜呑みにして、こちらの説明は信じてくれない。
- ・介護保険を何でもやってくれると思込み、説明を聞き入れようとしない。
- ・介護保険利用にあたり、仕組みを理解できず（しようとしな）自身のやって欲しいことのみ先行する。
- ・ケアマネは何でも知っている（介護保険外のことも）と思っている。市役所からの手紙や難しい内容の手紙やハガキが届くと必ず呼び出される。
- ・介護保険制度の誤った認識（未だにお手伝いさんの的だったり、費用的なことだったり…）。
- ・ケアマネの職域以外のことを頼まれること。依存が強い。

【理解が得られない】（5件）

- ・介護保険制度への理解が得られない。（例）月1回以上のモニタリング訪問を嫌がり玄関先でのモニタリングで対応したりと十分な評価ができない。
- ・病識への理解が得られにくい。
- ・家族の理解不足。認識不足。
- ・独居利用者で認知症が進行しているため、お風呂に入ることができずデイサービスをW1回から増やしたいと考えているが、長男（キーパーソン）が増やすことを承諾してくれない。
- ・介護保険制度で決まっている内容に納得がいけないと怒られたことがある。例えば、福祉用具の設定料金が高すぎる！！と、サービス担当者会議や訪問も必要がないと言われた過去があります（説明をし、しぶしぶ納得されました）。

【利用者本人と家族の関係】（4件）

- ・利用者と家族の間で、意見や希望が対立している。
- ・不仲で間に入る形になる。
- ・家族が本人の気持ちを汲まない。
- ・利用者と家族の意見の違いや理解力不足。

【認知症】（4件）

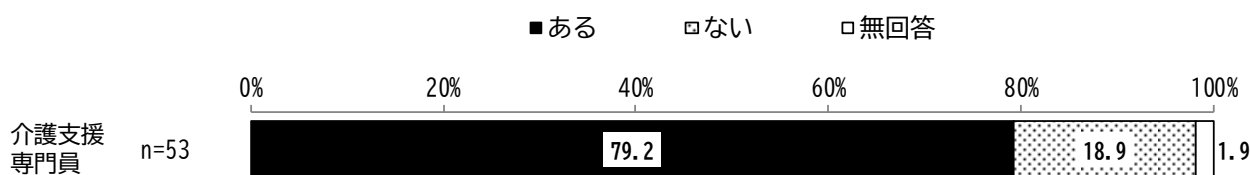
- ・認知症中期以降の方でケアプランの理解が充分でないと思っても署名をもらうことへの抵抗感その他沢山あります。
- ・認知症、独居の利用者に訪問の度に理不尽なことで怒鳴り散らされ心が折れた。
- ・認知症状による被害妄想が大きく、訪問系サービスを利用しても犯人扱いされ中止になる。家族が精神疾患で易怒性。
- ・夫婦ともに高齢、認知症あり、家族の訪問があまりない。対面で話している時は了承されているが、後々、考え方が変わってこまる。

【その他】（13件）

- ・暴言、罵声、脅し、無理難題の要求。主介護者に障害があり、理解ができない。
- ・人格障害のある利用者の対応。
- ・金銭問題。
- ・利用者、利用者家族に対しての言葉遣いで相手を不愉快にさせてしまった。
- ・常識的な欠如（本人、家族）。
- ・意見が合わない。
- ・家族に疾患があり、ご本人への対応が。
- ・経済的困難者、家族の協力体制が少ない。放任。
- ・状況が色んな利用者さんがいるため、必要と思われるサービスが提供できない。
- ・本人の自立した生活にケアマネとして必要と思うサービスが提供できず。転倒リスクが高くなり、不便さが継続する時、対応に苦慮する。
- ・月～土まで仕事をしているため、認定調査のために仕事を休まなくてはならないのかと言われた。制度上のことで苦慮しました。
- ・トイレ介助が1時間以内にある時などサービスで夜間帯でも対応するように言われる時等。
- ・独居で圧迫骨折を発症され、リハビリを施行するが改善しなくて自宅生活は無理とPTも相談員も言うが、本人は「家に帰る」家族も施設入居を考えるがどうしても「帰る」と言う。ヘルパーを毎日利用して自宅生活となる。

問9 サービス提供事業者からサービス提供を拒否されたことはありますか。(いずれかに○)

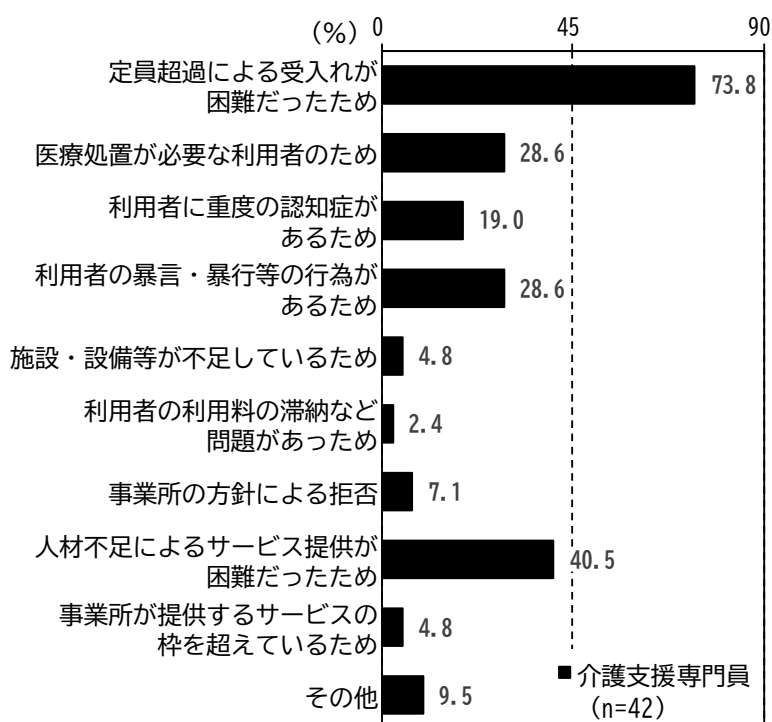
「ある」が79.2%、「ない」が18.9%となっています。



※問9で「ある」と答えた方

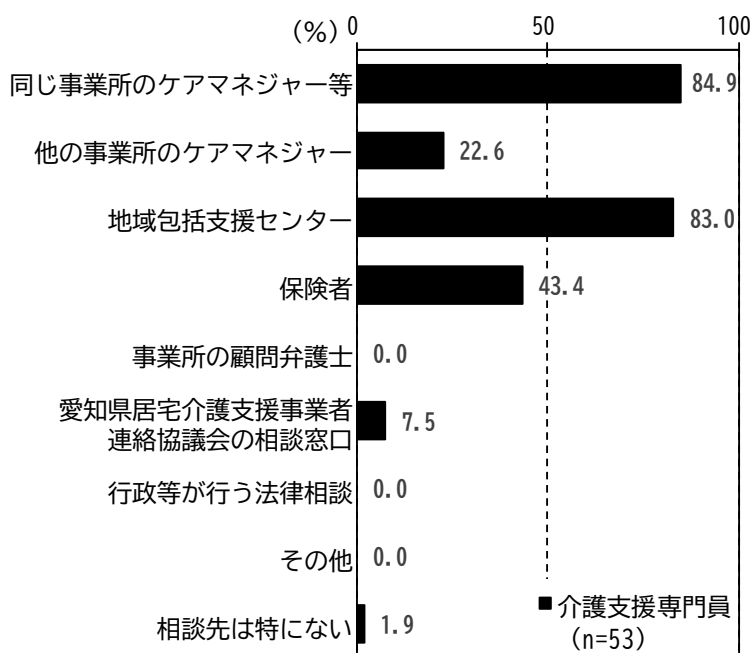
問9-1 その理由を教えてください。(○はいくつでも)

「定員超過による受入れが困難だったため」が73.8%と最も高く、次いで「人材不足によるサービス提供が困難だったため」が40.5%、「医療処置が必要な利用者のため」「利用者の暴言・暴行等の行為があるため」がともに28.6%となっています。



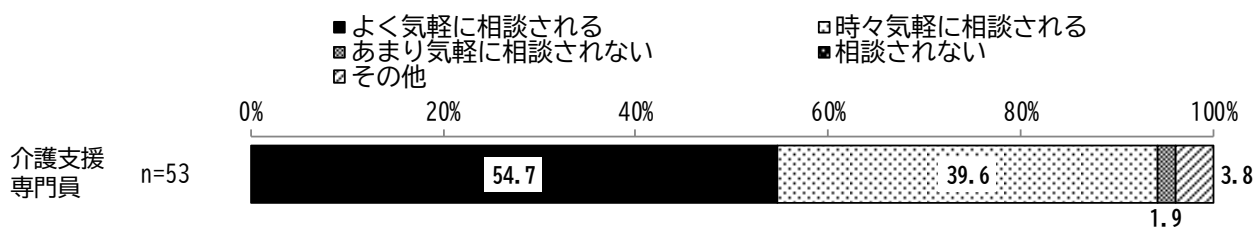
問 10 ケアマネジャーとして困ったときの相談先はどこ（誰）ですか。（○はいくつでも）

「同じ事業所のケアマネジャー等」が 84.9%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 83.0%、「保険者」が 43.4%となっています。



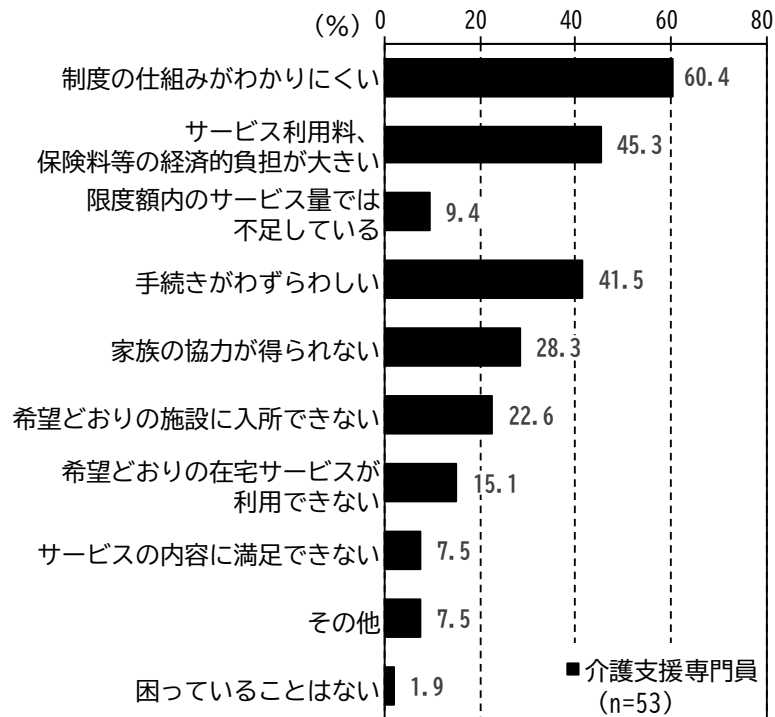
問 11 利用者や家族から気軽に相談されますか。（○は1つ）

「よく気軽に相談される」が 54.7%と最も高く、次いで「時々気軽に相談される」が 39.6%であり、合わせた『気軽に相談される』は 94.3%となっています。



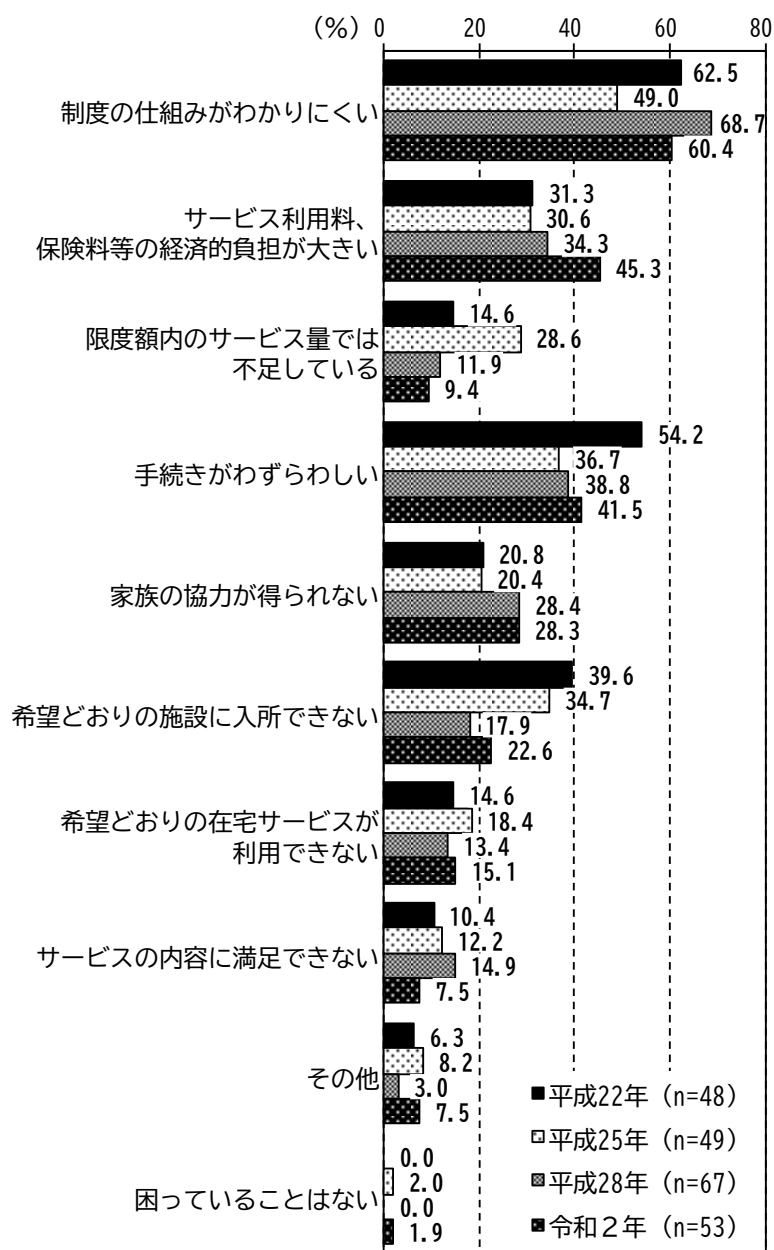
問 12 あなたがケアマネジメントをしている中で、利用者が困っていることは何だと思えますか。(〇は3つまで)

「制度の仕組みがわかりにくい」が60.4%と最も高く、次いで「サービス利用料、保険料等の経済的負担が大きい」が45.3%、「手続きがわずらわしい」が41.5%となっています。



※経年比較

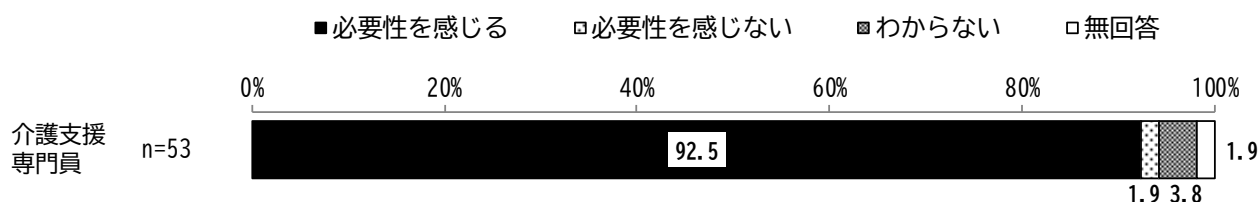
経年でみると、平成22年から令和2年にかけて、「サービス利用料、保険料等の経済負担が大きい」が高くなっています。



3 医療機関との連携について

問 13 あなたは、医療と介護の連携の必要性を感じますか。（○は1つ）

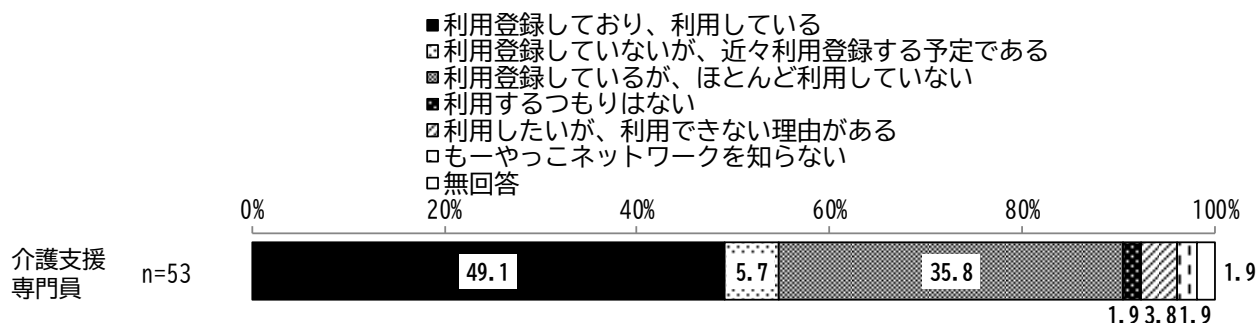
「必要性を感じる」が92.5%となっています。



問 14 尾張旭市・瀬戸市の地域では、瀬戸旭医師会が中心となり、在宅医療・介護連携を推進するため、ICTを活用した電子連絡帳システム「もーやっこネットワーク」を活用した多職種間の情報連携の取組などを行っています。

あなたは、「もーやっこネットワーク」に利用登録していますか。（○は1つ）

「利用登録しており、利用している」が49.1%と最も高く、次いで「利用登録しているが、ほとんど利用していない」が35.8%となっています。



※問 14 で「利用登録しているが、ほとんど利用していない」「利用するつもりはない」「利用したいが、利用できない理由がある」と答えた方

問 14-1 理由をお聞かせください。（自由記述）

【必要とする利用者がいない】（7件）

- ・現状、利用者様の活用が無いため。
- ・もーやっこを利用している担当の方がいない。
- ・これまで7名程利用しているが、現在は医療依存度の高い在宅の利用者がいない。
- ・もーやっこを使うほど重度な利用者がいない（ほぼターミナルに限られているため）。
- ・今、必要とする利用者さんがいないため。
- ・もーやっこを利用する利用者さんがいない。
- ・もーやっこで連携を取るまでの身体状況ではない人が多いため。

【他の方法で連携をとっている】（6件）

- ・利用しなくても、連携できている。
- ・電話等で連絡がとれているため。
- ・ケースワーカーとよく情報共有できているのであまり気にならない。
- ・電話やFAXの方が連絡が早くできるため。
- ・医療的な処置があり、Dr.と訪問看護さんとのやり取りがあり（ターミナル、床ずれ等）他のサービスとの情報共有が必要な場合に限られるため、通常はDr.とはケアプランを添えて書面で連携行っている。
- ・知り合いの医師、看護師、その他専門分野に直接相談している。

【医師の対応】（2件）

- ・医療依存度の高い人は「もーやっこネットワーク」がとても有効活用できていると思います。医師により温度差があり理解に苦しむ言動をされる医師がいて悲しい。
- ・主治医とのコミュニケーション連携が難しい。Dr.に応じて協力が得られないことがある。

【利用方法がわからない】（2件）

- ・まだ利用の方法が分かっていない。
- ・使い方がわからずDr.とのやりとりをする自信ない。

【その他】（7件）

- ・利用の機会が無い。
- ・システムダウンロードが会社PCに困難のため。
- ・事業所のパソコン1台に接続してあり、そのパソコンの空いている時にしか見られないし、現担当している利用者で医療との連携をしている人がいない。
- ・ターミナルの方で医師・訪看等、連携が必要な時は利用している。
- ・自分の業務がいっぱいでゆとりがない。
- ・利用することがない。
- ・もーやっこに連絡事項を載せても相手方が見ていなかったり、回答が遅いときあり。電話やFAXの方が連絡が早いときがあるため。

※問 14 で「もーやっこネットワークを知らない」と答えた方

問 14-2 もーやっこネットワークについて、担当者から話を聞いてみたいですか。
(いずれかに○)

もーやっこネットワークを知らない (n=1) 方は「はい」と回答しています。

問 15 在宅医療・介護連携について、意見等があればご記入ください。(自由記述)

- ・医療側との連携においては正直尻込みする部分があります(自分の知識不足や報告能力の無さから)。しかし、今後も臆せず勉強をしながら連携に努めます。
- ・介護側が求める連携と医療側の考える連携に決定的な違いを感じる。
- ・医療と介護を両方必要とする状態の高齢者が増え、今度も連携が大切となると思います。特に看取り、病気が難しい方は訪問看護の事業所のケアマネがプランを立てると、無駄もなく速い対応が可能になると思います(看取りは、在宅医と訪看の間で対応が行われ、今後もケアマネの対応が難しい)。
- ・認定調査の主治医意見書の内容が薄かったり、何年も同じ内容だったり、介護認定に反映する重要な資料となっていないのでは…? と思います。アンケートでできるだけケアマネから伝えるようにしていますが…。
- ・私の中では医師にカンファに入ってもらうことがなかなかできない。声をかけづらい。
- ・利用していない事業者があるため、情報連携のためにその都度ケアマネが連絡している。
- ・以前より医師との連携が取りやすくなり相談もしやすくなっていると感じます。
- ・もーやっこに参加されていない事業者があるため、ケアマネとしては別の方法で連絡が必要であり、不便を感じることもある。医療との連絡が取りやすくなれば良いと思います。
- ・退院の際の医療との連携がスムーズにできない時がある(ワーカーさんの連携について)。
- ・病院の対応により異なる時があり。ケースワーカーさんの連携が取りにくい時がある。

4 高齢者虐待について

問 16 家庭内における高齢者虐待の事例を経験（担当）したことがありますか。
（いずれかに○）

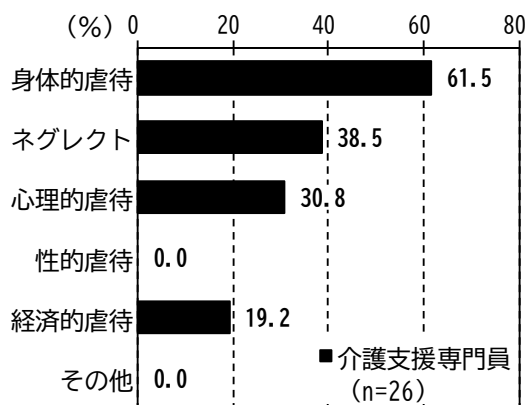
「ある」が49.1%、「ない」が50.9%となっています。



※問 16 で「ある」と答えた方

問 16-1 経験（担当）した虐待の疑われるケースはどのようなものですか。
（○はいくつでも）

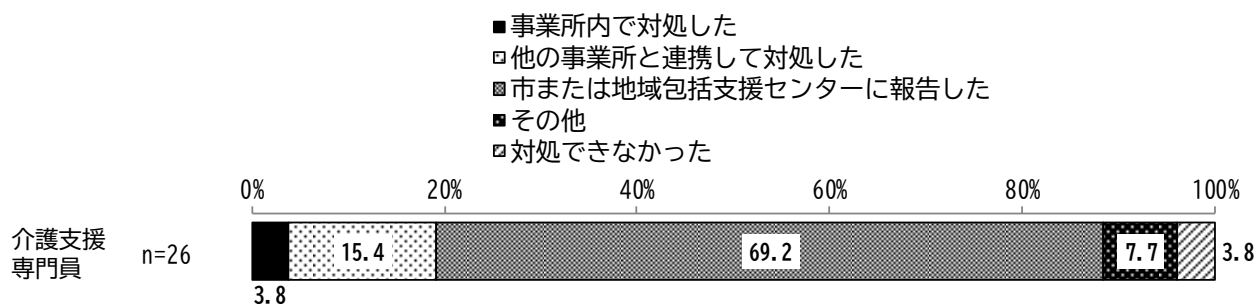
「身体的虐待」が61.5%と最も高く、次いで「ネグレクト」が38.5%、「心理的虐待」が30.8%となっています。



※問 16 で「ある」と答えた方

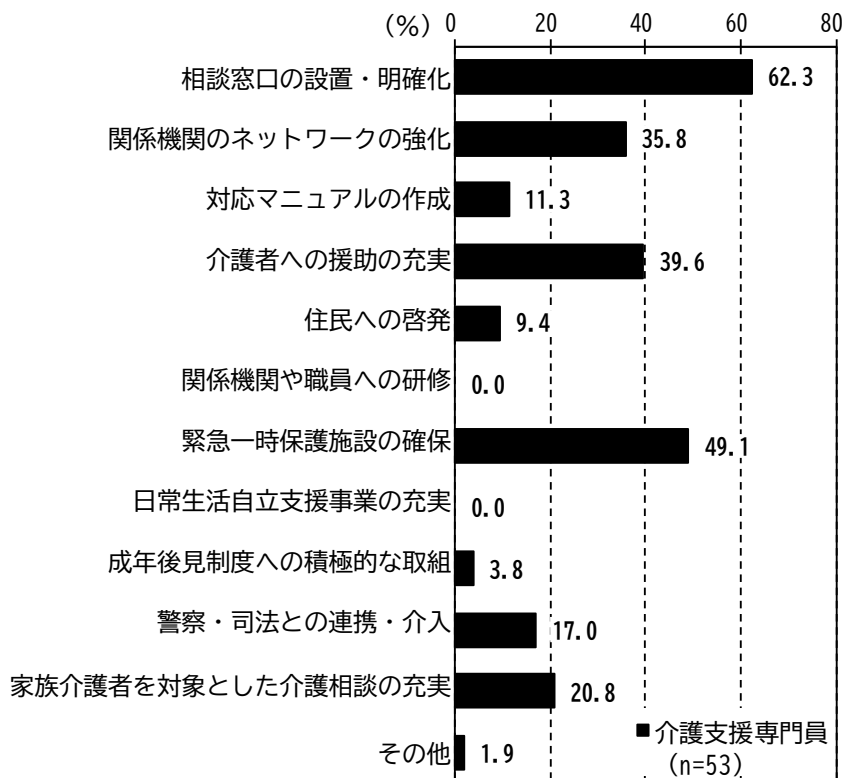
問 16-2 虐待の疑われる事例に関わったときには、どのような方法で対処しましたか。
(○は1つ)

「市または地域包括支援センターに報告した」が69.2%と最も高く、次いで「他の事業所と連携して対処した」が15.4%となっています。



問 17 高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。
(○は3つまで)

「相談窓口の設置・明確化」が62.3%と最も高く、次いで「緊急一時保護施設の確保」が49.1%、「介護者への援助の充実」が39.6%、「関係機関のネットワークの強化」が35.8%となっています。



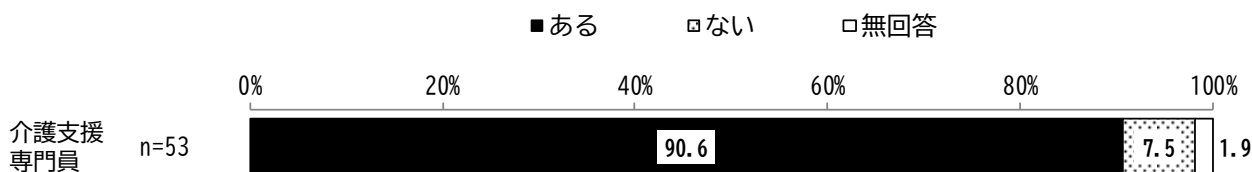
5 地域包括支援センターについて

問 18 あなたは、地域包括支援センターに相談をしたことがありますか。
(いずれかに○をし、その内容や理由であてはまるものすべてに○)

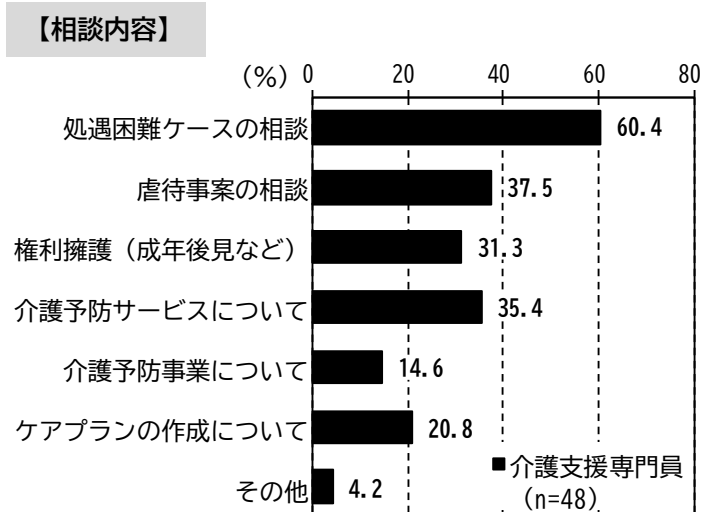
相談の有無は、「ある」が90.6%、「ない」が7.5%となっています。

相談内容は、「処遇困難ケースの相談」が60.4%と最も高く、次いで「虐待事案の相談」が37.5%となっています。

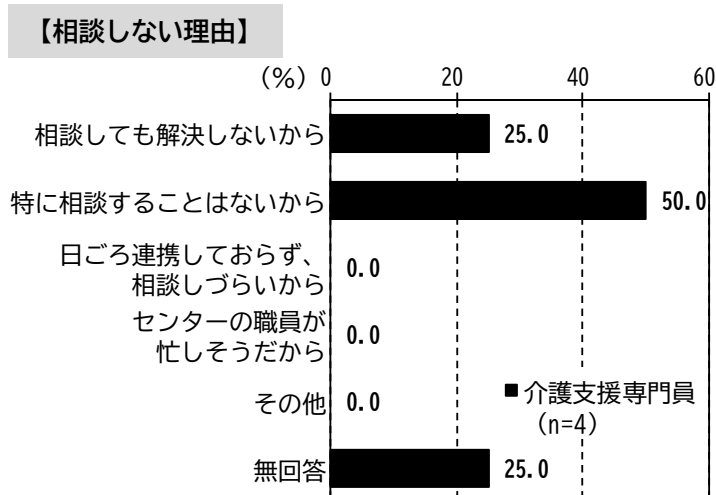
相談しない理由は、「特に相談することはないから」が50.0%と最も高くなっています。



※問 18 で「ある」と答えた方

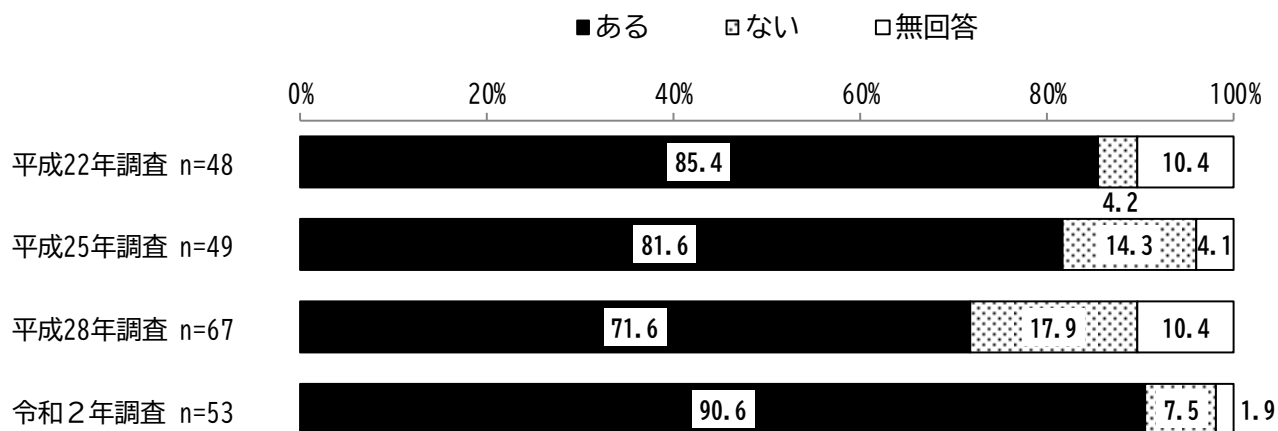


※問 18 で「ない」と答えた方



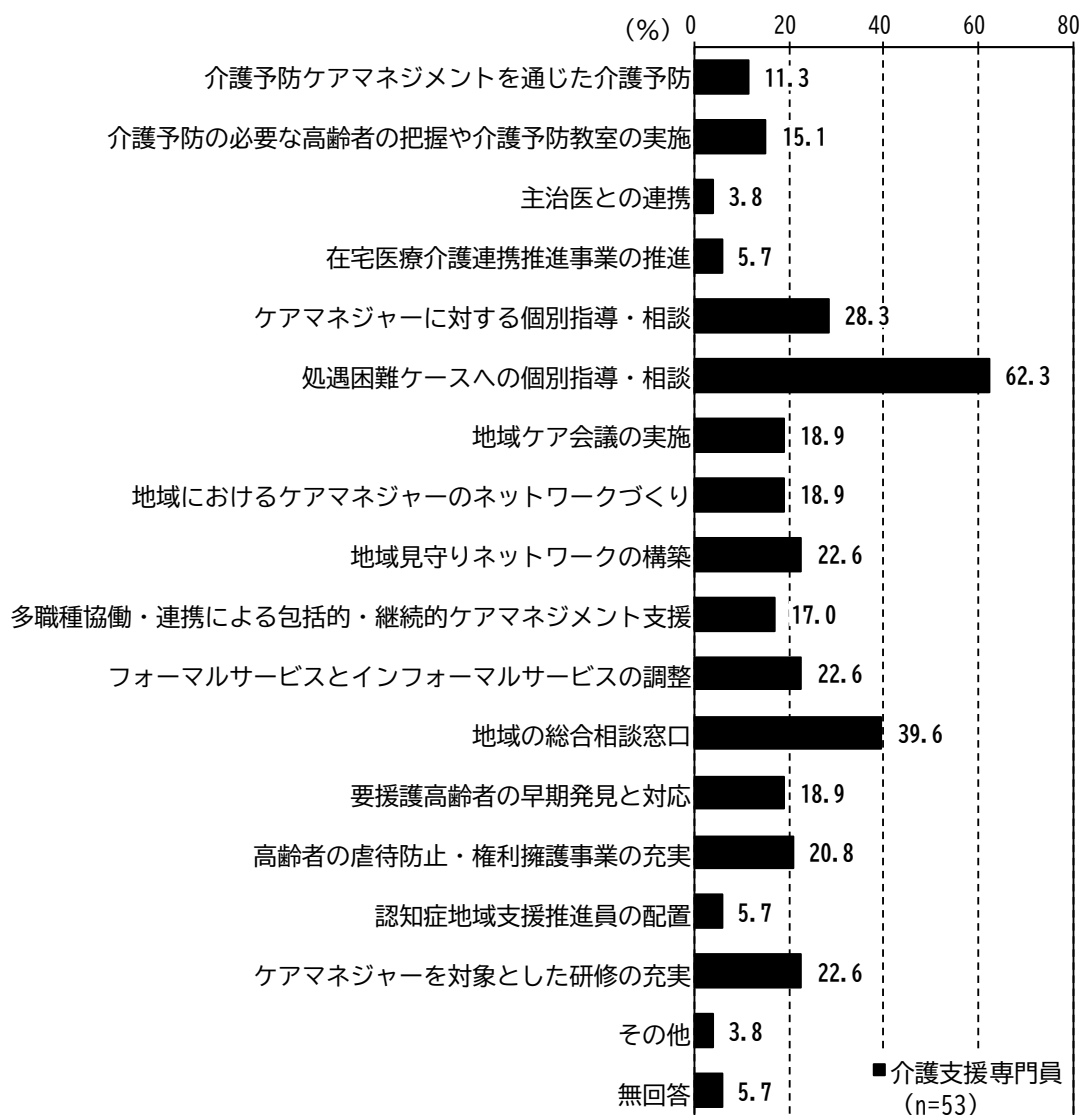
※経年比較

経年でみると、平成22年から平成28年にかけて、年を追うにつれて「ある」が低くなっていましたが、令和2年は90.6%と、平成28年に比べて19.0ポイント高くなっています。



問 19 地域包括支援センターに特に期待することはどんなことですか。(〇は5つまで)

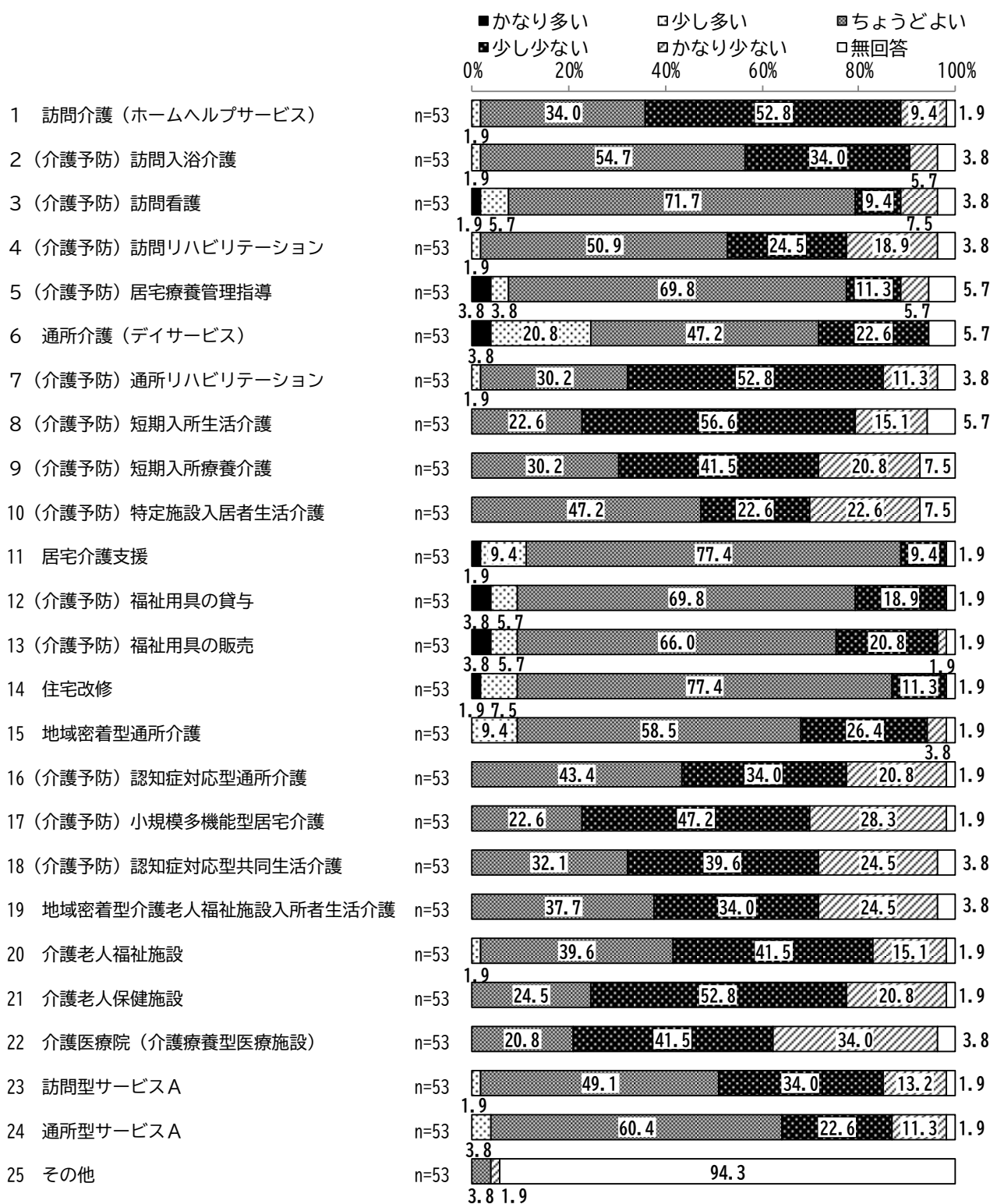
「処遇困難ケースへの個別指導・相談」が62.3%と最も高く、次いで「地域の総合相談窓口」が39.6%、「ケアマネジャーに対する個別指導・相談」が28.3%となっています。



6 介護保険及び高齢者福祉施策全般について

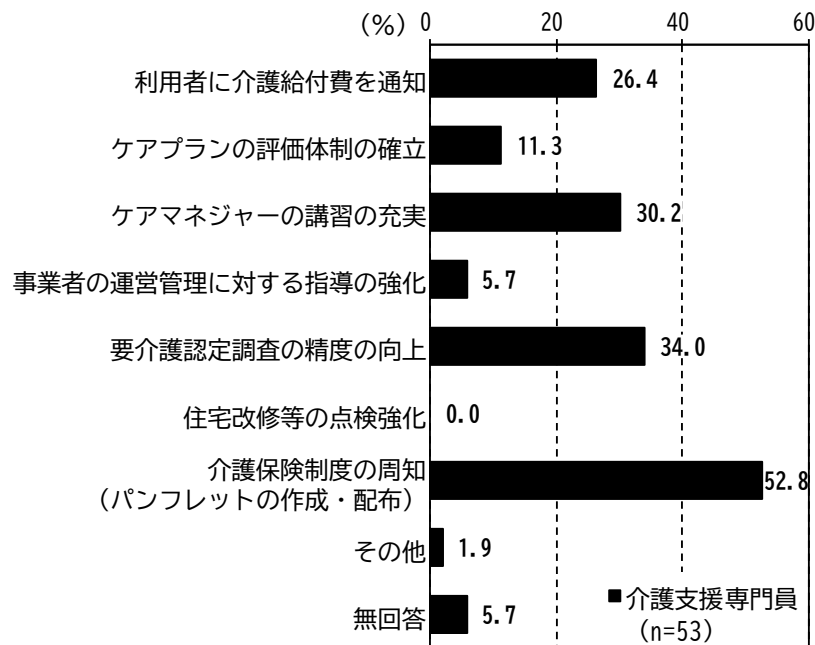
問 20 尾張旭市内における介護保険対象サービスの中で、サービスの過不足状況についてご回答ください。（○はそれぞれ1つ）

「かなり少ない」と「少し少ない」を合わせた『少ない』は、（介護予防）小規模多機能型居宅介護と介護医療院（介護療養型医療施設）がともに 75.5%と最も高く、次いで介護老人保健施設が 73.6%となっています。



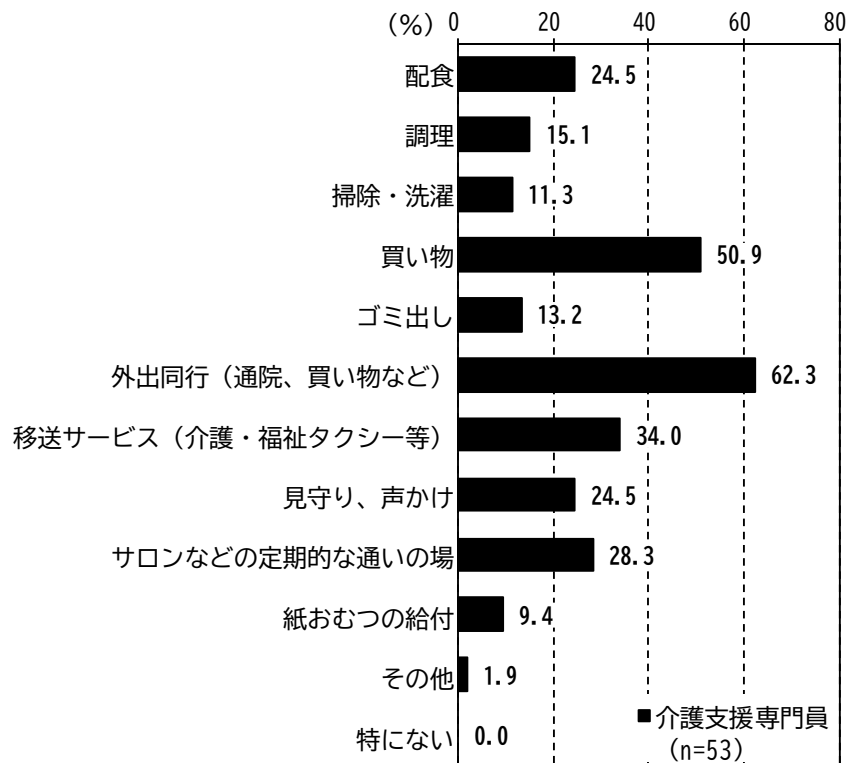
問 21 介護給付や予防給付の適正化に向けて、どのようなことが大切だと思いますか。
(〇は3つまで)

「介護保険制度の周知（パンフレットの作成・配布）」が52.8%と最も高く、次いで「要介護認定調査の精度の向上」が34.0%、「ケアマネジャーの講習の充実」が30.2%となっています。



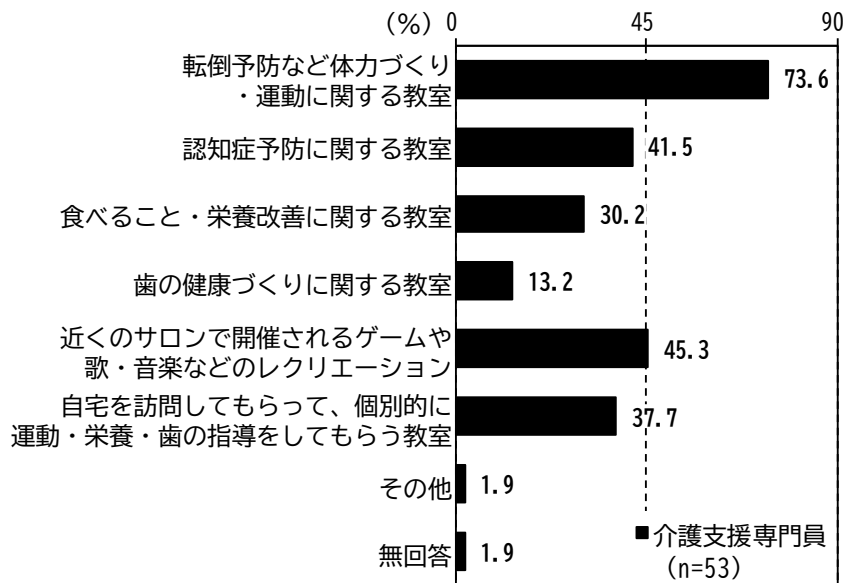
問 22 今後の高齢者の在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービスについてお答え
ください。(〇は3つまで)

「外出同行(通院、買い物など)」が62.3%と最も高く、次いで「買い物」が50.9%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が34.0%となっています。



問 23 介護予防事業について、特に必要だと思うもの、ケアプランに取り入れたいものをお答えください。（〇は3つまで）

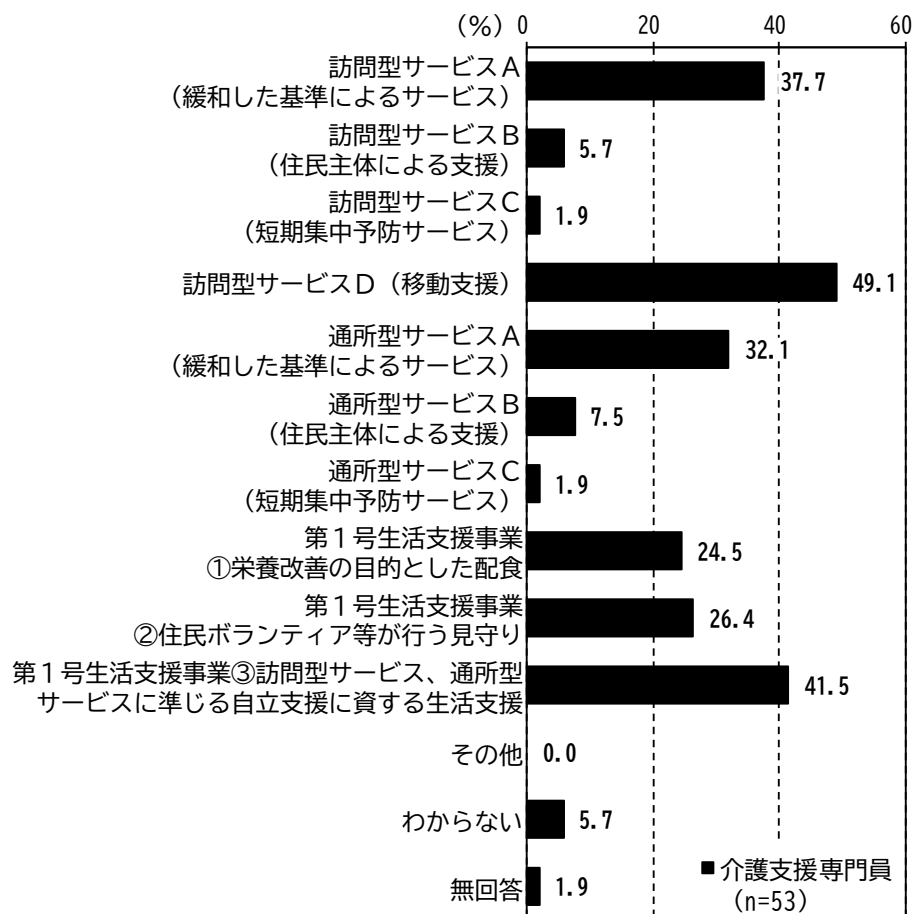
「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」が73.6%と最も高く、次いで「近くのサロンで開催されるゲームや歌・音楽などのレクリエーション」が45.3%、「認知症予防に関する教室」が41.5%となっています。



問 24 介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインで示された多様なサービスのうち、特に利用者の需要が高まると思うサービスはありますか。（〇はいくつでも）

「訪問型サービスD（移動支援）」が49.1%と最も高く、次いで「第1号生活支援事業③訪問型サービス、通所型サービスに準じる自立支援に資する生活支援※」が41.5%、「訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）」が37.7%、「通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）」が32.1%となっています。

※訪問型サービス・通所型サービスの一体的提供等

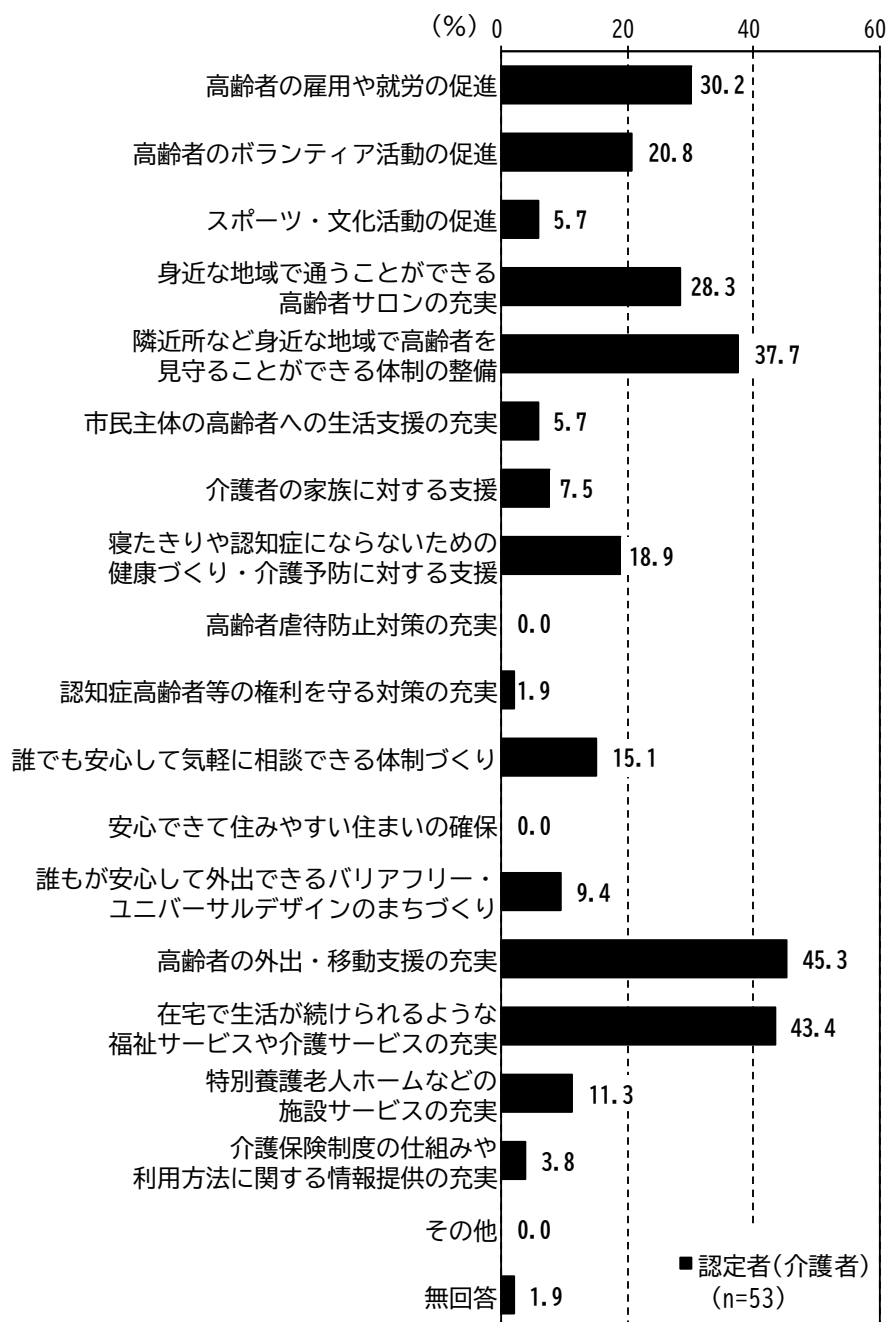


問 25 地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護保険サービス以外の高齢者福祉サービス等で有効だと思えるものはありますか。（自由記述）

- ・ 前段階の取り組み必要。らくらく筋トレの周知、強化で健康年数を伸ばす。
- ・ A L S O Kの高齢者の見守り（トイレを1日使用しないと通報がある等）。
- ・ 宅配弁当業者による配達時の5分間サービス（電球を変える。弁当を電子レンジで温める等）。
- ・ 高齢者の生きがいづくり（雇用や就労や外出先）。
- ・ 外出時の付き添いサービス（通院や買い物）。
- ・ 気軽に声を掛け合い、助け合う地域づくりだと思うが、今迄の関係、歴史があり、これから急に良好な関係にするのは難しいと思う。やはり、若い人、新しく地域に移ってきた方を自治会活動に巻き込んでいくことで長い目で見た将来的な助け合い見守りの歴史が作られていくと思います。

問 26 高齢社会に向けて、本市は何に重点をおくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

「高齢者の外出・移動支援の充実」が45.3%と最も高く、次いで「在宅で生活が続けられるような福祉サービスや介護サービスの充実」が43.4%、「隣近所など身近な地域で高齢者を見守ることができる体制の整備」が37.7%、「高齢者の雇用や就労の促進」が30.2%となっています。



第8期尾張旭市高齢者保健福祉計画策定にかかるアンケート調査
【結果報告書】

発 行： 尾張旭市
編 集： 尾張旭市 長寿課 長寿政策係
住 所： 〒488-8666 愛知県尾張旭市東大道町原田 2600 番地 1
T E L： 0561 - 76 - 8138
F A X： 0561 - 52 - 3749
発行年月： 令和2年3月
